

埼玉大学研究機構  
レジリエント社会研究センター自己点検報告書  
令和3年3月

埼玉大学研究機構  
レジリエント社会研究センター



## 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター自己点検報告書 2021 の作成にあたって

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センターは、2014年に地圏科学研究センターの廃止に伴って新たに設置された研究センターである。センターのミッションは以下のようである。

1. 防災、環境、社会基盤を対象として真のレジリエント社会構築のための研究・教育・国際貢献を実施する。
2. 建設工学科（現、環境社会デザイン学科）を中心として設立するが、課題解決のために埼玉大学のポテンシャルを最大限に活用して、地域および国際社会に貢献することを目的とする。

センターは、2019年3月までが第一期、2019年4月から第二期として活動中である。2021年3月時点で、15名の教員（兼任）と4名の客員・特任教授が在籍しており、以下に示す3つの部門で引き続き研究活動を行っている。

- ・インフラ強靱化部門
- ・防災・環境部門
- ・文理融合（ソフト的対応）部門

また、6研究機関（4つの研究機関と包括連携協定締結）と連携して共同研究などを実施している。

自己点検報告書は2019年度の第一期終了時点で作成しているが、今年度は第二期のセンター長交代時期に当たるため、2019-2020年度の約2年間の活動成果（一部は2年以上のものを含む）を自己点検報告書2021として、ここに報告する次第である。

本報告書は、1. 構成員、2. 研究活動（獲得外部資金、研究業績、社会的貢献、受賞歴、教育実績）、3. 対外活動報告（市民フォーラム、国際的活動）から構成されている。

2021年3月

レジリエント社会研究センター長 田中 規夫



# 目次

	ページ
1. 構成員	1
2. 研究活動報告	2
2-1 外部資金	
2-1-1 科学研究費	4
2-1-2 受託研究	5
2-1-3 共同研究	6
2-1-4 寄附金	8
2-1-5 その他（受託事業）	10
2-2 研究業績	
2-2-1 論文	11
2-2-2 著書、資料、解説、講義、講演等	24
2-2-3 学術講演（国際会議）	29
2-3 社会的貢献	34
2-4 受賞歴	48
2-5 学生指導実績	52
3. 対外活動報告	
3-1 市民のためのフォーラム	57
3-2 その他の対外活動	
3-2-1 埼玉県橋梁メンテナンス研究会	66
3-2-2 その他	85
3-3 国際的活動	93
3-4 主な連携研究機関	97



## 1. 構成員 (2019~2020)

### <センター長>

田中 規夫

### ● インフラ強靱化部門

桑野 二郎 教授  
奥井 義昭 教授  
松本 泰尚 教授  
牧 剛史 教授  
睦好 宏史 客員教授

### ● 防災・環境部門

田中 規夫 教授  
齊藤 正人 教授  
長田 昌彦 教授  
小室 孝 教授  
内村 太郎 教授  
八木澤 順治 准教授  
溝口 裕太 助教 (2019)  
岩波 越 客員教授

国立研究開発法人防災科学技術研究所  
国家レジリエンス研究推進センター長  
国立研究開発法人情報通信研究機構  
電磁波研究所リモートセンシング研究室長

中川 勝広 特任准教授

### ● 文理融合部門

久保田 尚 教授  
飯島 總 教授  
松本 正生 教授  
内田 奈芳美 教授  
加藤 哲平 助教  
岩崎 康夫 客員教授

国際本部国際開発教育研究センター  
教育機構社会調査研究センター センター長  
アーバンデザインセンター大宮副センター長  
一般財団法人さいたま住宅検査センター 理事長

## 2. 研究活動報告

埼玉大学レジリエント社会研究センターの研究活動は、次のようである。

但し、外部資金については、埼玉大学内のIRデータを元とし、大学向けに入金されたもの以外は含まれないものとする。また、分担についても含まれない。

### 外部資金

#### 【部門別】

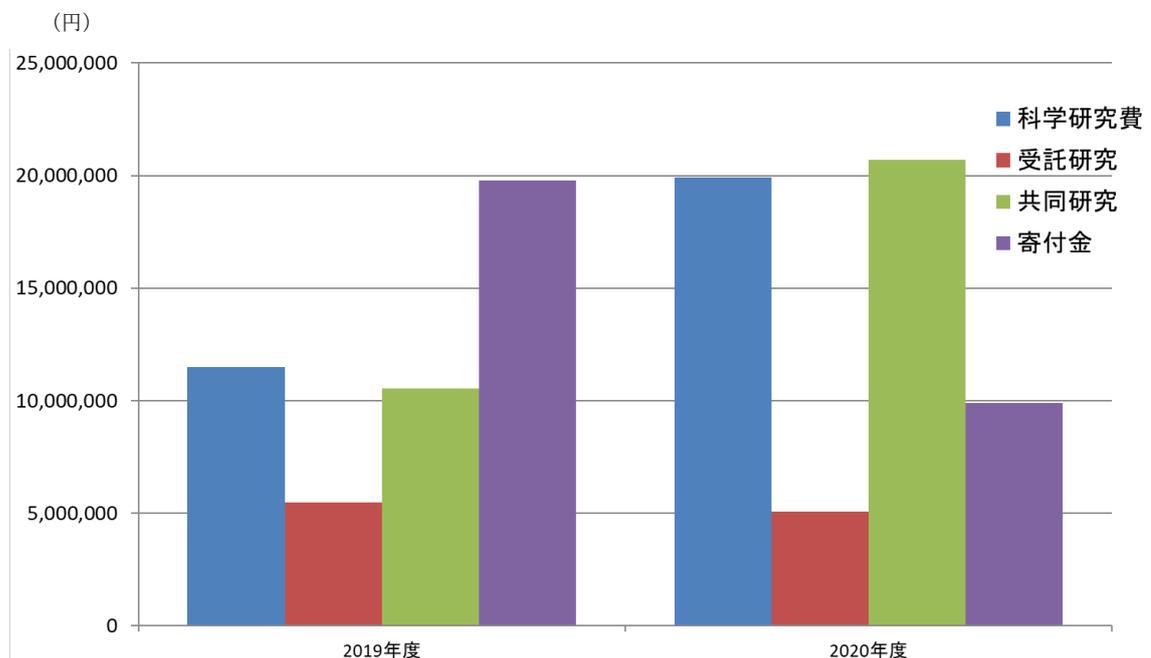
単位：円

		インフラ強靱化部門	防災・環境部門	文理融合部門	合計
科学研究費	(件数)	3	8	1	12
	(金額)	7,900,000	22,200,000	1,300,000	31,400,000
受託研究	(件数)	4	2	0	6
	(金額)	6,982,719	3,548,000	0	10,530,719
共同研究	(件数)	7	9	0	16
	(金額)	22,059,250	9,192,000	0	31,251,250
寄付金	(件数)	6	9	2	17
	(金額)	4,659,000	5,780,000	19,224,000	29,663,000
その他(受託事業)	(件数)	0	1	0	1
	(金額)	0	513,012	0	513,012
総 額					103,357,981

#### 【年度別】 ※その他(受託事業)は含まれない。

単位：円

	2019年度	2020年度
科学研究費	11,500,000	19,900,000
受託研究	5,470,909	5,059,810
共同研究	10,542,000	20,709,250
寄付金	19,779,000	9,884,000
総 額	47,291,909	55,553,060



	インフラ強靱化部門	防災・環境部門	文理融合部門	合計	
研究業績					
論文	(A)論文	21	64	38	123
	(A)論文以外	8	36	10	54
著書, 資料, 解説, 講義, 講演 等		20	50	16	86
学術講演 (国際会議・主なもの)		21	28	13	62
社会的貢献(外部委員会の役職等)		82	156	75	313
受賞歴		17	54	1	72
学生指導実績		26	29	14	69

## 2-1 外部資金

### 2-1-1 科学研究費

採択部局	研究代表者名	採択年度 (西暦)	補助金の種別 (研究種目等)	補助金の研究課題名
<b>インフラ強靱化部門</b>				
理工学研究科	桑野二郎	2019	基盤研究(B)一般	土構造物レジリエント化へ向けた速やかな損傷度評価と修復法の構築
理工学研究科	松本泰尚	2019	基盤研究(B)一般	橋梁振動に起因する周辺地域の環境振動の評価法
		2020	基盤研究(B)一般	橋梁振動に起因する周辺地域の環境振動の評価法
<b>防災・環境部門</b>				
理工学研究科	田中規夫	2020	基盤研究(C)一般	植生の鉛直構造や洪水時の破壊・浮遊物捕捉によるリスク変化を考慮した戦略的植生管理
理工学研究科	齊藤正人	2019	基盤研究(B)一般	杭基礎系の降伏を許容したキャパシティデザインのための応答評価手法の高度化
		2020	基盤研究(B)一般	杭基礎系の降伏を許容したキャパシティデザインのための応答評価手法の高度化
理工学研究科	長田昌彦	2020	基盤研究(B)一般	大気圧変動を外力とした原位置岩盤の浸透特性評価手法の開発
理工学研究科	小室 孝	2019	基盤研究(C)一般	拡張現実感を用いた簡易かつ高品質な質感提示の研究
理工学研究科	内村太郎	2020	基盤研究(B)一般	斜面表層崩壊の前兆変位の検出と崩壊予測、早期警報
理工学研究科	八木澤順治	2019	基盤研究(C)一般	堤防天端の凹凸の周期性を考慮したガリー侵食特性の解明
		2020	基盤研究(C)一般	堤防天端の凹凸の周期性を考慮したガリー侵食特性の解明
<b>文理融合部門</b>				
理工学研究科	加藤哲平	2020	若手研究	マッチングの不確実性を考慮した乗り合い式ライドシェアリングサービスの便益評価手法

2-1-2 受託研究

受入部局	研究代表者名	受入年度 (西暦)	委託元名称	研究課題名	事業名
<b>インフラ強靱化部門</b>					
理工学 研究科	桑野二郎	2019	国立大学法人東京大 学生産研究所	道路構造及び空洞特性に適 応した陥没危険度評価と合 理的な路面下空洞対策につ いての研究開発	道路政策の質の向上に資 する技術研究開発
		2020	国立大学法人東京大 学 他	道路構造及び空洞特性に適 応した陥没危険度評価と合 理的な路面下空洞対策につ いての研究開発	道路構造及び空洞特性に 適応した陥没危険度評価 と合理的な路面下空洞対策
理工学 研究科	松本泰尚	2019	飛島建設株式会社	振動制御装置を用いた地盤 振動対策に関する研究	
		2020	飛島建設株式会社	地盤振動低減のための振動 制御装置の配置方法に関す る研究	
<b>防災・環境部門</b>					
理工学 研究科	田中規夫	2019	国土交通省関東地方 整備局	H31荒川中流域の支川群を 対象とした貯留効果と生態 的機能の評価に基づく植生 管理手法の提案	平成30年度河川砂防技術 研究開発制度
		2020	国土交通省関東地方 整備局	R2荒川中流域の支川群を 対象とした貯留効果と生態 的機能の評価に基づく植生 管理手法の提案	令和2年度河川砂防技術 研究開発制度

### 2-1-3 共同研究

受入部局	研究代表者	受入年度 (西暦)	相手方機関(共同研究先)名	事業名(研究題目)
<b>インフラ強靱化部門</b>				
理工学研究科	桑野二郎	2019	株式会社NIPPO	三輪ジオグリッドの地盤補強効果に関する研究
		2020	国立大学法人東京大学 他3者	道路構造及び空洞特性に適応した陥没危険度評価と合理的路面下空洞対策についての研究開発
		2020	三井化学産資株式会社	ジオグリッド・ジオテキスタイルが道路の支持力特性に及ぼす影響
理工学研究科	松本泰尚	2019	首都高速道路株式会社	IRIを用いた路面評価の適用性及び橋梁振動低減効果の検証
		2020	首都高速道路株式会社	IRIを用いた路面評価の適用性及び橋梁振動低減効果の検証
		2020	株式会社高速道路総合技術研究所 国立大学法人金沢大学 愛知工業大学 株式会社建設環境研究所	トラック隊列走行による道路交通振動の寄与に関する研究
理工学研究科	牧 剛史	2020	首都高速道路株式会社	更新用プレキャスト壁高欄の開発(その4)
<b>防災・環境部門</b>				
理工学研究科	田中規夫	2019	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開
		2020	株式会社NIPPO	
理工学研究科	齊藤正人	2020	株式会社ジェイアール総研 エンジニアリング	断層上の橋梁および高架橋の地震時挙動の評価

受入部局	研究代表者	受入年度 (西暦)	相手方機関(共同研究先)名	事業名(研究題目)
理工学研究科	齊藤正人	2020	株式会社昭電	都市直下地震・長周期地震に対応した免震システムの研究開発
		2020	公益財団法人鉄道総合技術研究所	断層変位と加速度の同時作用下における構造物応答に関する研究
理工学研究科	長田昌彦	2020	原子力規制委員会原子力規制庁 国立研究開発法人産業技術総合研究所	岩盤の力学状態と水理特性に関する研究
理工学研究科	小室 孝	2019	東日本メディコム株式会社	医療情報支援ツールの研究
		2020	東日本メディコム株式会社	医療情報支援ツールの研究
理工学研究科	内村太郎	2019	国立大学法人高知大学 外 2者	大規模地震とそれに伴う地盤の劣化に起因する連鎖複合型土砂災害の発生機構と対策

2-1-4 寄附金

受入部局	研究等担当者名	受入年度 (西暦)	寄附者名
<b>インフラ強靱化部門</b>			
理工学研究科	奥井義昭	2019	一般社団法人日本鉄鋼連盟
		2019	株式会社横河NSエンジニアリング
		2020	一般社団法人日本鉄鋼連盟
理工学研究科	桑野二郎	2019	国際ジオシンセティックス学会日本支部
		2020	国際ジオシンセティックス学会日本支部
理工学研究科	牧剛史	2019	奈良建設株式会社 (土木学会研究小委員会委託者幹事)
<b>防災・環境部門</b>			
理工学研究科	田中規夫	2019	株式会社デザイン
		2019	公益財団法人河川財団
		2019	ISE2018運営委員会
		2020	公益財団法人河川財団
		2020	株式会社建設環境研究所
理工学研究科	長田昌彦	2019	奥多摩工業株式会社
		2020	奥多摩工業株式会社
理工学研究科	小室 孝	2019	株式会社デザイン
		2019	芳野YMマシナリー株式会社

受入部局	研究等担当者名	受入年度 (西暦)	寄附者名
文理融合部門			
理工学研究科	久保田尚	2019	一般社団法人日本損害保険協会
		2020	一般社団法人日本損害保険協会

2-1-5 その他（受託事業）

研究代表者名	受入年度 (西暦)	委託元名称	事業名
防災・環境部門			
田中規夫	2019	独立行政法人日本学術振興会	二国間交流事業共同研究・セミナー

## 2-2 研究業績

### 2-2-1 論文

#### インフラ強靱化部門

##### 奥井 義昭

(A)論文

Rahman, M., Okui, Y., Komuro, M., Anwer, M., A., Numata, A.: Probabilistic compressive strength of stiffened steel plates exhibiting column-like behavior: ultimate and serviceability limit states, *J. of Struct. Eng., ASCE*, Vol.146, No.9, [https://doi.org/10.1061/\(ASCE\)ST.1943-541X.0002719](https://doi.org/10.1061/(ASCE)ST.1943-541X.0002719), 2020

宮寄 靖大, Mahmudur Rahman, 奥井 義昭: 縦横比が大きい単リブ補剛板の限界圧縮強度評価, *土木学会論文集 A1 (構造・地震工学)*, Vol. 76, No. 1, pp.67-81, 2020.

Okui, Y., Nakamura, K., Sato, T. and Imai, T.: Seismic response of isolated bridge with high damping rubber bearings: Self-heating effect at subzero temperatures, *Steel Construction*, Vol.12, No.1, pp.2-9, doi:10.1002/stco.201800029, 2019

(B)論文

Rahman, M., Okui, Y., Anwer, A.: Serviceability limit state compressive strength for stiffened steel plates exhibiting column-like behavior, *Proc. of IABSE-JSCE Conference on Advances in Bridge Engineering-IV*, 2020

Rahman, M., Okui, Y.: Probabilistic Ultimate Buckling Strength for SBHS Stiffened Plates Exhibiting Plate-like Behavior, *Proc. of Pacific Structural Steel Conference, PSSC2019*, Paper id 3-3-2, 2019

---

##### 桑野 二郎

(A)論文

Saleem, M.A., Malik, A.A. and Kuwano, J.: End shape and rotation effect on steel pipe pile installation effort and bearing resistance, *Geomechanics and Engineering*, Vol.23, No.6, pp.523-533. DOI: <https://doi.org/10.12989/gae.2020.23.6.523>, December 2020.

Regmi, K.P., Kuwano, J. and Yamato, T.: Effect of geosynthetics on stability of cavity in base course, *Geosynthetics Engineering Journal*, Vol.35, pp.115-120, December 2020.

Pokhrel, P. and Kuwano, J., Iyo, T. and Hirano, Y.: Effect of geosynthetics on seismic stability of subsurface cavity, *Geosynthetics Engineering Journal*, Vol.35, pp.109-114, December 2020.

Pokhrel, P. and Kuwano, J.: Small scale parallel flow contact erosion test between sand and silty clay layers, *International Journal of GEOMATE*, Vol.19, Issue 75, pp.151-159, DOI: <https://doi.org/10.21660/2020.75.71314>, November 2020.

Malik, A.A. and Kuwano, J.: Single Helix Screw Pile Behavior under Compressive Loading/Unloading Cycles in Dense Sand, *Geotechnical and Geological Engineering Journal*, Vol.38, Issue 5, pp.5565-5575, DOI: <https://doi.org/10.1007/s10706-020-01385-4>, May 2020.

Rasool, A.M. and Kuwano, J.: Shearing Infiltration Tests to Study Mechanical Behavior and Failure Mechanism of Shallow Slopes, *Iranian Journal of Science and Technology, Transactions of Civil Engineering*, 10p., DOI: <https://doi.org/10.1007/s40996-020-00403-y>, April 2020.

Rasool, A.M. and Kuwano, J.: Effect of constant loading on unsaturated soil under water infiltration conditions, *Geomechanics and Engineering*, Vol.20, No.3, pp.221-232, DOI: <https://doi.org/10.12989/gae.2020.20.3.221>, January 2020.

Ajuda, A.A., Kuwano, J. and Hoshina, K. Seismic behaviour of geogrid reinforced soil wall constructed with multiple reinforcement stiffness, *Geosynthetics Engineering Journal*, Vol.34, pp. 129-136, DOI: <https://doi.org/10.5030/jcigsjournal.34.129>, December 2019.

Sahil, A.W., Kuwano, J., Regmi, K.P. and Yamato, T.: Laboratory evaluation of geogrid confinement to improve road pavement structure, *Geosynthetics Engineering Journal*, Vol.34, pp.75-80, December 2019.

Rasool, A.M., Kuwano, J. and Tachibana, S.: Experimental study on the response of unsaturated silt due to change in drainage conditions during the triaxial test process, *Geotechnical and Geological Engineering*, Vol.38, No.2, pp.1707-1719, DOI: <https://doi.org/10.1007/s10706-019-01125-3>, November 2019.

Malik, A.A., Kuwano, J. Tachibana, S. and Maejima, T.: Effect of helix bending deflection on load settlement behaviour of screw Pile, *Acta Geotechnica*, Vol.14, No.5, pp.1527-1543, DOI: <https://doi.org/10.1007/s11440-019-00778-x>, 2019.

---

## 松本 泰尚

### (A)論文

林健太郎, 松本泰尚, 東田豊彦: アンケート調査に基づく建物内の振動に対する心理的反応の評定尺度構成, *日本建築学会環境系論文集*, 84, 757, 225-234, DOI <http://doi.org/10.3130/aije.84.225>. March 2019.

### (B)論文

Morihara, T., Yokoshima, S., Matsumoto, Y. (2020) Experimental study on comined effect of Shinkansen railway noise and vibration on daily activities: A case of reading and calculation tasks, *Acoustical Science and Technology*, 41(3), 607-613, Technical Report, May 2020.

Matsumoto, Y., Yokoshima, S., Hayashi, K. (2019) Case examples of the measurement of vibration and annoyance response in residential buildings beside roads and railways, *Proceedings of the ICA 2019 AND EAA EUROREGIO (23rd International Congress on Acoustics, integrating 4th EAA Euroregio 2019)*, 9-13 September 2019, Aachen, Germany, ISSN 2226-7808 and 2415-1599, ISBN 978-3-939296-15-7, pp. 3643-3650, September 2019.

Hayashi, K., Matsumoto, Y., Higashida, T.: Experimental Investigation of Evaluation Method of Horizontal Vibration in Building Caused by External Vibration Sources, *Proceedings of the ICA 2019 AND EAA EUROREGIO (23rd International Congress on Acoustics, integrating 4th EAA Euroregio 2019)*, 9-13 September 2019, Aachen, Germany, ISSN 2226-7808 and 2415-1599, ISBN 978-3-939296-15-7, pp. 3637-3642, September 2019.

Yokoshima, S., Morihara, T., Matsumoto, Y.: Combined effect of vibrations on railway noise annoyance, *Proceedings of the ICA 2019 AND EAA EUROREGIO (23rd International Congress on Acoustics, integrating 4th EAA Euroregio 2019)*, 9-13 September 2019, Aachen, Germany, ISSN 2226-7808 and 2415-1599, ISBN 978-3-939296-15-7, pp. 3631-3636, September, 2019.

Morihara, T., Yokoshima, S., Matsumoto, Y.: A study on the influence of noise and vibration on the living environment along the Hokuriku Shinkansen railway, *Proceedings of the ICA 2019 AND EAA EUROREGIO (23rd International Congress on Acoustics, integrating 4th EAA Euroregio 2019)*, 9-13 September 2019, Aachen, Germany, ISSN 2226-7808 and 2415-1599, ISBN 978-3-939296-15-7, pp. 3007-3013, September 2019.

---

## 牧 剛史

### (A)論文

Thai, H. N., Kato, A., Nguyen, H. G., Nruyen, T. D., Tong, T. K., Nguyen, V. T., Uchimura, T., Maki, T. and Kawamoto, K.: Effects of particle size and type of aggregate on mechanical properties and environmental safety of unbound road baseand subbase materials: A literature review, *International Journal of GEOMATE*, Vol.20, Is.78, pp.148-157, 2021.2

Gombosuren, D. and Maki, T.: Prediction of joint shear deformation index of RC beam-column joints, *Buildings*, 10(10), No.176, 2020

Basit, S., Maki, T., Mutsuyoshi, H., Ishihara, Y., Tajima, H. “Influence of reinforcement arrangement details on mechanical behavior of precast concrete barrier with loop connection”, *Structures*, Volume 27, pp.1682-1692, 2020 (published online 9 August, 2020, <https://doi.org/10.1016/j.istruc.2020.08.003>)

Haque, N. M. and Maki, T.: Finite element approach to evaluate time dependent shear behavior of connections in hybrid steel-PC girder under sustained loading, *International Journal of Structural and Construction Engineering* (World Academy of Science, Engineering and Technology), Vol.13, No.9, 2019

Haque, N. M., and Maki, T.: Experimental study on time-dependent deformation of hybrid steel-PRC girder with headed stud shear connections under sustained loading, *Structures*, No.22, pp.327-340, 2019

Basit, S., Maki, T., Mutsuyoshi, H., Ishihara, Y., Tajima, H.: Development of effective precast concrete barrier wall thickness for existing bridge, *Journal of Structural Engineering*, JSCE, Vol.65A, pp.579-588, 2019

(B)論文

Gombosuren, D. and Maki, T.: Effect of shear reinforcement on cyclic behavior of RC interior beam-column joints, Proceedings of the 6th International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations, and Structural Implications, pp.392-401, 27-29 August 2020, Fukuoka, Japan, 2020

---

## 防災・環境部門

---

田中 規夫

(A)論文

Kimiwada Y, Tanaka N, Zaha T, Differences in effectiveness of a hybrid tsunami defense system comprising an embankment, moat, and forest in submerged, emergent, or combined conditions, *Ocean Engineering*, Vol.208, 15 July 2020.

Arshad A., Tanaka N., Experimental study of scouring downstream of coastal vegetation in an inundating tsunami current, *Landscape and Ecological Engineering*, 16(4), 273-287, 2020. DOI 10.1007/s11355-020-00420-z

Anjum N., Tanaka N., Investigating the turbulent flow behavior through partially distributed discontinuous rigid vegetation in an open channel, *River Research & Applications*, 2020?

Talpe L.C. Vinodh, Tanaka N., A unified runup formula for solitary waves on a plane beach, *Ocean Engineering*

Rowan De Costa, Tanaka N, Role of hybrid structures on the control of tsunami induced Large Driftwood, *Coastal Engineering* 163 (2021) 103798.

Tariq K, Pasha GA, Tanaka N, Ghani U, Ahmed A, Development of ecosystem based flood mitigation approach – Investigations by experiments and numerical simulation, *Water and Environment Journal* 0 (2020) 1–19.

Torita H., Masaka K., Tanaka N., Iwasaki K., Hasui S., Hayamizu M., Nakata Y., Assessment of thinning on resistance of *Pinus thunbergii* Parl. trees to tsunami fluid force in mature coastal forest, *J of Environmental management* 284 (2021) 111969.

Md Abedur Rahman, Tanaka N, Rashedunnabi A.H.M., Flume experiments on flow analysis and energy reduction through a compound tsunami mitigation system with a seaward embankment and landward vegetation over a mound, *Geosciences* 2021.

五十嵐善哉, 田中規夫, 末永博, 又吉健太, 荒川中流域の支川群の河道内植生が洪水流に与える影響と生態的機能の評価, 河川技術論文集, 第 26 卷, pp. 95-100, 2020.

五十嵐善哉; 田中規夫. 都幾川上流および都幾川・越辺川合流部の堤防決壊時刻が堤内地氾濫量に与えた影響. 土木学会論文集 B1 (水工学), 76(1), pp.284-294, 2020.

田中規夫; 五十嵐善哉; 末永博. 令和元年東日本台風において荒川の熊谷砂礫州で発生した植生破壊と流木ダムの形成が最大水位と下流への流出ハイドログラフに与えた影響. 土木学会論文集 B1 (水工学), 76(1), pp.243-252, 2020.

小内亮, 田中規夫, 空隙率の異方性に着目した氾濫水理模型実験と氾濫解析モデルの構築, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.76, No.2, I\_679-I\_684, 2020.

五十嵐善哉, 田中規夫, 令和元年東日本台風による入間川流域の堤防決壊が堤内地氾濫量および下流の流量ハイドログラフに与えた影響, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.76, No.2, I\_637-I\_642, 2020.

海野瀬綾乃, 田中規夫, 小倉 睦, 五十嵐 善哉, 堤防越水を伴う洪水時における堤内地側事前湛水が堤防の侵食プロセスに与える影響, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.76, No.2, \_571-I\_576, 2020.

富田邦裕, 三崎貴弘, 松本敬之, 小田洋平, 田中克幸, 田中規夫, 越辺川と都幾川の洪水位の再現と樹木管理による洪水位の低下効果, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.76, No.2, \_523-I\_528, 2020.

De Costa, R., Tanaka, N., Iwata, A., Retention and trapping behaviour of tsunami induced large driftwood in transient flow considering different hybrid designs, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering), Vol.76, No.2, I\_1435-I\_1440, 2020.

Anjum N., Tanaka N., Study on the flow structure around discontinued vertically layered vegetation in an open channel, J. Hydrodynamics, 2019.

Rashedunnabi AHM, Tanaka N (2019) Energy reduction of a tsunami current through a hybrid defense system comprising a sea embankment followed by a coastal forest, Geosciences 9(6): 247-273.

Anjum N., Tanaka N., Hydrodynamics of longitudinally discontinuous, vertically double layered and partially covered rigid vegetation patches in open channel flow, River Research & Applications, 2019;1-13. <https://doi.org/10.1002/rra.3546>

Anjum N., Tanaka N., Numerical investigation of velocity distribution of turbulent flow through vertically double-layered vegetation, Water Science & Engineering, 12(4), pp.319-329, 2019.

Pasha GA, Tanaka N, Characteristics of a hydraulic jump formed on upstream vegetation of varying density and thickness, Journal of Earthquake and Tsunami, 2020. (DOI: 10.1142/S1793431120500128)

Anjum N., Tanaka N., Experimental study on flow analysis and energy loss around discontinued vertically layered vegetation, Environmental Fluid Mechanics, 2019. <https://doi.org/10.1007/s10652-019-09723-8>

Rowan De Costa, Tanaka N, Inland forest as a trapping function against tsunami borne large broken or washed out trees, Landscape and Ecological Engineering, 16(2), 97-112, 2020. DOI: 10.1007/s11355-020-00408-9

Rashedunnabi AHM, Tanaka N, Effectiveness of double-layer rigid vegetation in reducing the velocity and fluid force of a tsunami inundation behind the vegetation, Ocean Engineering, 201, 107-142, 2020.

五十嵐善哉, 小野寺祐乃, 田中規夫, 防潮堤を射流状態のまま越流する津波に対する二線堤の減災効果, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 75, No. 2, I\_415—I\_420, 2019.

末永博, 溝口裕太, 田中規夫, 井原和彦, 又吉健太, 河川合流点での水位・流量ピーク時刻の集中を支配する降雨および流域特性の分析と集水域間の比較—荒川水系入間川流域を対象として—, 河川技術論文集, 第 25 巻, pp. 121-126, 2019.

小倉睦, 田中規夫, 越流侵食解析の現地河川堤防への適用と土質条件が侵食に与える影響の考察, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_943-I\_948, 2019.

五十嵐善哉, 君和田祐弥, 田中規夫, 堤防を越流する定常流および非定常流の解析モデルの改良と精度検証, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_571-I\_576, 2019.

小野寺祐乃, 五十嵐善哉, 田中規夫, 接近流が射流状態のまま堤防を越流する流れに対する二線堤構造のエネルギー減衰特性, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_709-I\_714, 2019.

梶谷勇人, 田中規夫, 荒川西遷が荒川流域にもたらした潜在的氾濫リスク箇所, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_1447-I\_1452, 2019.

伏見健吾, 田中規夫, 海野瀬綾乃, 破堤シナリオの相違が潜在的氾濫リスク箇所と避難タイミングに与える影響, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_1339-I\_1344, 2019.

溝口裕太, 田中規夫, 洪水攪乱に対するツルヨシの応答性の把握と植生動態モデルによる再現性の検討, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.75, No.2, I\_349-I\_354, 2019.

Vinodh, T.L.C., Tanaka, N., Takemura, T., Experimental study of runup reduction of solitary wave by emergent rigid vegetation on a slope, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering), Vol.75, No.2, I\_703-I\_708, 2019.

Rashedunnabi, A.H.M., Tanaka, N., Anjum, N., Effectiveness of a hybrid tsunami mitigation system consisting a seaward embankment and a landward horizontally double layer forest, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1(Hydraulic Engineering), Vol. 75 (2), I\_715-I\_720, 2019.

De Costa, R., Iwata, A., Tanaka, N., Tsunami generated large wooden debris movement considering hybrid structures, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering), Vol.75, No.2, I\_727-I\_732, 2019.

Anjum, N., Tanaka, N., Numerical modeling of the turbulent flow structure through vertically double layer vegetation, Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1(Hydraulic Engineering), Vol. 75 (2), I\_487-I\_492, 2019.

#### (B)論文

Igarashi, Y., Tanaka, N., Improved numerical simulation against overflow from embankment under steady and unsteady flow conditions by considering non-hydrostatic pressure, Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress, Sapporo, Japan, 2020.

Rowan De Costa, Tanaka, N., Inland forest model design considering tsunami borne large driftwood, Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress, Sapporo, Japan, 2020.

Anjum, N., Tanaka, N., Changes in the flow structure and energy loss of a tsunami current through forest with a gap, Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress, Sapporo, Japan, 2020.

Md Abedur Rahman, Tanaka, N., Rashedunnabi, A.H.M., Igarashi, Y., Energy reduction in tsunami through a defense system comprising an embankment and vegetation on a mound, Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress, Sapporo, Japan, 2020.

Tariq K, Pasha GA, Ghani U, Ahmed A, Tanaka N, Investigating the Effects of Finite Length Rigid Emergent Vegetation on Inland Flood Attenuation, 11th International Civil Engineering Conference (ICEC-2020), March 13-14, 2020, Karachi, Pakistan.

Romitha Wickramasinghe and Norio Tanaka, Investigation of Flow Structures Along the Embankment Generated Nearby Finite Riparian Vegetation, Virtual Conference on Disaster risk Reduction, 2020.3.

Tanaka, N., Fushimi, K., Kajitani, H., and Igarashi, Y., Effects of existing historical second embankments in the floodplain for river flood inundation control. Proceedings of IAHR 38th Congress, pp.2117-2124, September 1-6, 2019, Panama City, Panama.

Igarashi, Y. and Tanaka, N., Tsunami mitigation effect and tree breaking situation of Dahurian Larch coastal forest at six growth stages under thinning management of trees. Proceedings of IAHR 38th Congress, pp.219-229, September 1-6, 2019, Panama City, Panama.

Wickramasinghe, R., Tanka, N., Tsunami intrusion in rivers: A review and new perspectives on Sri Lankan rivers, Proceedings of the International Symposium on Advances in Civil and Environmental Engineering Practices for Sustainable Development, 7th ACEPS2019, pp.92-98, 17th October 2019, Galle, Sri Lanka, 2019.

Vinodh, T. L. C., Tanaka, N., Review of existing coastal defence system in Sri Lanka against tsunami, Proceedings of the special session on Coastal and Lagoon Environment, 7th ACEPS2019, pp.84-91, 17th October 2019, Galle, Sri Lanka, 2019.

Tariq K., Pasha G.A., Tanaka N., Ghani U., Ahmed A., Investigating the effects of finite length rigid emergent vegetation on inland flood attenuation, Proceedings of the 11th International Civil Engineering Conference, Karachi, Pakistan, 2020.

---

## 齊藤 正人

### (A)論文

Goit Chandra Shekhar, Saitoh Masato, Igarashi Takumi, Sasaki Shun, Inclined single piles under vertical loadings in cohesionless soil, Acta Geotechnica, DOI: 10.1007/S11440-020-01074-9, 2020.

Shrestha N. R., Saitoh M., Saha A. K., Goit C. S., Frequency- and intensity-dependent impedance functions of laterally loaded single piles in cohesionless soil, Soils and Foundations, DOI: 10.1016/J.SANDF.2020.11.004., 2020.

Hochi Yudai, Muroto Yoshitaka, Saitoh Masato, Goit Chandra Shekhar, Earthquake motion filtering effect by pile foundations considering nonlinearity of soil and piles, Soil Dynamics and Earthquake Engineering, Volume 125, 105748, 2019.

Ullah Md. Shajib, Kajiwaru Keisuke, Goit Chandra Shekhar, Saitoh Masato, Frequency and intensity dependent dynamic responses of soil-steel pipe sheet pile (SPSP) foundation-superstructure system, Soil Dynamics and Earthquake Engineering, Volume 125, 105730, 2019.

室野 剛隆, 田中 浩平, 齊藤 正人, 坂井 公俊, 豊岡 亮洋, 鉄道構造物の耐震設計における危機耐性の定量評価法の提案, 土木学会論文集 A1, 75 巻 3 号, 336-349, 2019.

### (B)論文

M. Saitoh, Y. Sawano, On the Performance of Vertical Base Isolation Systems Using an Adjustable Constant-Force Generator, 17th World Conference on Earthquake Engineering, 17WCEE, Sendai, Japan - September 13th to 18th 2020, 2g-0225, 1-12, 2020.

M.S. Ullah, A. Sasaki, C.S. Goit, M. Saitoh, EFFECT OF THE JOINT SHEAR RESISTANCE ON THE DYNAMIC RESPONSES OF STEEL PIPE SHEET PILE FOUNDATIONS, 17th World Conference on Earthquake Engineering, 17WCEE, Sendai, Japan - September 13th to 18th 2020, 4c-0046, 1-12, 2020.

Naba Raj Shrestha, Masato Saitoh, Alok Kumer Saha, Chandra Shekhar Goit, Rate-Dependent Cyclic Lateral Load Test on a Single Pile in Sand, Proceedings of the 5th International Conference on Civil Structural and Transportation Engineering (ICCSTE'20), Paper No. 231, DOI: 10.11159/icste20.231, 231-1-7, 2020.

水川裕貴, 齊藤正人, 地震直後の危険な建物を空撮動画から早期検出する手法の開発, 日本地震工学会・大会-2020, A-2-6\_T2020-41, 1-9, 2020.

Ullah MS, Kajiwar K, Goit CS, Saitoh M., Effective foundation input motion for soil-steel pipe sheet pile (SPSP) foundation system, International conference on computational & experimental engineering and sciences (ICCES), 2019, Paper No. 4966.

土井達也, 室野剛隆, 齊藤正人, 基礎の曲げ剛性および基礎先端の回転抵抗が入力損失効果に及ぼす影響, 第22回橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集, 209-216, 2019.

布川博一, 豊岡亮洋, 齊藤正人, 倒壊方向制御構造で危機耐性を向上させたラーメン高架橋の振動台実験, 第22回橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集, 305-312, 2019.

土井達也, 室野剛隆, 齊藤正人, 基礎の曲げ剛性および基礎先端の回転剛性が有効入力動の増幅に及ぼす影響, 第39回地震工学研究発表会, 2019.

---

## 長田 昌彦

### (A)論文

Yota Togashi, Takanobu Imano, Masahiko Osada, Koichi Hosoda, and Koji Ogawa. Principal strain rotation of anisotropic tuff due to continuous water-content variation. *International Journal of Rock Mechanics and Mining Sciences*, Vol. 138, p. 104646, 2021.

H. Kikuchi, T. Suezawa, T. Ushio, N. Takahashi, H. Hanado, K. Nakagawa, M. Osada, T. Maesaka, K. Iwanami, K. Yoshimi, F. Mizutani, M. Wada, and Y. Hobara, Initial observations of X-band Dual Polarimetric Phased Array Weather Radar, *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing (TGRS)*, Vol.58, No.5, pp. 3657-3666, 2020.

Nobuhiro Takahashi, Tomoo Ushio, Katsuhiro Nakagawa, Fumihiko Mizutani, Koyuru Iwanami, Akihiko Yamaji, Takeshi Kawagoe, Masahiko Osada, Takehiro Ohta, and Masaki Kawasaki, Development of Multi-Parameter Phased Array Weather Radar (MP-PAWR) and Early Detection of Torrential Rainfall and Tornado Risk, *Journal of Disaster Research*, Vol.14, No.2, pp.235-247, 2019.

Sudisman, R. A., Osada, M. and Yamabe, T., Experimental Investigation on Effects of Water Flow to the Freezing Sand around Vertically Buried Freezing Pipe, *Journal of Cold Regions Engineering*, ASCE, Vol.33 No.3, 2019. DOI:10.1061/(ASCE)CR.1943-5495.0000187

Sudisman, R. A., Osada, M. and Yamabe, T. Heat transfer visualization on the application of cooling pipe in sand with flowing pore water, *Journal of Cold Regions Engineering*, Vol.31 No.1, 2017. DOI: 10.1061/(ASCE)CR.1943-5495.0000115

Illankoon, T. N. and Osada, M., Effect of saturation level on deformation and wave velocity of a transversely isotropic sedimentary rock, *International Journal of the Japanese Society for Rock Mechanics*, Vol.12, No.1, pp.1-9, 2016.

松下智昭, 長田昌彦, 高橋 学, 藤井幸泰, 屋久島沿岸域の岩盤露頭における単一割れ目内の充填物質の年代値とその変動要因の検討, *応用地質*, Vol.56, No.1, pp.2-14, 2015.

竹村貴人, 高橋学, 長田昌彦, 北村圭史, 精密石材の岩石学的特徴と湿潤環境下での超微小変形の発生機構に関する考察, *材料*, Vol.63, No.3, pp.227-233, 2014.

### (B)論文

長田昌彦, 竹村貴人, 五嶋壮太, 富樫陽太, 大沢光司. 大気圧変動に対する飽和度低下による間隙空気圧変化の時系列解析, 第15回岩の力学国内シンポジウム講演論文集, 関西大学, pp.221-226, 2021.

Togashi, Y., Osada, M., and T. Yamabe. "Rotation of Three Principal Strains of Tuff during Drying Shrinkage." Paper presented at the ISRM International Symposium - EUROCK 2020, physical event not held, June 2020.

五嶋 壮太, 長田 昌彦, 富樫 陽太, 竹内 希海. 田下凝灰岩を用いた大気圧に対する岩石内間隙空気圧の応答実験, 第 47 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, pp.203-207, 2020.

M. Osada, Takemura, T. Togashi, Y., Goshima, S. Pore air pressure measurement at Mont Terri Rock Laboratory, Switzerland, The 5th ISRM Young Scholars' Symposium on Rock Mechanics and International Symposium on Rock Engineering for Innovative Future, Okinawa, Japan, P-31, 2019.12,

T. Yamabe, M. Osada & C. Adachi, Determination of dynamic elastic properties from the frequency of natural vibration by using impact acoustics, 2019 Rock Dynamics Summit in Okinawa (RDS), 2019.5.

長田昌彦・細川一樹・宮本翔太, 軟岩からなる素掘りトンネル天端に形成された開口亀裂の温度依存性挙動, 土木学会第 46 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, pp.61-65, 2019.

Amunugama, B. C.; Osada, M.; Illankoon, T. N. & Maekawa, K. Evaluating the deformation behavior of Horonobe mudstone using water retention curves, Proceedings of the 14th Japan Rock Mechanics Symposium, Kobe, Japan, pp.093.1-093.6, 2017.

Osada, M. & Ohtake, S. Drying- and wetting- induced behavior of Shirahama sandstone under the evaporative condition of tunnel surface, EUROCK 2016, Taylor & Francis, London, pp.1029-1033, 2016.

Sudismana, R. A., Yamabe, T. and Osada, M. Strain and Strength of Saturated and Dried Rock Samples Under a Freeze-Thaw Cycle, Proceedings of 9th Asian Rock Mechanics Symposium, PO21-P118, 2016.

武藤 圭佑, 長田 昌彦, 水浸に伴う砂岩と泥岩の間隙空隙圧変化の比較検討と等価管路モデルを用いた評価, 土木学会第 44 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, pp. 273-277, 2016.

Sudisman, R. A., Yamabe, T. & Osada, M., Strain characteristic of dried rocks sample under freezing and thawing condition, ISRM Congress 2015 Proceedings, The 13th International Congress of Rock Mechanics, Paper 449, 2015.

Sudisman, R. A., Osada, M., Yamabe, T. & Tobita, D., Heat Transfer Characteristic of Saturated Sand in Steady Flow around a Cooling Pipe, The 10th Asian Regional Conference of IAEG, Kyoto-Japan, September 26-27, Tp4-P01, 2015.

大竹 伸太朗, 長田 昌彦, トンネル壁面を模擬した蒸発環境における白浜砂岩の乾燥変形挙動, 第 43 回岩盤力学に関するシンポジウム講演集, pp.193-198, 2015.

Osada, M. Drying-induced deformation characteristics of rocks, Proceedings of 8th Asian Rock Mechanics Symposium, FL-01, 2014. (The Franklin Lecture 2014 受賞講演)

Illankoon, T. N. & Osada, M. Effect of shrinkage level on elastic modulus in drying-induced deformation process of soft sedimentary rocks Proceedings of 8th Asian Rock Mechanics Symposium, PO-22, 2014.

Yoshida, J., Yoshinaka, R., Sasaki, T. & Osada, M., Study on dynamic properties of rock discontinuity using dynamic direct shear test machine, Proceedings of 8th Asian Rock Mechanics Symposium, ERD2-2, 2014.

---

## 内村 太郎

(A)論文

Yang, Z.-G., Cai, H., Huang, D., Uchimura, T., Lei, X., Tian, H.-L., Qiao, J.-P.: Clarifying hydrological mechanism and its thresholds for rainfall-induced landslide: in situ monitoring big data to unsaturated stability analysis, *Bulletin of Engineering Geology and the Environment*, accepted on 07-05-2018, Issue 4/2019, Vol. 78, pp.2139-2150, <https://doi.org/10.1016/j.enggeo.2004.01.007>, 2019.

Xie, J.-R., Uchimura, T., Chen, P., Liu, J.-P., Xie, C.-R., Shen, Q.: A relationship between displacement and tilting angle of the slope surface in shallow landslides, *Landslides*, Vol. 16, Issue 6, pp. 1243–1251, DOI 10.1007/s10346-019-01135-5, 2019.

Chen, Y.-L., Irfan, M., Uchimura T., Wu, Y., Yu, F.-W.: Development of elastic wave velocity threshold for rainfall-induced landslide prediction and early warning, *Landslides*, Vol. 16, Issue 5, pp. 955–968, DOI 10.1007/s10346-019-01138-2, 2019.

Tao, S.-N., Uchimura, T., Fukuhara, M., Tang, J.-F., Chen, Y.-L. and Huang, D.: Evaluation of Soil Moisture and Shear Deformation Based on Compression Wave Velocities in a Shallow Slope Surface Layer, *Sensors*, Special Issue "Sensors, Big Data Analytics and Modeling for Infrastructure Monitoring and Maintenance", 19(15), 3406. (<https://doi.org/10.3390/s19153406>), 2019.

Chen, Y.-L. Withanage, K.R., Uchimura, T., Mao, W., Nie, W.: Shear deformation and failure of unsaturated sandy soils in surface layers of slopes during rainwater infiltration, *Measurement* 149, (published online) <https://doi.org/10.1016/j.measurement.2019.107001>, 2019.

Tao, S.-N., Uchimura, T., Fukuhara, M., Tang, J.-F.: Estimation of the instability of slope surface layer by elastic wave attenuation changing with soil moisture and deformation, *International Journal of GEOMATE*, June, 2020, Vol.18, Issue 70, pp. 81-87, 2020.

Tang, J.-F., Uchimura, T., Tao, S.-N., Huang, D., Xie, J.-R.: WATER MOVEMENT AND DEFORMATION IN UNSATURATED MULTI-LAYERED SLOPE UNDER HEAVY RAINFALL, *International Journal of GEOMATE*, Vol.19, Issue 71, pp. 174-181, DOI: <https://doi.org/10.21660/2020.71.9268>, 2020.

Yang, Z.-G., Wang, L., Qiao, J.-P., Uchimura, T., Wang, L.: Application and verification of a multivariate real-time early warning method for rainfall-induced landslides: implication for evolution of landslide-generated debris flows, *Landslides*, (published online), DOI 10.1007/s10346-020-01402-w, 2020.

Xie, J.-R., Uchimura, T., Wang, G.-H., Shen, Q., Maqsood, Z., Xie, C.-R., Liu, J.-P., Lei, W.-K., Tao, S.-N., Chen, P., Dong, H.-G., Mei, G.-X., Qiao, S.-F.: A new prediction method for the occurrence of landslides based on the time history of tilting of the slope surface, *Landslides* (2020) Vol. 17, pp. 301–312, DOI 10.1007/s10346-019-01283-8.

Shifan Qiao, Chaobo Feng, Pengkun Yu, Junkun Tan, Taro Uchimura, Lin Wang, Junfeng Tang, Quan Shen, Jiren Xie (2020): Predicting the surface tilting behavior based on slope tilting measurements in shallow landslides, *Sensors*, doi:10.3390/s20092662

Junfeng Tang, Uchimura Taro, Dong Huang, Jiren Xie, Shangning Tao (2020): Physical model experiments on water infiltration and failure modes in multi-layered slope under heavy rainfall, *Applied Sciences*, 2020, 10(10), 3458; <https://doi.org/10.3390/app10103458>

---

## 八木澤 順治

### (A)論文

宇佐美将平, 八木澤順治, 溝口裕太, 小野田幸生, 田代喬, 宮川幸雄, 対照的な河床環境を有する流路におけるアユの生息地適性評価モデルの構築とそれに基づく予測精度の比較による河床環境の重要性の検討, *河川技術論文集*, 第 26 卷, pp.361-366, 2020.

八木澤順治, 正村亮太, 堤防天端の縦断的な凹凸の周期性が越流時のガリー侵食に及ぼす影響, *河川技術論文集*, 第 26 卷, pp.497-502, 2020.

Billah, M.M. and Yagisawa, J., Experimental investigation on effect of initial phreatic line position inside earthen embankment on headcut migration during overtopping flow, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, Ser.B1(Hydraulic Engineering), Vol.76, No.2, I\_565-I-570, 2020.

西川咲良, 八木澤順治, 難侵食層が法尻周辺の洗堀に及ぼす影響, 土木学会論文集 B1(水工学) Vol.76, No.2, I-1165-1170, 2020.

(B)論文

Yagisawa, J., van Damme, M., Pol, J.C. and Bricker, J.D., Verification of a Predictive Formula for Critical Shear Stress with Large Scale Levee Erosion Experiment, 11th ICOLD European Club Symposium, CD-ROM, 2019.

---

文理融合部門

久保田 尚

---

(A)論文

Mursheda RAHMAN, Aya KOJIMA, Hisashi KUBOTA., Examining the Speed Reduction Characteristics of Urban Residential Streets in the Upstream Side of Speed Humps, Asian Transport Studies, Vol.5, Issue 5, pp 828-844, 2019

Mursheda RAHMAN, Aya KOJIMA, Hisashi KUBOTA., Predicting Individual Vehicle Speed Profile of Urban Residential Streets where a Single Hump is Present Considering the Road Geometric Features, Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.13, pp.2137-2153, 2019

松本育滉, 稲田竜一, 小嶋文, 久保田尚, 生活道路交通安全対策地点選定のための日本版点数化システムの開発, 土木学会論文集 D3, Vol.75, No.5, pp. I\_933-I\_944, 2019

稲田竜一, 小嶋文, 久保田尚, サイン形状ハンプの勾配部のばらつきと速度抑制効果に関する研究, 交通工学論文集, Vol.6, p. A\_206-A\_215, 2019

Iasmin, H., Kojima, A., Kubota, H., Impact of pavement on speed behaviour of turning vehicle on crosswalk at signalized intersection: Brick and Red colour, Journal of Transportation Safety & Security, pp 193-212, 2017

Asif Nawaz Qazi, Kazuaki OKUBO, Hisashi KUBOTA, Use of the Time-Space Network Technique for Modeling Gradual Flooding and Congestion Delays during Short-Notice Bus-Based Evacuations, EASTS Journal, Vo.12, p. 2444-2461, 2017

Nguyen Hoang-Tung, Hisashi Kubota, Transformation from intentions to habits in travel behavior: An awareness of a mediated form of intention, Transportation Research Part F: Psychology and Behaviour 49C (2017) pp. 226-235

Nguyen Hoang-Tung, Hisashi Kubota, Application of attitude theory for identifying the effects of non-attendance attributes in stated choice surveys, Travel Behaviour and Society,

須永 大介, 青野 貞康, 松本 浩和, 山崎 静一郎, 久保田 尚, 大都市圏郊外部における超小型モビリティを用いた居住地カーシェアリングの導入可能性に関する研究, 土木学会論文集 D3 (土木計画学), 73 巻 5 号, I\_857-I\_868, 2017

Pornraht Pongprasert, Hisashi Kubota, Why TOD Residents Still Use Car? Understanding the factors affecting the automobile ownership and use of residents living near transit stations of Bangkok, Urban and Regional Planning Review, Volume 4, 231-250, 2017

Asif-NawazQazi, Yutaka Nara, Kazuaki Okubo, Hisashi Kubota, Demand variations and evacuation route flexibility in short-notice bus-based evacuation planning, IATSS Research, Volume 41, Issue 4, pp 147-152, 2017

Pornraht Pongprasert, HisashiKubota, Switching from motorcycle taxi to walking: A case study of transit station access in Bangkok, Thailand, IATSS Research, Volume 41, Issue 4, pp 182-190, 2017

Nguyen Duc-Nghiem, Nguyen Hoang-Tung, Aya Kojima, Hisashi Kubota, Effect of surface roughness on cyclists' handlebar controllability: an insight into bicycling safety, *Advances in Transportation Studies*, XLIII, pp. 75-92, 2017

Nguyen Duc-Nghiem, Nguyen Hoang-Tung, Aya Kojima, Hisashi Kubota, Validating Motive of Bike Lane Usage: An Observation of Actual Behavior, *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*, Vol.12, pp.889-903, 2017

Mursheda Rahman, Nguyen Hoang-Tung, Aya Kojima, Hisashi Kubota, Identification of External Factors Affecting the Effectiveness of Speed Humps, *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*, Vol.12, pp. 2016-2034, 2017

Iasmin, H., Kojima, A., Kubota, H., Safety effectiveness of pavement design treatment at intersections: Left turning vehicles and pedestrians on crosswalks, *IATSS Research*, Vol.14, Issue 1, pp.47-55, 2016.

Iasmin, H., Kojima, A., Kubota, H., Turning Gap Acceptance on Crosswalk : Impact of Difference on Pavement, *土木学会論文集 D3*, Vol.72, No.5, p.I\_751-I\_758, 2016. 12.

Duc-Nghiem, N., Hoang-Tung, N., Kojima, A., Kubota, H., Traffic Safety of Elderly Road User: The World Trend and The Japanese Case, *土木学会論文集 D3*, Vol.72, No.5, p.I\_1249-I\_1264, 2016.12.

Kojima, A., Elfferding, S., Kubota, H., Intelligent rat-runner: impact of car navigation system on safety of residential roads, *International Journal of Intelligent Transportation Systems Research*, Vol.13, Issue 1, pp. 9-16. 2015.

井村公一, 小嶋文, 久保田尚, 電動二輪モビリティの安全性及び快適性に関する研究, *交通工学論文集*, Vol.1, No.2, pp. A\_97-A\_106, 2015.

Kojima, A., Fudamoto, T., Okuma, M., Kubota, H., Smile And Behavior - New Evaluation Method For Pedestrian Environment, *Asian Transport Studies*, Vol.3, No.4, pp.487-499, 2015.

谷本智, 小嶋文, 久保田尚, わが国におけるライジングボラードの導入可能性に関する研究, *土木学会論文集 D3*, Vol.71, No.5 p.I\_903-I\_915, 2015.

Iasmin H., Kojima, A., Kubota, H., Yielding behavior of left turning driver towards pedestrian/cyclist: Impact of intersection angle, *Journal of Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol.11, pp.2146-2158, 2015.

Hoang-Tung, N., Kojima, A., Kubota, H., Travelers' motivations to use public transportation: a changing strength of pro-environmental motivation in deciding bus use intention, *Journal of Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol.11, pp.1522-1534, 2015.

Kamada, M., Kojima, A., Kubota, H., Long-term Effectiveness of Sinusoidal Hump - Focusing on the Acceptability of Local Residents, *Journal of Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol.11, pp.2159-2174, 2015.

Rahman, F., Yohida, S., Kojima, A., Kubota, H., Public Acceptance Survey for Evaluation of Traffic Calming Prioritization Process, *Journal of Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol.11, pp.1793-1809, 2015.

Rahman, F., Yohida, S., Kojima, A., Kubota, H., Paired Comparison Method to Prioritize Traffic Calming Projects, *Journal of Eastern Asia Society for Transportation Studies*. Vol.11, pp. 2472-2487, 2015.

大柳和紀, 小嶋文, 久保田尚, 急ブレーキ及び交通事故データを用いた地域 DNA 型交差点の危険性に関する分析, *土木学会論文集 D3*, Vol.70, No.5, pp. I\_433-I\_441, 2014.

鎌田将希, 小嶋文, 久保田尚, 形状・構造の違いに着目したハンプ普及可能性に関する研究, *土木学会論文集 D3*, Vol.70, No.5, pp. I\_1173-I\_1182, 2014.

佐藤学, 星野優希, 小嶋文, 久保田尚, 歩行者の表情・しぐさに着目した歩行空間の評価手法に関する研究, *土木学会論文集 D3*, Vol.70, No.5. pp. I\_889-I\_905, 2014.

谷本智, 小嶋文, 久保田尚, わが国の生活道路におけるライジングボラード導入可能性に関する研究, 土木学会論文集 D3, Vol.70, No.5, pp. I\_1135-I\_1146, 2014.

(B)論文

久保田尚, 生活道路の安全対策, 都市問題, vol.111, pp.81-92, 2020

久保田尚, 通学路 Vision Zero～子供の笑顔があふれる国土へ～, 人と国土 21, 第 45 巻 2 号, p.83, 2019

---

**松本 正生**

---

(A)論文

IVR と SMS を利用したスマートフォン調査の効用 (共著)  
政策と調査 No.18 3-16 頁 2020.3

---

**内田 奈芳美**

---

【査読論文】

・内田 奈芳美「都市のオーセンティシティとは— その定義と、観光関連の土地利用が示す変化」観光学術学会  
観光学評論 Vol.8-2, 2020 pp. 123-137 2020.9

【学会発表】

- ・新津瞬・石黒卓・入矢佳紀・工藤和美・藤村龍至・内田奈芳美「ビジョンとプロジェクトの相互作用による公民連携都市再生プロセスに関する研究 岡崎市・豊田市・さいたま市の比較から」日本建築学会大会（関東）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.427-428 2020.9
  - ・内田奈芳美・坂村圭「オーセンティシティの読み取り方に関する試論（その 2）金沢市をケーススタディとして」日本建築学会大会（関東）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.433-434 2020.9
  - ・入矢佳紀・石黒卓・新津瞬・藤村龍至・内田奈芳美・工藤和美・泉山壘威「ストリート・インキュベーションの実態と課題 社会実験を通じた沿道経営の体制形成について」日本建築学会大会（関東）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.365-366 2020.9
  - ・石黒卓・新津瞬・入矢佳紀・内田奈芳美・藤村龍至・工藤和美「大規模駅周辺地区のデザイン調整の制度的差異に関する研究 横浜駅周辺地区及び渋谷駅中心地区を事例として」日本建築学会大会（関東）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 275-276 2020.9
  - ・内田奈芳美「金沢市における民間まちづくり提言の系譜」日本建築学会大会（北陸）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp.1055-1056 2019.9
  - ・入矢佳紀・石黒卓・新津瞬・飯島崇・工藤和美・藤村龍至・内田奈芳美・泉山壘威「ストリート・インキュベーションは可能か（その 2）道路予定区域・沿道敷地の一体活用による都市活動の創出」日本建築学会大会（北陸）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 973-974 2019.9
  - ・新津瞬・石黒卓・入矢佳紀・飯島崇・工藤和美・藤村龍至・内田奈芳美・泉山壘威「ストリート・インキュベーションは可能か（その 3）沿道経営の体制創出に向けて」日本建築学会大会（北陸）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 975-976 2019.9
  - ・坂村圭・内田奈芳美「オーセンティシティの読み取り方に関する試論 竹富島をケーススタディとして」日本建築学会大会（北陸）日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 21-22 2019.9
-

(A)論文

Tani, R., Kato, T., Uchida, K., A method for structuring stochastic travel time by using risk premiums of stochastic link flow, *Transportmetrica A: Transport Science*. Vol. 17, No.2, pp. 212-232, 2021.

Kato, T., Uchida, K., Lam, W. H. K., Sumalee, A., Estimation of the value of travel time and of travel time reliability for heterogeneous drivers in a road network, *Transportation*: DOI: 10.1007/s11116-020-10107-x, 2020.

Nitta, S., Tani, R., Kato, T., Uchida, K., Estimation of Travel Time Reduction Benefit Considering the Travel Time Reliability in an Autonomous Vehicle Prevailed Road Network, *Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies*(13): pp. 664-677, 2019.

Tani, R., Takashima, I., Kato, T., Tamura, T., Uchida, K., Analysis of the effect of bundled airport privatization on an airline network, *Transport Policy*, 2020. (掲載決定)

Rahman, A., Kojima A., Kato T., Kubota H., A mechanism to enhance bicycle conspicuity and visibility and increase detection distances: New insights into bicycle safety, *IATSS Research*, 2020, DOI: 10.1016/j.iatssr.2020.09.006.

Rahman, A., Kojima A., Kato T., Kubota H., Effectiveness of color blinking on the detection and recognition distances of bicycles, *Advances in Transportation Studies*, 2021 (掲載決定)

---

**奥井 義昭**

館石 和雄, 奥井 義昭, 村越 潤, 穴見 健吾, 岩崎 英治: 鋼橋の強靱化・長寿命化に向けた研究の取組み, 橋梁と基礎, Vol. 55, No.2, 2021

奥井義昭, 宮下剛: 鋼道路橋の Load Rating の検討, 橋梁と基礎, Vol.55, No.2, 2021

伊藤学, 奥井義昭: 鋼構造学, コロナ社, 2020

奥井他 25 名: 鋼橋の設計・評価技術の高度化, 日本鋼構造協会テクニカルレポート No.119, 2020

**松本 泰尚**

【著書】

土木学会 (分担): 鋼橋の環境振動・騒音に関する予測, 評価および対策技術, 鋼構造シリーズ 34, 土木学会, ISBN: 978-4-8106-1003-1 C3051, 2020.11.

日本鋼構造協会編 (分担): 構造物のモニタリング技術, コロナ社, ISBN: 978-4-339-05272-5, 2020.10.

【資料】

岩根康之, 小林真人, 川澄卓也, 千葉泰河, 松本泰尚: 質量体を用いた建設振動の伝播経路対策技術の開発—実大実験による振動低減効果の検討—, とびしま技報, No.68, 35-40, 2020.11.

岩根康之, 小林真人, 内田季延, 三浦太郎, 千葉泰河, 松本泰尚: 振動制御装置を用いた建設振動の伝播経路対策技術の開発—模型実験による質量体の地盤振動低減効果の検討—, とびしま技報, No.67, 29-34, 2019.10.

日本建築学会環境工学委員会環境振動運営委員会環境振動測定分析小委員会 (分担): 建築物における環境振動測定・分析に関する資料, 2019.4, <https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc10-12.html> (2019 年 12 月 24 日閲覧)

【解説】

松本泰尚: 日本建築学会による環境振動の評価規準について, 音響技術, No.191, 57-60, 2020.9.

松本泰尚: 居住性からみた振動の評価方法—国外の振動評価方法—, 日本音響学会誌, Vol.75, No.5, 297-301, 2019.5.

【講演】

松本泰尚: シンポジウム「人と振動に関わる技術や評価—乗物, 建物における考え方—」コーディネータ, 日本騒音制御工学会 2019 年秋季研究発表会, 2019.11.

【知的財産】

岩根康之, 小林真人, 松本泰尚 (2020) 地盤振動低減装置, 特願 2020-109348, 特許 6785535, 2020.10.29.

**牧 剛史**

【解説記事】

牧 剛史: コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会 (土木学会コンクリート委員会特集), セメント新聞 (2020.3.30 掲載)

【著書・委員会報告書】

コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法—時空間性能評価技術の未来予想図Ⅱ—, コンクリート技術シリーズ 125, 土木学会, 2020.10

部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会報告書，コンクリート技術シリーズ 126，土木学会，2020.11

【その他】

牧 剛史：巻頭言 ”新しい日常に向かって”，鉄筋継手，Vol.55，No.3，p.1，2020.10

【知的財産】

「既設壁高欄の部分更新方法」，特願 2018-110789（2018.6.11 出願）

「斜ケーブルの定着構造」，特願 2018-245133（2018.12.27 出願）

「ケーブルの定着構造」，特願 2018-245134（2018.12.27 出願）

---

## 防災・環境部門

### 田中 規夫

田中規夫，広い高水敷をもつ河川における洪水時の強風による吹き寄せと風応力が局所的河川水位の上昇と潜在的氾濫リスクに与える影響，河川基金助成事業（助成番号：2019-5211-037）報告書，2020.5.

田中規夫，埼玉県全体の流況・被害と洪水調節施設の効果，令和元年台風 19 号豪雨災害調査団報告書，pp.218-225, 2020.

小林健一郎，田中規夫，荒川流域流出氾濫モデルおよび浸水モデルの構築，令和元年台風 19 号豪雨災害調査団報告書，pp.226-229, 2020.

田中規夫，五十嵐善哉，海野瀬綾乃，荒川水系越辺川・都幾川・新江川における破堤・氾濫状況の解析，令和元年台風 19 号豪雨災害調査団報告書，pp.231-244, 2020.

富田邦裕，松本敬之，三崎貴弘，小田洋平，田中克幸，田中規夫，都幾川，越辺川合流点における令和元年東日本台風の洪水再現性の検討，令和元年台風 19 号豪雨災害調査団報告書，pp.245-257, 2020.

田中規夫，台風 19 号による関東地区の河川氾濫と課題，消防防災の科学 No.141, pp.26-30, 2020.

田中規夫，樹木流失，残存樹木のトラップによる洪水水位への影響，河道管理小委員会WS「～今ある川を点検し評価する新しい河道技術にむけて～」 2021.2.3

田中規夫，水災害リスクと逃げ遅れゼロ施策：川越市の場合，水災害リスクと逃げ遅れゼロ施策講演会，2020.7.18.

田中規夫，河川合流点や堤防付近の流れに対する植生破壊や浮遊物トラップ影響，令和元年台風 19 号及び台風 21 号による広域災害に関する総合研究」成果報告書，2021.7.15.

田中規夫，荒川中流域の潜在的氾濫リスクと避難タイミングに関する研究，河川基金助成事業（助成番号：2018-5211-033）報告書，2019.4.

田中規夫，マングローブ・海岸砂丘・ラグーンによる沿岸災害の減災（スリランカ），土木学会誌 10 月号，2019.10.

Fukuda, S., Tanaka, N., Yasuda, Y., Tsubaki, R., Muraoka, K., & Asaeda, T. International contributions in advancing ecohydraulics, Journal of Ecohydraulics 4(2):86-87, 2019.

清水 義彦，田中 仁，田中 規夫，吉谷 純一，二瓶 泰雄，2019 年台風 19 号による豪雨災害状況，土木学会誌 3 月号，2020.3.

田中規夫、さいたま市の水害リスクについて、彩学会市民企画コース「さいたま市の自然災害リスクにどう対応するか」、2019.6.20.

田中規夫、避難のために何を改善すべきか、彩学会市民企画コース「さいたま市の自然災害リスクにどう対応するか」、2019.7.25.

田中規夫、河川氾濫に対する流域での減災方策の可能性：荒川流域を例として、河川財団アドバイザーセミナー講演、河川財団 2F 会議室、2019.10.31.

田中規夫、洪水時の樹木破壊による抵抗変化と樹林帯による浮遊物トラップで生じる偏流現象、河道管理小委員会WS「河道管理の最前線～現場と研究の接点を探る～」2020.1.

田中規夫、荒川西遷による氾濫リスクの変化とその後の氾濫流制御、(公財)日本技術士会埼玉県支部主催 2019年度 CPD 講演会、2019.12.16.

田中規夫、水工学委員会令和元年台風 19 号豪雨災害調査団 関東地区報告、2019.11.7.

田中規夫、現況流下能力を超える出水が発生した場合の河川中流域や内水域の課題：関東地区の氾濫事例より、土木学会水工学委員会「令和元年台風 19 号豪雨災害調査団」速報会 芝浦工業大学・豊洲キャンパス、2019.12.6.

田中規夫、気候変動影響下における今後の治水対策と自治体の対応 ～荒川流域の水害特性を踏まえて～、比企郡町村議会議長会議員研修会 於：フレサよしみ(吉見町民会館)、2020.2.5.

田中規夫、小野寺祐乃、千葉県における台風 15 号、19 号、21 号関連豪雨災害の比較：降雨特性、流域特性からみた浸水メカニズムの比較、突発災害科研(台風 15 号)報告書、2020.3.

戸松誠、川村壮、堤拓也、飯泉元気、石井旭、川上源太郎、佐藤創、橋本雄一、塩崎大輔、田中規夫、津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開、地方独立行政法人北海道立総合研究機構調査研究報告、2020.3.

田中規夫 新聞掲載 読売新聞(2020.7.30)：川越江川講演会に関する記事

田中規夫 新聞掲載 建設通信新聞(2020.12.6)：レジリエント社会研究センターのオープンフォーラムの記事

田中規夫 新聞掲載 日刊建設工業新聞電子版(2019.10.17)：堤防委員会関連記事

田中規夫 新聞掲載 毎日新聞(2019.10.25)：都幾川破堤に関するコメント(樹木影響)

田中規夫 新聞掲載 朝日新聞(2019.11.12)：治水の見直しに関するコメント

田中規夫 新聞掲載 建設通信新聞(2019.11.14)：レジリエント社会研究センターのオープンフォーラムの記事

田中規夫 新聞掲載 埼玉新聞(2019.11.15)：車中死関連記事

田中規夫 新聞掲載 毎日新聞(2019.11.21)：洪水予報に関するコメント

田中規夫 新聞掲載 読売新聞(2019.12.12)：今後の治水に関するコメント

田中規夫 新聞掲載 日経産業新聞(2019.12.16)：台風 19 号調査団中間報告会

田中規夫 新聞掲載 日経新聞(2020.1.17) 氾濫流の戻り流れに関するコメント

田中規夫 新聞掲載 下野新聞(2020.2.2)：排水機場に関するコメント

田中規夫 テレビ出演 (録画)、 スイス公共放送局

田中規夫 テレビ出演 (2019/10/14) ひるおび (生放送) : 台風 19 号全般に関するコメント

田中規夫 テレビ出演 (2019/10/18) 首都圏外郭放水路の治水効果に関するコメント : NHK 首都圏ネットワーク “地下神殿” が浸水被害を軽減 (<https://www3.nhk.or.jp/lnews/saitama/20191018/1100006919.html>)

田中規夫 テレビ出演 (2019/10/28) あさチャン (パネル出演) 千葉豪雨に関するコメント

田中規夫 テレビ出演 (2019/10/30) おはよう日本 (NHK : 長野県ローカル放送分) 収録で出演

田中規夫 テレビ出演 (2019/10/31) おはよう日本 (NHK) 収録で出演※10/30 と放送内容がやや異なる

田中規夫 テレビ出演 (2019/12/25) 年末特番 News Special 2019 (テレ玉) : 収録で出演 : 台風 19 号をうけて今後の埼玉の治水、避難に関するコメント ([http://www.saitama-u.ac.jp/media\\_archives/2019-1224-1321-9.html](http://www.saitama-u.ac.jp/media_archives/2019-1224-1321-9.html))

田中規夫 テレビ出演 (2019/12/27) 時事公論 (NHK) : パネル出演

田中規夫 テレビ出演 (2020/2/17) テレ玉 ニュース 545 : 埼玉県の治水予算に関するコメント

田中規夫、テレビ番組の CG の監修 (2021/3/11) 命と未来を守る 50 の方法 (日本テレビ放送網株式会社)

---

## 齊藤 正人

### 【知的財産】

齊藤 正人, 村井 和男, 今西 圭一, 「支持システム及び支持方法」, 特願 2020-22097, (2020.02.23)

### 【講義・講演等】

2019 年 6 月 16 日 さいたま市教育委員会主催・埼玉市民大学 「さいたま市の自然災害リスクにどう対応するか」 講師

---

## 長田 昌彦

### 【講義・講演等】

令和元年 6 月 6 日 さいたま市民大学 講師 「現在の日本列島の災害リスク～最近の地震・火山・極端気象情報から読み取る～」

令和元年 8 月 7 日 埼玉大学オープンキャンパス 模擬講義 「豪雨災害と社会デザイン」

令和 2 年 8 月 1 1 日 埼玉大学オープンキャンパス オンライン模擬講義 「自然災害と社会デザイン」

---

## 文理融合部門

---

## 久保田 尚

### 【著書】

つくる、あんぜん。通学路 Vision Zero 公益財団法人国際交通安全学会 久保田尚、他 37 名, 2019 年 1 月

### 【研究論文等 (紀要等・単行本の分担執筆も含む)】

ラボ&カレッジ まちづくりの現場に根差した工学技術の探求 土木技術 1 月号, 2020 年

## 内田 奈芳美

---

### 【著書】

- ・(分担執筆) 野嶋慎二・松浦健治郎・樋口秀編『コンパクトシティの拠点づくり』学芸出版社 (2020)
  - 内田奈芳美「公民連携により生活拠点を整備する 野々市市:にぎわいの里ののいちカミーノ」pp.63-65
  - 内田奈芳美「拠点に求められている役割と活動のプログラム」 pp.126-129
  - 内田奈芳美「地域ベースの活動主体による拠点の運営 さいたま市:アーバンデザインセンター大宮を例に」 pp.170-173
- ・(分担執筆)『はじめて学ぶ生物文化多様性』講談社 (2020)
  - (共著) 坂村圭・内田奈芳美「第5章 都市と生物文化多様性」

### 【論説等】

- ・内田奈芳美「解題 現代的シェアによるコラボラティブ社会への接続」『都市計画 69(3)』, pp.18-21 2020.5
- ・新津 瞬・石黒 卓・入矢 佳紀・藤村 龍至・内田 奈芳美・工藤 和美「ストリートから攻める都市再生～おおみやストリートテラス」公益財団法人都市計画協会「新都市」 vol.74 No.1 pp.70-76 2020.1
- ・内田奈芳美「「身の丈」の資金的支援:まちづくりファンドから見るクラウドファンディングの位置付け」日本不動産学会誌/第32巻第4号「特集 まちづくりファンドの新潮流と都市・地域再生:クラウドファンディング活用の意義と課題」 pp76-80 2019.3
- ・内田奈芳美「書評:ジェイン・ジェイコブズ 都市論集 都市の計画・経済論とその思想」都市計画学会学会誌「都市計画」「書籍探訪」2019.5

### 【講演】

- ・招待講演「公共空間を介して「らしさ」を考える:大宮と金沢での経験から」国土交通省関東地方整備局建政部セミナー 2020.1
  - ・招待講演「観光のジェントリフィケーションと主観的オーセンティシティ—都市再生の視点から」観光学術学会大会(玉川大学) 2020.2
  - ・招待講演「参加につながる社会技術」立命館大学「Gerontology and Social Technology Focus on East Asia」2020.2
  - ・講義「都市の価値について」埼玉大学経済学部市民講座 2020.11.18
  - ・発表者「コンパクトシティと拠点づくり with コロナ・after コロナ時代の拠点のあり方とは」早稲田まちづくりセミナー#09 2020.11.21
  - ・コメンテーター セッション 4「空き家・遊休空間の活用」日本建築学会住宅系研究懇談会 2020.12.5
  - ・ゲストコメンテーター「アメリカ都市 ジェントリフィケーションの今——分断・格差の実態と再生への試みから何を学ぶか」学芸出版社オンラインセミナー 2021.1.2
  - ・招待講演「公民連携の可能性 ~カミーノをモノ、コト、ヒトが渦巻く「まちのニワ」に」野々市市「まち×ひと×コト アカデミー」第3回 2021.2.27
-

#### 桑野 二郎

Rasool, A.M. and Kuwano, J.: Effect of confining stress on unsaturated soil behavior during shear infiltration test, *Proceedings of 15th International Conference on Geotechnical Engineering*, 5p., December 2019.

Ajuda, A.A., Kuwano, J. and Hoshina, K.: Effect of reinforcement stiffness arrangement on seismic performance of geogrid reinforced soil wall, *Proceedings of 5th International Conference on Science, Engineering & Environment (SCEE2019)*, Bangkok, pp.432-438, November 2019.

Rasool, A.M. and Kuwano, J.: Shear strength of unsaturated silty soil under water infiltration conditions, *Proceedings of 16th Asian Regional Conference*, October 2019.

Soe, A.A., Kuwano, J. and Kogure, T.: Estimating the confinement zone of geogrid-stabilized aggregate layer by means of direct shear test, *Proceedings of 16th Asian Regional Conference*, October 2019.

Rasool, A.M. and Kuwano, J.: Effect of water infiltration on behaviour of unsaturated soil under constant matric suction, *Proceedings of the 7th International Symposium on Deformation Characteristics of Geomaterials*, June 2019.

Ajuda, A.A., Kuwano, J., Takamine, S. and Yasukawa, K.: Shaking table test on seismic performance of geogrid reinforced soil wall, *Proceedings of the 7th International Conference on Earthquake Geotechnical Engineering (ICEGE2019)*, pp.1026-1033, DOI: <https://doi.org/10.1201/9780429031274>, June 2019.

Soe, A.A., Kuwano, J. and Kogure, T.: Lateral shear resistance of triangular geogrid-reinforced aggregate layer overlaying poorly-graded sand layer, *Proceedings of the 8th Civil Engineering Conference in the Asian Region (CECAR8)*, April 2019.

#### 松本 泰尚

松本泰尚, 小枝希, 林健太郎, 森原崇, 横島潤紀: 鉄道による振動と騒音の同時暴露に対する心理的反応に関する一検討, 日本騒音制御工学会 2020 年秋季研究発表会講演論文集, 249-250, 2020.11.

森原崇, Catherine Marquis-Favre, Francois Ruille, Etienne Parizet, 横島潤紀, 松本泰尚: 新幹線鉄道からの音と振動に対する欧州在住者による評価実験, 日本騒音制御工学会 2020 年秋季研究発表会講演論文集, 79-80, 2020.11.

Sania Gohar, Yasunao Matsumoto, Takeshi Maki: Amplitude dependence of damping ratio of reinforced concrete slab under different loading states, 土木学会第 75 回年次学術講演会講演概要集, CS2-20, 2020.9.

千葉泰河, 岩根康之, 小林真人, 松本泰尚: 質量体を用いた環境振動の伝播経路対策 一数值解析による振動低減メカニズムの検討一, 土木学会第 75 回年次学術講演会講演概要集, VII-110, 2020.9.

岩根康之, 小林真人, 千葉泰河, 松本泰尚: 質量体を用いた環境振動の伝播経路対策 一実大実験による振動低減効果の検討一, 土木学会第 75 回年次学術講演会講演概要集, VII-108, 2020.9.

松本泰尚, 小枝希, 林健太郎, 森原崇, 横島潤紀: 鉛直-水平 2 軸交通振動に対する心理的応答評価に関する一検討, 2020 年度日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概集, 40223, 455-456, 2020.

林健太郎, 松本泰尚, 東田豊彦: 水平振動の不快感に関する実験結果と評価規準の対応についての検討事例, 2020 年度日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概集, 40221, 451-452, 2020.

松本泰尚, 池田佑希奈, 土屋亜美, 森原崇, 横島潤紀, 林健太郎: 鉛直-水平 2 軸交通振動に対する人の心理的反応に関する基礎的検討, 日本騒音制御工学会 2020 年春季研究発表会講演論文集, 18-19, 2020.4.

岩根康之, 小林真人, 内田季延, 千葉泰河, 松本泰尚: 振動制御装置を用いた建設振動の伝播経路対策の検討—数値解析と模型実験による低減効果の検討—, 日本騒音制御工学会 2019 年秋季研究発表会講演論文集, 199-203, 2019.11.

岩根康之, 小林真人, 千葉泰河, 松本泰尚: おもりを用いた環境振動の伝播経路対策に関する模型実験—おもりの幅および設置位置と低減効果の関係—, 土木学会第 74 回年次学術講演会講演概要集, III-054, 2019.9.

千葉泰河, 岩根康之, 小林真人, 松本泰尚: おもりを用いた環境振動の伝播経路対策に関する模型実験—おもりの質量と低減効果の関係—, 土木学会第 74 回年次学術講演会講演概要集, III-053, 2019.9.

林健太郎, 松本泰尚, 東田豊彦, 竹廣凌河: 建物水平振動に対する居住性能の評定尺度に関する実験的検討, 2019 年度日本建築学会大会 (北陸) 学術講演梗概集, 40220, 473-474, 2019.9.

---

## 牧 剛史

Abeygunawardana, N. T. and Maki, T.: Effect of joint hoops on deformation and strength of interior beam-column joints, 土木学会第 75 回年次学術講演会講演概要集, V-622, 2020.9

Gombosuren, D. and Maki, T.: Effect of shear reinforcement on cyclic behavior of RC interior beam-column joints, Proceedings of the 6th International Conference on Construction Materials: Performance, Innovations, and Structural Implications, pp.392-401, 27-29 August 2020, Fukuoka, Japan, 2020

---

## 防災・環境部門

---

### 田中 規夫

Javedullah Hemat Sherzai, Rowan De Costa, Tanaka, N., Effects of landward slope roughness on scouring phenomena downstream of embankment toe, Proceedings of the 22nd International Summer Symposium (Japan Society of Civil Engineers), II-13 (DVD) September 2020, Nagoya, Japan, 2020. (発表日 20200909-11)

海野瀬綾乃, 田中規夫, 五十嵐善哉, 伏見健吾, 堤防の浸透破壊を考慮した河川氾濫解析による荒川流域の潜在的氾濫リスクの評価, 令和 2 年度土木学会全国大会 第 75 回年次学術講演会, II-148 (DVD), 2020. (発表日 20200909-11)

五十嵐善哉, 田中規夫, 高塚智之, 令和元年東日本台風における都幾川上流の霞堤群が下流のピーク流量低減に及ぼした影響, 令和 2 年度土木学会全国大会 第 75 回年次学術講演会, II-219 (DVD), 2020. (発表日 20200909-11)

Tanaka, N., Kajitani, H., Fushimi, K., Historical river course changes and paddy fields developments in the Arakawa River Basin, Japan and the role of second embankments in the recent 2019 flooding event, Ext-abstract of the 22nd IAHR-APD Congress, Sapporo, Japan, 2020.

海野瀬綾乃, 田中規夫, 埼玉県川越市における外水・内水氾濫を考慮した避難行動分類と避難上の課題, 土木学会関東支部発表会 II-32(CD-ROM), 2021. (発表日 20210302)

Anjum, N., Tanaka, N., Physical modeling of tsunami flow through discontinuous vegetation, Proceedings of the 21st International Summer Symposium (Japan Society of Civil Engineers), pp. 49-50, 3-4 September 2019, Takamatsu, Japan, 2019.

小野寺祐乃, 田中規夫, 令和元年台風 15 号, 台風 19 号, 10 月 25 日の大雨による千葉県の河川氾濫特性の検討, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-55(CD-ROM), 2020.

君和田祐弥, 田中規夫, 海岸林より内陸のスペースを活用したハイブリッド構造物の津波周期に対する減勢効果の数值解析的検討, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-14(CD-ROM), 2020.

小倉睦, 小野瀬涼太, 田中規夫, 盛土された堤体裏法面上の樹林帯が越流侵食に与える影響, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-49(CD-ROM), 2020.

末永博, 田中規夫, 渡辺笙悟, 枝下高の変化と浮遊物トラップを考慮した実樹木モデルを用いた樹林帯抵抗の評価, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-64(CD-ROM), 2020.

高塚智之, 伏見健吾, 海野瀬綾乃, 田中規夫, 荒川流域におけるレベル湛水法を用いた台風 19 号時の氾濫ボリュームの推定, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-74(CD-ROM), 2020.

岩田敦行, Rowan DE COSTA, 田中規夫, 津波に対するハイブリッド減災構造物周辺の流木の挙動と捕捉に関する研究, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, II-7(CD-ROM), 2020

---

### 齊藤 正人

Masato Saitoh, Plenary Lecture, The 5th International Conference on Advances in Civil Engineering (ICACE-2020), Bangladesh, March 4-6, 2021.

齊藤 正人, 単杭基礎の水平動的ばねの大変形時における収束特性の実験的評価, 第 75 回土木学会全国大会, 第 70 回年次学術講演会講演概要集, 1-2, (2020).

Naba Raj Shrestha, Masato Saitoh, Alok Kumer Saha, Chandra Shekhar Goit, Rate-Dependent Cyclic Lateral Load Test on a Single Pile in Sand, Proceedings of the 5th International Conference on Civil Structural and Transportation Engineering (ICCSTE'20), Paper No. 231, DOI: 10.11159/icste20.231, 231-1-7, 2020.

水川裕貴, 齊藤正人, 地震直後の危険な建物を空撮動画から早期検出する手法の開発, 日本地震工学会・大会-2020, A-2-6\_T2020-41, 12月2日, 2020.

Ullah MS, Kajiwara K, Goit CS, Saitoh M., Effective foundation input motion for soil-steel pipe sheet pile (SPSP) foundation system, International conference on computational & experimental engineering and sciences (ICCES), March 25-28, 2019.

土井達也, 室野剛隆, 齊藤正人, 基礎の曲げ剛性および基礎先端の回転抵抗が入力損失効果に及ぼす影響, 第 22 回橋梁等の耐震設計シンポジウム, 7月 23-24 日, 2019.

布川博一, 豊岡亮洋, 齊藤正人, 倒壊方向制御構造で危機耐性を向上させたラーメン高架橋の振動台実験, 第 22 回橋梁等の耐震設計シンポジウム, 7月 23-24 日, 2019.

土井達也, 室野剛隆, 齊藤正人, 基礎の曲げ剛性および基礎先端の回転剛性が有効入力動の増幅に及ぼす影響, 第 39 回地震工学研究発表会, 10月 7-8 日, 2019.

Yuki Mizukawa and Masato Saitoh, Mechanism of automatically switching display using earthquake's motion, The 6th International Conference on Engineering, Energy, and Environment, Nov. 27-29, 2019.

---

### 長田 昌彦

長田 昌彦, 小澤 一稀, 船引 耕平, 弓 明義. 長期観測により確認された降雨に伴う凝灰岩開口割れ目の変位挙動, 日本応用地質学会令和年度研究発表会講演論文集, P12, pp.145-146, 2020.

長田 昌彦, 竹村 貴人, 富樫 陽太, 五嶋 壮太. スイス・モンテリ地下研究所での間隙空気圧測定, 日本応用地質学会令和元年度研究発表会講演論文集, pp.225-226, 2019.

Takeshi Maesaka, Kaori Kieda, Koyuru Iwanami, Nobuhiro Takahash, Hiroshi Hanado, Katsuhiro Nakagawa, Fumihiko Mizutani, Tomoo Ushio, Masahiko Osada, Streaming data processing for Multi-Parameter Phased Array Weather Radar (MP-PAWR) data, 39th Conference on Radar Meteorology, 2019.

---

#### 内村 太郎

---

Wang, L., Nishie, S., Fukuhara, M., Uchimura, T., Sasahara, K.: Stability monitoring of post-earthquake slope failure by using multi-point tilt sensors, Proc. of the 7th International Conference on Earthquake Geotechnical Engineering, pp. 5621-5628, 2019.

---

#### 八木澤 順治

---

Billah, M.M. and Yagisawa, J., Experimental study on local scour at embankment toe due to overtopping flow, JSCE 22nd International Summer Symposium, CD-ROM, 2020.

西川咲良, 八木澤順治, 堤体材料特性に応じた粘性土の限界せん断応力の予測式の提案, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会, II-32(CD-ROM), 2020.

宇佐美将平, 八木澤順治, 溝口裕太, 小野田幸生, 田代喬, 宮川幸雄, なわばりアユを対象とした生息地適性評価モデルの構築に向けた水理要因の影響の検討, 第 47 回土木学会関東支部技術研究発表会, II-32(CD-ROM), 2020.

---

### 文理融合部門

#### 久保田 尚

---

Kojima, A., Deguchi, H., Kubota, H., Relationship Between Process of Intersection Formation and Traffic Safety Behaviors, Proceedings of Asian-Pacific Planning Societies 2019, in Seoul, 2019

出口隼斗, 小嶋文, 久保田尚, 安全な自転車通行空間の整備とその効果に関する研究, 第 39 回交通工学研究発表会論文集 Vol.59, 2019

高橋学, 小嶋文, 久保田尚, 高齢者の道路横断行動と運動経験に関する研究, 59 回土木計画学研究発表会・講演集 Vol.59, 2019

高橋学, 小嶋文, 久保田尚, 高齢者の運動経験車両と道路横断時の車両との関係に関する研究, 第 60 回土木計画学研究発表会・講演集 Vol.60, 2019

長泉泰介, 小嶋文, 北川大喜, 児玉将吾, 河原塚政浩, 三浦哲也, 久保田尚, 大宮・氷川参道の歩行者専用化に至る経緯と論点整理, 第 60 回土木計画学研究発表会・講演集 Vol.60, 2019

Sajith UDAYANGA, Teppei KATO, Aya KOJIMA and Hisashi KUBOTA, FEASIBLE USE OF CROWDSOURCED TRAFFIC DATA IN TRANSPORTATION ENGINEERING APPLICATIONS, 第 60 回土木計画学研究発表会・講演集 Vol.60, 2019

---

#### 加藤 哲平

---

Nitta, S., Ryuichi, T., Kato, T. & Uchida, K. (2019), Estimation of Travel Time Reduction Benefit Considering the Travel Time, Reliability in an Autonomous Vehicle Prevailed Road Network, The 13rd EASTS conference, Colombo.

Tani, R., Suzuki, K., Kato, T. & Uchida, K. (2019), A study on effect of subsidy on location choice of multi-unit firms, The 13rd EASTS conference, Colombo.

Tani, R., Takashima, I., Kato, T., Tamura, T. & Uchida, K. (2019), An analysis of the effect of bundled airport privatization on an airline network, 15th World Conference on Transport Research, Mumbai.

若林航也, 加藤哲平, 需要とマッチングの不確実性を考慮したライドシェアリングサービスの最適なサービス水準に関する研究, 第 60 回土木学会研究発表会講演集, 2019.

Udayanga, P. A. S., Kato, T., Kojima, A., Kubota, H., Feasible Use of Crowdsourced Traffic Data in Transportation Engineering Applications, 第 60 回土木学会研究発表会講演集, 2019.

加藤 哲平, Nguyen Van Tung, 状態空間モデルに基づくハンプによる速度低減効果の評価, 第 61 回土木学会研究発表会講演集, 2020.

伊藤和大, 加藤哲平, 水災害時の共助避難行動を考慮した意思決定モデルの開発と評価, 第 61 回土木学会研究発表会講演集, 2020.

---

## 2-3 社会的貢献（外部委員会の役員等）

### インフラ強靱化部門

#### 奥井 義昭

土木学会複合構造委員会委員長，2015-2016 年度

科学研究費委員会専門委員，2016-2021 年度

鋼構造論文集編集委員会副委員長，2017-2018 年度

鋼構造論文集編集委員会委員長，2019-2020 年度

さいたま市建設工事総合評価入札審査委員，2016-年度

埼玉県総合評価審査委員会委員，2016- 2020 年度

埼玉県企業局総合評価審査委員会委員，2016-年度

#### 桑野 二郎

国際ジオシンセティックス学会日本支部副支部長（2006～2018）

国際ジオシンセティックス学会日本支部支部長（2019～）

独立行政法人大学評価・学位授与機構「学位審査会(工学・芸術工学専門委員会)」専門委員（2006-2016）

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「学位審査会(工学・芸術工学専門委員会)」専門委員（2016-2018）

国際ジオシンセティックス学会理事（2008～2016）

国際ジオシンセティックス学会 IGS Award Committee（2016～）

国土交通省「中央建設工事紛争審査会」特別委員（2010～）

埼玉県「埼玉県地盤沈下対策調査専門委員会」委員（2013～2017）

原子力規制委員会原子力規制庁原子力規制部「特定原子力施設監視・評価検討会」参考人（2014）

土木研究センター「補強土(テールアルメ)壁工法技術検討委員会」副委員長（2016～）

埼玉県「彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会（彩の国委員会）」委員（2015～2017）

埼玉県「彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会（彩の国委員会）」副委員長（2018～2019）

埼玉県「埼玉県政府調達苦情検討委員会」委員（2015～2017）

埼玉県「埼玉県政府調達苦情検討委員会」副委員長（2018～2019）

日本電気協会「直接埋設におけるケーブル外傷等に係わる調査委員会」委員（2015～2016）

日本電気協会「直接埋設による電線地中化工法の実用性調査委員会」委員（2016～2017）

埼玉県「埼玉県環境影響評価技術審議会」委員（2016～2020）

高速道路調査会「高速道路点検診断資格委員会」委員（2016～）

埼玉県地質調査業協会顧問（2017～）

地盤工学会「第52回地盤工学研究発表会実行委員会」実行委員長（2017～2019）

地盤工学会「室内試験規格・基準委員会 WG6：ジオシンセティックス」委員（2017～）

地盤工学会「TC101 国内委員会」委員（2018～）

---

## 松本 泰尚

【官公庁・公社】（氏名・所属が公開されているもののみ）

国土交通省 関東地方整備局 入札監視委員会 委員（2016.4-2021.3）

埼玉県 公害審査会 委員（2016.4-現在）

埼玉県 総合評価審査委員会 委員（2020.4-現在）

栃木県 大規模小売店舗立地審議会 委員（2018.6-現在）

広島高速道路公社 広島高速5号線トンネル施工管理委員会 委員（2019年11月-現在）

【官公庁委託】

環境省委託 道路交通振動検討会 委員（2011-2014年度，2016-2020年度）

環境省委託 振動の評価指標に係る調査業務 委員（2019，2020年度）

【公益企業】

首都高速道路株式会社 首都高速道路の橋梁に関する調査研究小委員会 委員（2011.10-現在）

【学協会等】（委員長，主査，幹事等のみ）

土木学会 鋼構造委員会 鋼橋の騒音・振動低減に向けた設計検討小委員会 幹事長（2016.10-現在）

日本建築学会 環境工学委員会 環境振動運営委員会 主査（2019.4-現在）

日本騒音制御工学会 理事（2020.5-現在）

日本騒音制御工学会 研究部会 副部会長（2020.5-現在）

日本騒音制御工学会 道路交通振動予測式作成分科会 幹事（2019.5-現在）

---

## 牧 剛史

【官公庁・公益企業関連】

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所 某地区廃棄物処分場対策検討会議（委員：2020）

（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 新幹線鉄道建設・維持管理コストを低減する設計・施工法の公募に関する委員会（委員：2020～現在）

埼玉県 県土整備部 新製品・新技術評価委員会（委員：2019，委員長：2020～現在）

東日本高速道路(株) 関東支社 某橋耐震補強設計検討委員会 (委員:2019~2020)

首都高速道路(株) 首都高速道路の橋梁に関する調査研究委員会 (委員:2019~現在)

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 公募による新技術等の実用化推進に関する技術選定委員会 (委員:2019)

首都高速道路(株) 首都高速道路の橋梁に関する調査研究小委員会 (委員:2011~2018)

**【学協会の運営等に係る委員会】**

日本鉄筋継手協会 (理事:2019~現在)

土木学会 調査研究部門会議 兼 研究企画委員会 (委員:2019.6~2021.5)

土木学会 コンクリート委員会 (常任委員兼幹事:2019~現在)

日本コンクリート工学会 関東支部 執行委員会 (委員兼埼玉地区代表幹事:2017~現在)

土木学会 国際部門 アジア土木学協会連合協議会 (ACECC) 担当委員会 (幹事:2015~2018)

土木学会 複合構造委員会 (委員:2011~2012, 委員兼幹事:2013~現在)

**【学術雑誌等の編集に係る委員会】**

日本コンクリート工学会 コンクリート工学年次論文査読委員会 (幹事:2019.10~2021.9)

日本コンクリート工学会 コンクリート工学論文集編集委員会 (委員:2018.4~2020.3)

土木学会 土木学会論文集編集委員会 A1 分冊編集小委員会 (委員:2017.6~2019.6)

土木学会 土木学会論文集編集委員会 E2 分冊編集小委員会 (委員:2013.6~2016.5)

土木学会 複合構造委員会 論文集 A1 特集号編集小委員会 (幹事:2013.6~2019.6, 幹事長:2015.6~2017.5)

**【技術規準・指針等策定に係る委員会】**

土木学会 コンクリート委員会 示方書改訂小委員会 (基本原則編部会) (委員:2021.1~2022.3)

土木学会 コンクリート委員会 示方書改訂小委員会 (設計編部会) (幹事兼構造設計 WG 主査:2020.4~2023.3)

プレストレストコンクリート工学会 PC 橋プレキャスト工法規準作成小委員会 (委員:2020.5~2022.3)

プレストレストコンクリート工学会 既設ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会 (委員:2019.3~2021.3)

プレストレストコンクリート工学会 PC 斜張橋・エクストラードード橋設計施工規準改訂小委員会 (委員:2018.10~2020.7)

土木学会 原子力土木委員会 地中構造物の耐震性能照査高度化小委員会 (受託側委員:2018.7~2021.3)

土木学会 コンクリート委員会 プレキャストコンクリート工法の設計施工・維持管理に関する研究小委員会 (受託側委員:2018.4~2020.3)

プレストレストコンクリート工学会 連続繊維補強材の PC 構造物への適用に関する委員会 (委員兼幹事:2017.10~2019.10)

土木学会 コンクリート委員会 セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会（巻立て工法 WG 主査：2016.11～2018.10）

土木学会 複合構造委員会 複合構造標準示方書改訂小委員会（幹事兼設計編部会主査：2015.6～2022.3）

土木学会 コンクリート委員会 示方書改訂小委員会（設計編部会）（幹事兼耐震設計 WG 主査：2015.4～2018.3）

土木学会 複合構造委員会 複合構造標準示方書改訂小委員会（幹事兼設計編 FEM 標準 WG 主査：2011.9～2015.3）

【資格審査・認証等に係る委員会】

日本鉄筋継手協会 機器技術等認定委員会（委員長：2019.5～現在）

日本鉄筋継手協会 機械式継手技能者試験委員会（委員長：2019.5～現在）

日本技術士会 技術士試験作問委員（委員：2016～2020，主査：2018～2019）

（一財）首都高速道路技術センター 点検技術者資格認定委員会（委員：2015～現在）

（一財）首都高速道路技術センター 都市道路構造物点検技術者資格認定小委員会（委員：2015～現在）

土木学会 コンクリート委員会 コンクリート標準示方書に基づく数値解析認証小委員会（委員：2014～2015，幹事長：2016～現在）

【その他研究委員会】

土木学会 コンクリート委員会 部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会（副委員長：2018.6～2023.3）

土木学会 複合構造委員会 グリーンインフラとグレーインフラの融合に関する研究小委員会（幹事兼 WG1 主査：2018.6～2019.5）

土木学会 コンクリート委員会 コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会（委員長：2015.1～2020.6）

土木学会 複合構造委員会 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（幹事長：2012.12～2015.3，委員：2015.4～2017.5）

---

## 防災・環境部門

---

### 田中 規夫

IAHR 日本支部 理事(2011- )

IAHR 日本支部副支部長 (2018.3- )

APD-IAHR 日本委員(2014- )

土木学会水工学委員会委員（兼幹事）

土木学会水工学委員会基礎水理部会部会員

土木学会水工学委員会基礎水理部会生態水理分科会主査

土木学会水工学委員会河道管理研究小委員会（委員長）（2019-）  
第7期 技術士分科会 制度検討特別委員会 第一次試験適正化検討作業部会 委員  
国土交通省水害ハザードマップ検討委員会委員（2015）  
国土交通省関東地方整備局事業評価監視委員会委員（2016-）  
国土交通省荒川上流河川事務所リバーカウンセラー  
国土交通省利根川下流河川事務所リバーカウンセラー  
国土交通省荒川上流 100 周年準備委員会委員(2013-2017)  
国土交通省荒川河川整備計画有識者会議委員(2014- )  
国土交通省荒川上流河川事務所 河川維持管理技術アドバイザー（2012-）  
国土交通省荒川上流河川事務所 総合評価審査分科会委員（会長）  
国土交通省荒川上流河川事務所荒川調節池技術検討会委員(2016-)  
国土交通省荒川上流河川事務所 荒川第二・第三調節池事業に係る環境影響評価技術検討委員会委員(2018 年度  
(2019.2)-2021.3)  
越辺川都幾川堤防調査委員会委員（2019-2020）  
国土交通省荒川下流河川事務所 総合評価審査分科会委員（会長）  
国土交通省二瀬ダム管理所 総合評価審査分科会委員（会長）  
国土交通省荒川調節池工事事務所 総合評価審査分科会委員  
国土交通省利根川・江戸川フォローアップ委員会（2020-）  
国土交通省利根川下流部の計画段階評価検討委員会（2020-）  
国土交通省利根川下流部自然再生モニタリング委員会委員(2013-2016)  
国土交通省利根川下流北千葉導水路長寿命化検討委員会委員(2014-2015, 2019-)  
北海道庁：海岸防災林における新たな整備手法に関する検討委員会委員（2013-2015）  
埼玉県：彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会・委員(2012-2013)・副委員長(2014-2015)  
埼玉県見沼田圃土地利用審査会委員(2012-2015)  
埼玉県土砂災害警戒情報等見直し検討委員会 委員（委員長）（2016- ）  
埼玉県江川流域づくり支援会議（第二期）委員・座長（2015- ）  
埼玉県地域強靱化計画策定専門委員会 委員（副委員長）（2015-2016）

埼玉県地域強靱化推進専門委員会（副委員長）（2017-）

埼玉県河川整備計画策定専門会議（会長）（2019- ）

埼玉県国土利用計画審議会（副会長）（2020- ）

神奈川県河川委員会(2020-)

公益財団法人 河川財団 河川財団研究アドバイザー（2013- ）

公益財団法人 河川財団 戦略的維持管理委員会委員

公益財団法人 河川財団 河川教育懇談会委員（2015）

学術論文の編集委員

Landscape and Ecological Engineering (Springer)

Geosciences

水工学論文集

国際学術雑誌の査読委員（2019-2020）

Journal of Hydro-environment Research 4 編

International Journal of Sediment Research 1 編

Journal of Earthquake and Tsunami 1 編

Landscape and Ecological Engineering 3 編

Geosciences 1 編

Journal of Disaster Research 1 編

Ocean Engineering 3 編

River Research and Applications 2 編

Water 1 編

国内学術雑誌の査読委員(2019-2020)

土木学会論文集（水工学）24 編

自然災害科学 1 編

国際シンポジウムの査読委員(2019-2020)

APD-IAHR2020 7 編

国際シンポジウムの委員

SLJCR-2016 の International Advisory Committee

International Symposium on Ecohydraulics 2018 (ISE2018)の Local Organizing Committee (LOC)事務局長(2015-)

EMM-2020 の International Advisory Committee

博士論文の学外審査委員

塚本洋佑, ダム貯水池における洪水流動解析と洪水流入量・放流量の評価方法に関する研究, (中央大学, 主査: 福岡捷二教授)

吉見和紘, 確率過程論を導入した降雨流出過程における不確実性評価に関する研究, (中央大学, 主査: 山田正教授)

Agus Santoso, Aspect ratio variations in lower reach rivers focusing on sediment size distribution, (9/2017) (東京大学, 主査: 知花武佳准教授)

Afzal Ahmed, Ecological System Based Flood Risk Assessment (6/2020), (パキスタン Taxila 大学, 主査: Abdul Razzaq Ghumman 教授)

諏訪 義雄, 河川構造物と堤内地の洪水応答特性と減災への反映 (2/2021), (中央大学, 主査: 山田正教授)

## 齊藤 正人

---

土木学会論文賞選考委員会幹事長（令和元年）兼幹事（令和元年、2年）

土木学会論文集編集委員会委員兼第8部門幹事長（令和元年、2年）

土木学会教育企画・人材育成委員会幹事（令和元年、2年）

埼玉県「彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会（彩の国委員会）」委員（令和元年～現在）

埼玉県「埼玉県政府調達苦情検討委員会」委員（令和元年～現在）

国土交通省関東地方整備局北首都国道事務所総合評価審査分科会委員(平成20年6月～現在)

自然災害研究協議会会員兼関東地区部会長(平成28年4月～令和2年3月)

東京大学地震研究所-京都大学防災研究所拠点間共同研究委員会委員(平成29年度～令和2年3月)

埼玉県蕨市庁舎整備検討審議会副会長（平成29年）・会長（平成30年）

土木学会国際センター留学生グループ委員（平成27年～現在）・グループ長(平成28年～30年6月)

土木学会 International Summer Symposium 実施委員会委員長(平成28年～平成29年)

平成28年度九都県市合同防災訓練・総合防災会場（さいたま市）JCOM 実況中継解説者(平成28年9月)

平成29年度九都県市合同防災訓練・埼玉県会場（鶴ヶ島市）JCOM 実況中継解説者(平成29年8月)

平成30年度九都県市合同防災訓練・埼玉県会場（蓮田市）JCOM 実況中継解説者(平成30年8月)

Editor, Advances in Civil Engineering - Select Proceedings of ICACE 2020, Springer Nature (令和2年～)

Scientific and Technical Committee & Editorial Review Board on International Transaction Journal of Engineering, Management, & Applied Sciences & Technologies(平成22年10月～現在)

Advisory Member of ISET Journal of Earthquake Technology(平成25年10月～現在)

Advisory Committee Member of International Conference on Engineering, Energy and Environment(令和元年)

Organizing Committee Member of 4th International Symposium on Engineering, Energy and Environment(平成27年)

Organizing Committee Member of International Conference on Engineering, Energy and Environment(平成29年)

---

## 長田 昌彦

---

平成20年6月～ 日本応用地質学会 理事

平成20年6月～平成22年5月 土木学会 岩盤力学委員会論文小委員会 委員

平成20年6月～平成28年5月 地盤工学会 基準部会 部員

平成20年6月～平成28年5月 地盤工学会 地盤調査規格・基準委員会 幹事

平成21年3月～平成23年3月 日本計算工学会 プロジェクト研究委員会 委員

平成21年6月～令和4年3月 日本地下備蓄株式会社 保全技術検討委員会 委員

平成21年6月～平成24年5月 日本応用地質学会 研究企画委員会 副委員長

平成21年6月～平成24年5月 日本応用地質学会 総務委員会 委員

平成21年6月～ 土木学会 岩盤力学委員会 委員兼幹事

平成21年6月～ 土木学会 岩盤力学委員会 企画運営小委員会 幹事委員

平成21年6月～平成23年5月 土木学会 論文集編集委員会 部門C小委員会 委員

平成21年8月～平成24年3月 技術士 応用理学部門 第二次試験 採点委員および面接委員

平成21年8月～平成29年5月 日本地球惑星科学連合 大会プログラム委員

平成21年9月～平成22年3月 日本応用地質学会 功績賞選考特別委員会 委員

平成22年6月～平成24年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分モニタリングシステム委員会 委員

平成22年6月～平成25年5月 土木学会 岩盤力学委員会論文小委員会 委員長

平成22年6月～平成24年3月 土木学会 岩盤力学委員会 CCS 検討ワーキング 委員

平成22年6月～平成24年3月 エンジニアリング振興協会 CO2 マイクロバブル地中貯留システムの成立性に関する調査研究委員会 委員

平成22年11月～(平成25年3月) 土木学会 原子力土木委員会 地盤安定性評価部会 委員

平成22年11月～平成23年3月 岩の力学連合会 ISRM2011 コングレス 国内論文審査委員会 委員

平成23年6月～平成27年5月 地盤工学会関東支部 関東地域における地盤情報の社会的・工学的活用法の検討委員会 委員

平成23年6月～平成26年3月 土木学会 岩盤力学委員会 大深度地下構造物の耐震性評価に関する研究小委員会 委員

平成23年6月～平成28年3月 土木学会 岩盤タンクの健全性評価技術に関する調査検討小委員会 委員

平成23年6月～平成25年5月 岩の力学連合会 代議員

平成23年6月～平成26年5月 岩の力学連合会 国際技術委員会 委員

平成23年6月～平成25年5月 岩の力学連合会 第13回岩の力学国内シンポジウム実行委員会 幹事長

平成23年6月～平成25年5月 岩の力学連合会 第13回岩の力学国内シンポジウム幹事会 幹事長

平成23年6月～ 不連続性岩盤解析実用化研究会 長大斜面安定・対策検討委員会(第II期) 委員長

平成23年6月～平成24年9月 全国地質業協会連合会 「JIS A 0206 工学地質図改正案作成委員会」委員

平成23年6月～ 日本応用地質学会 地下水研究部会 委員

平成23年9月～平成24年3月 日本応用地質学会 功労賞選考特別委員会 委員

平成23年9月～平成24年3月 日本応用地質学会 論文賞選考特別委員会 委員

平成23年9月～平成24年5月 岩の力学連合会 連合会賞選考委員会 委員

平成24年4月～平成28年3月 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 関東地区部会長

平成24年6月～令和2年6月 日本応用地質学会 研究企画委員会 委員長

平成24年9月～平成25年5月 岩の力学連合会 選挙管理委員会 委員

平成25年6月～平成27年3月 エンジニアリング振興協会 CO2地中中和処理の研究委員会 委員長

平成25年10月～平成26年5月 岩の力学連合会 連合会賞選考委員会 委員

平成25年10月～平成26年3月 経済産業省 関東東北産業保安監督部 武甲山の石灰石採掘に関する有識者検討会 メンバー

平成25年10月～平成29年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分基盤研究開発調整会議 外部有識者委員会 分野別委員会（地質環境）委員

平成25年10月～平成29年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 地層処分基盤研究開発調整会議 外部有識者委員会 分野別委員会（工学技術）委員

平成25年10月～平成28年12月 経済産業省 総合資源エネルギー調査会 臨時委員（電力・ガス事業分科会 原子力小委員会地層処分WG）

平成25年12月～平成27年3月 経済産業省委託事業 日本原子力研究開発機構 使用済燃料直接処分技術開発委員会 委員

平成25年12月～平成27年7月 日本学術振興会 科学研究費委員会 専門委員

平成26年6月～平成31年5月 岩の力学連合会 理事

平成27年4月～平成30年3月 経済産業省委託事業 日本原子力研究開発機構 直接処分等代替処分技術開発委員会 委員

平成27年6月～平成29年3月 産業技術総合研究所 「自然事象等の長期予測に関する予察的調査」事業に関する検討委員会 委員

平成27年6月～令和4年4月 公益財団法人 深田地質研究所 理事

平成27年6月～平成29年6月 岩の力学連合会 幹事長

平成28年1月～令和3年12月 茨城県 地下水利用審査会 委員

平成28年6月～令和3年6月 地盤工学会 地盤調査規格・基準委員会 委員

平成28年6月～平成29年5月 東京大学地震研究所と京都大学防災研究所が連携して設置する「拠点間連携共同研究委員」 委員

平成28年7月～平成30年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 処分システム工学確証技術検討委員会 委員

平成28年7月～平成30年6月 土木学会 総務部門 論文賞選考委員会 委員

平成28年9月～平成29年3月 埼玉県 土砂災害警戒情報等見直し検討委員会 委員

平成28年11月～平成30年3月 一般社団法人 トンネル技術協会 北鎌倉隧道安全対策検討委員会委員

平成28年11月～平成30年3月 東北 ILC 準備室 地下施設専門部会 部員

平成28年12月～令和4年12月 経済産業省関東東北産業保安監督部関東東北地方鉱山保安協議会 委員

平成29年1月～令和4年3月 全国地質調査業協会連合会 地質調査技士資格試験制度 検定委員会 委員

平成29年4月～令和3年3月 埼玉県 地盤沈下対策調査専門委員会 委員

平成29年7月～平成30年3月 産業技術総合研究所「自然事象等の評価手法に関する調査」事業に関する検討委員会 委員

平成29年7月～平成30年3月 日本原子力研究開発機構 安全研究委員会 専門委員

平成29年11月～平成30年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 調整会議に係る外部有識者会議 委員

平成29年12月～平成31年3月 原子力発電環境整備機構委託事業「建設・操業に伴う湧水影響評価技術の開発」有識者レビュー

平成30年6月～平成31年3月 日本原子力研究開発機構 安全研究委員会 専門委員

平成30年6月～平成31年3月 産業技術総合研究所「自然事象等の評価手法に関する調査」事業に関する検討委員会 委員

平成30年7月～平成31年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 選考委員会委員

平成30年12月～平成31年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター 評価委員会 委員

平成31年4月～令和3年3月 鉄道総合技術研究所 研究開発レビュー リサーチアドバイザー

令和元年6月～令和2年3月 日本原子力研究開発機構 安全研究委員会 専門委員

令和元年7月～令和2年3月 産業技術総合研究所「廃棄物埋設における自然事象等を考慮した地盤の性能評価に関する研究事業に関する検討委員会」委員

令和元年7月～令和2年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター評価委員会 委員

令和2年6月～ 日本応用地質学会 会長

令和2年6月～令和3年3月 日本原子力研究開発機構 安全研究委員会 専門委員

令和2年7月～令和3年3月 産業技術総合研究所「自然事象等の評価に関する研究事業に関する検討委員会」委員

令和2年7月～令和3年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター評価委員会 委員

令和2年7月～令和3年3月 経済産業省委託事業 原子力環境整備促進・資金管理センター選考委員会 委員

---

## 内村 太郎

国際圧入学会 理事

国際ジオシンセティックス学会日本支部 幹事・行事委員長・論文集編集委員長

---

## 八木澤 順治

さいたま市 花とみどりのまちづくり審議会 委員 (2012.11 - 2017.11)

土木学会 2級土木技術者資格試験 試験委員 (水工分野) (2013.4 - 2015.3)

土木学会 水工学委員会水害対策小委員会 災害調査員 (2013 - 現在)

埼玉県見沼田圃土地利用審査会 委員 (2015.9 - 現在)

土木学会関東支部学術部会 幹事 (2016.4 - 現在)

国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所総合評価分科会 委員 (2017.4-現在)

岩手県浪板海岸砂浜再生検討業務委員会 委員 (2017.4-現在)

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所総合評価審査分科会 委員(2018.4-現在)

国土交通省関東地方整備局 二瀬ダム管理所総合評価審査分科会 委員(2018.4-現在)

国土交通省関東地方整備局 荒川調節池工事事務所総合評価審査分科会 委員(2019.4-現在)

独立行政法人水資源機構 関東ブロック技術研究発表会 審査委員(2019.4-現在)

さいたま市公共事業評価審議会 委員 (2019.4-現在)

---

## 文理融合部門

### 久保田 尚

公益社団法人 日本都市計画学会 会長(平成30年～令和元年)

公益財団法人 都市計画協会 理事

公益財団法人 国際交通安全学会 理事

一般社団法人 交通工学研究会 理事

一般財団法人 自転車駐車場整備センター 理事

一般社団法人 日本自動車連盟 理事(非常勤)

公益財団法人 東京都道路整備保全公社 評議員

公益財団法人 交通事故総合分析センター 「事業用自動車事故調査委員会」委員

独立行政法人 都市再生機構 UR まちづくり支援専門家  
独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員  
一般社団法人 日本自動車連盟 交通安全・環境委員会委員

内閣府 中央交通安全対策会議専門委員  
文部科学省 大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）専門委員  
国土交通省 社会資本整備審議会臨時委員  
国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所総合評価審査分科会委員  
国土交通省関東地方整備局 埼玉県道路交通環境安全推進アドバイザー会議委員  
国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所総合評価審査分科会委員  
国土交通省関東地方整備局 関東道路メンテナンスセンター総合評価審査分科会委員  
国土交通省国土技術政策総合研究所 「国土技術政策総合研究所入札監視委員会及び国土技術政策総合研究所委託業務・工事成績評定審査委員会」委員  
国土交通省国土技術政策総合研究所 「国土技術政策総合研究所コンプライアンス・アドバイザー委員会」委員

さいたま市 さいたま市総合振興計画審議会委員  
さいたま市 さいたま市都市交通戦略推進委員会委員長  
さいたま市 外部評価委員会委員長  
さいたま市 さいたま市公共事業評価審議会委員長  
さいたま市 さいたま市都市計画審議会会長  
さいたま市 「大宮グランドセントラルステーション推進会議」副委員長

所沢市 所沢市都市計画審議会会長  
越谷市 越谷市地域公共交通協議会委員  
上里町 上里町スマート IC 地区協議会委員  
川島町 川島町地域公共交通協議会会長  
上尾市 上尾市地域公共交通活性化協議会委員  
川越市 川越市交通政策審議会会長  
熊谷市 熊谷市都市計画審議会委員  
寄居町 寄居町スマート IC 地区協議会委員  
寄居町 寄居町地域公共交通活性化協議会委員  
越谷市 越谷市都市計画審議会専門委員  
戸田市 戸田市都市計画審議会会長  
戸田市 戸田市移動等円滑化促進方針策定協議会委員長  
春日部市 春日部市中心市街地まちづくり審議会会長  
春日部市 春日部市地域公共交通活性化協議会委員長  
朝霞市 朝霞市内地域公共交通協議会委員長

東京都 東京都都市計画審議会委員  
東京都都市整備局  
「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針」の策定に向けた専門アドバイザー委員会委員

東京都北区 北区都市計画審議会会長  
東京都北区 北区地域公共交通協議会委員長

鎌倉市 鎌倉市交通計画検討委員会副委員長  
鎌倉市 「鎌倉市交通計画検討委員会」学識経験者委員  
国分寺市 国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会委員  
浜松市 浜松 21 世紀都市交通協議会会長  
館林市 館林市都市計画基本方針等検討委員会 委員長  
一般財団法人 運輸総合研究所 「都市高速鉄道東京 8 号線整備検討調査委員会」委員

---

## 飯島 聰

---

### (1) 埼玉大学関連活動

主として以下の案件にメンバー・調整仲介担当として関わる。

#### ① JICA 国別研修案件 (初等教育強化)

教育学部、国際本部が担当。埼玉県、さいたま市各教育委員会と連携して実施

- ・ハイチ 実施時期：2012～2014 年度
- ・ブルキナファソ 実施時期：2015～2016 年度
- ・モンゴル 実施時期：2016～2018 年度 (実施中)

#### ② JICA 草の根技術協力案件 (工学系高等教育支援)

・埼玉セブものづくり人材育成事業

埼玉県が提案団体。東洋大、埼玉大、芝浦大、ものづくり大が支援大学として実施に関わる。埼玉大は、理工学研究科、経済学部と国際本部が担当

#### ③ JICA 有償資金協力

・マレーシア日本国際工科院事業 (MJIT)

マレーシア工科大学 (クアラルンプール) に開設した MJIT への教員派遣、研究生・インターン生受入れ等を行っている。埼玉大は支援大学の 1 つとして、理工学研究科 (機械工学系) が担当

#### ④ JICA 留学生招聘プログラム

JICA の実施する各種留学生招聘プログラムに受入れ大学として応募。以下の実績をあげている。

- ・人材育成奨学計画 (JDS)：理工学研究科 (建設工学系) はミャンマー、人文社会科学部 (経済学系) はモンゴルの公務員を留学生として受入れ中
- ・アフガニスタン未来への架け橋・中核人材育成プロジェクト (PEACE)：理工学研究科 (建設工学系) で留学生を受入れ (実績は 3 名)。
- ・アフリカの若者のための産業人材育成イニシアチブ (ABE イニシアチブ)：理工学研究科 (建設工学系等) で留学生を受入れ (実績はナイジェリア、タンザニア、ウガンダ、ギニアビサウ、セネガル各 1 名)

### (2) 高校の Super Global High School 活動等支援

- ・埼玉県立不動岡高校、埼玉県立浦和第 1 女子高校、私立順天学園高校 (東京)

### (3) JICA 外部有識者委員

- ・SDGs ビジネス調査 (座長)
- ・草の根技術協力事業地域活性化枠 (委員)

### (4) 学会活動

・国際開発学会：

大会組織委員会幹事として主催大学大会実行委員会 (春季大会及び全国大会) の準備、実施を支援。また座長・コメンテーター役を担当。(2014 年春季大会 (同志社大学)、全国大会 (千葉大学)。2015 年春季大会 (法政大学)、全国大会 (新潟大学)。2016 年春季大会 (立命館大学)、全国大会 (広島大学)。2017 年春季大会 (関西学院大学)、全国大会 (東洋大学))。

2014 年全国大会では、上記 2. ②スリランカ SATREPS の中間研究成果の発表のため、企画セッションも開催 (「開発途上国の廃棄物問題と国際環境協力：制度はどのように変わるのか?」)

### (5) JICA イベントへの協力

- ・海外青年協力隊アフリカ写真展 (於さいたま新都心会場) (2016 年 8 月 19～29 日)：JICA 埼玉デスク・埼玉大学が共催。写真展の埼玉大学分展示、来場者への解説を担当

## 松本 正生

---

毎日新聞社「毎日ポータルマッチ」監修委員(2007～)

埼玉県・彩の国 NPO-大学ネットワーク会長(2008～2010)

さいたま市・議会のあり方に関する調査会会長(2010～2012)

総務省・常時啓発事業のあり方等研究会委員(2011～2012)

内閣府国家戦略室・国民的議論に関する検証会合構成員(2012)

警察庁：住民の意識調査に関する有識者研究会 座長(2014～2016)

(公財) 明るい選挙推進協会 理事(2014～)

さいたま市明るい選挙推進協議会 会長(2014～)

(公財) 日本世論調査協会 評議員(2016～)

総務省：主権者教育の推進に関する有識者研究会 委員(2016～)

総務省・主権者教育の推進に関する有識者会議委員(2016～2017)

総務省：主権者教育アドバイザー(2017～)

ゲーム障害に関する調査研究会委員

日本世論調査会顧問

---

## 内田 奈芳美

---

2018-現在 埼玉県国土利用計画審議会 委員

2018-現在 埼玉県まち・ひと・しごと創生有識者会議 委員

2019-現在 さいたま市総合振興計画審議会 委員

2019-現在 さいたま市外部評価委員会 委員

2019 東京都『Society5.0』社会実装モデルのあり方検討会 委員

2019-現在 東京都杉並区 まちづくり景観審議会 委員

2020 埼玉県埼玉版スーパー・シティプロジェクト有識者会議 委員

2014-現在 日本都市計画学会 編集委員会委員

2018-2019 日本建築学会 卒業論文審査委員会

---

## 2-4 受賞歴

### インフラ強靱化部門

#### 奥井 義昭

---

2020年 Top Downloaded Paper 2018-2019, Steel Construction, Wiley

2018年 Kurita-Albrecht Best Scientific Paper Award

2011年 土木学会田中賞：論文部門，平成23年5月27日受賞

2011年 土木学会論文賞，平成23年5月27日受賞

2010年 土木学会田中賞：論文部門，平成22年5月28日受賞

2007年 土木学会田中賞：論文部門，平成19年5月25日受賞

---

#### 桑野 二郎

---

2004年 国際ジオシンセティックス学会日本支部技術賞

「改良土とジオグリッドを組み合わせた補強土壁の現場適用」

伊藤秀行，倉知洋行，齊藤知哉，桑野二郎，井澤淳 (2004) "改良土とジオグリッドを組み合わせた補強土壁の現場適用," ジオシンセティックス技術情報, Vol.20, No.1, pp.10-17.

2009年 国際ジオシンセティックス学会日本支部論文賞

「壁面変位を用いた補強土擁壁の地震時損傷度評価」

井澤淳，桑野二郎 (2007) “壁面変位を用いた補強土擁壁の地震時損傷度評価”，ジオシンセティックス論文集, Vol.22, pp.207-212.

2009年 地盤工学会技術開発賞 (20100319 理事会決定、20100527 表彰式)

「地盤補強型基礎工法の開発及びその合理的設計法の確立」

田邊成(東電)、上野誠(新日本設計)、佐藤博(東電)、井澤淳(東工大)、桑野二郎(埼玉大)、中井照夫(名工大)、松尾稔(名古屋都市センター)、大日本土木(株)

2012年 地盤工学会論文賞 (20130315 理事会決定 20130613 表彰式)、

「Evaluation of extent of damage in geogrid reinforced soil walls subjected to earthquakes」

井澤淳(鉄道総合技術研究所)、桑野二郎(埼玉大学)

Izawa, J. and Kuwano, J. "Evaluation of extent of damage in geogrid reinforced soil walls subjected to earthquakes", Soils and Foundations, Vol.51, No.5, pp.929-943, 2011.

2013年 地盤工学会功労章 (20140314 理事会決定 20140421 関東支部総会にて表彰)

2014年 Best Paper for 2014, Geosynthetics International (Official Journal of International Geosynthetics Society) Kuwano,

J., Miyata, Y. and Koseki, J. (2014) “Performance of reinforced soil walls during the 2011 Tohoku Earthquake,”

Geosynthetics International, Vol.21, No.3, pp.179-196, June 2014.

---

#### 松本 泰尚

---

2003年 平成14年度土木学会論文奨励賞

---

## 牧 剛史

土木学会 論文奨励賞「鉄筋コンクリート杭-地盤系の非線形応答性状と3次元有限要素解析(総合題目), 2003年度

高速道路調査会 道路と交通論文賞(技術部門)「耐震補強された高速道路橋梁の耐震安全性に関する研究」(Dr. Chotesuwan, A.と共同受賞), 2010年度

田頭颯樹(牧 剛史指導学生), 土木学会第71回年次学術講演会優秀講演者表彰, 2016.9

Abeygunawardana, N. T. (牧 剛史指導学生), 土木学会第75回年次学術講演会優秀講演者表彰, 2020.9

## 防災・環境部門

### 田中 規夫

2002年度

1)Das S.C. (田中規夫指導学生), 第4回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2002.

2004年度

1)城野祐介(田中規夫指導学生), 埼玉大学大学院環境社会基盤国際コース・修士論文優秀発表賞, 2005.3

2005年度

1)田中規夫・浅枝隆, 平成16年度土木学会論文賞, 2005.

2)Thidar Aye (田中規夫指導学生), 第7回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2005.6

2006年度

1)Nandasena N.A.K. (田中規夫指導学生), 第8回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2006.6.7

2007年度

1)Sasikala S. (田中規夫指導学生), 第9回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2007.6.7

2)Nandasena N.A.K. (田中規夫指導学生), 第9回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2007.6.7

3)青野雅士(田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2008.3

2009年度

1)Samarakoon M.B. (田中規夫指導学生), 第11回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2009.9.11

2)Weragoda S.K. (田中規夫指導学生), 第11回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2009.9.11

2010年度

1)Thuy, N.B. (田中規夫指導学生), 第12回土木学会サマーシンポジウム優秀発表賞, 2010.9.8

2011年度

1)田中規夫, 平成22年度河川整備基金助成・優秀成果賞, 2011.10

2)安田智史(田中規夫指導学生), 埼玉大学大学院環境社会基盤国際コース・修士論文優秀発表賞, 2012.3.23

3)鈴木一貫(田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2012.3.23

2012年度

1)田中規夫, 平成23年度河川整備基金助成事業 優秀成果賞, 2012.10.25

2)田中規夫, 河川環境管理財団 河川環境総合研究所長賞, 2012.10.25

2013年度

1)田中規夫, 平成24年度河川整備基金助成事業 優秀成果賞, 2013.11.6

2)坂田良介(田中規夫指導学生), 第68回土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰, 2013.9.4

- 3)大塚将平 (田中規夫指導学生), 埼玉大学大学院環境社会基盤国際コース・修士論文優秀発表賞, 2014.3.25
- 4)根本美咲 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2014.3.25
- 5)坂田良介 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2014.3.25

#### 2014 年度

- 1)小内堯 (田中規夫指導学生), 第 69 回土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰, 2014.9.12
- 2)五十嵐善哉 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2015.3.25

#### 2016 年度

- 1)五十嵐善哉 (田中規夫指導学生), 第 71 回土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰, 2016.9.9
- 2)五十嵐善哉 (田中規夫指導学生), 第 44 回関東支部技術研究発表会・優秀発表賞, 2017.3.8
- 3)宮原海 (田中規夫指導学生), 第 44 回関東支部技術研究発表会・優秀発表賞, 2017.3.8
- 4)五十嵐善哉 (田中規夫指導学生), 埼玉大学大学院環境社会基盤国際コース・修士論文優秀発表賞, 2017.3.24
- 5)長谷見優 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2017.3.24
- 6)田中規夫, 埼玉県東松山警察署長から感謝状, 2016.9.28

#### 2017 年度

- 1)田中規夫, 公益財団法人 河川財団・河川基金助成 優秀成果賞, 粗粒化河床構造の変化と水生生物の動態を考慮した適切な土砂還元量の研究, 2017.7.27
- 2)伏見健吾 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2018.3.25

#### 2018 年度

- 1)田中規夫, 公益財団法人 河川財団・河川基金助成 優秀成果賞, H 荒川中流部における洪水氾濫と避難特性の変遷にもとづく今後の減災対策の研究, 2018.
- 2)座波健人(田中規夫指導学生)、国際学術シンポジウム (第 12 回 International Symposium on Ecohydraulics) で、Best paper award of ISE2018 を受賞した。対象者は若手約 90 人のうち 6 人。日本人では 1 人。
- 3) 田中規夫, 五十嵐善哉, 国際学術シンポジウム (第 21 回 International Symposium of International Association for Hydro-environment Engineering and Research(IAHR), Asia Pacific Division(APD)で、Best paper award of ISE2018 を受賞した。対象者 228 件の論文中、開催国枠 (64 論文のうち 2 論文)を除いた 164 論文のうち 2 論文が受賞。
- 4) 小野寺祐乃 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2019.3.25

#### 2019 年度

- 1)海野瀬乃 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2020.3.25
- 2)高塚智之 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2020.3.25
- 3)伏見健吾 (田中規夫指導学生), 埼玉大学大学院環境社会基盤国際コース・修士論文優秀発表賞, 2020.3.25

#### 2020 年度

- 1)山内大輝 (田中規夫指導学生), 埼玉大学工学部建設工学科・卒業論文優秀発表賞, 2021.3.25

---

### 長田 昌彦

2004 年 6 月 岩の力学連合会技術賞

2010 年 6 月 日本応用地質学会論文賞

2014 年 10 月 2014 ISRM the Franklin lecture

---

### 内村 太郎

1998 年 12 月 論文賞 国際ジオシンセティックス学会日本支部

2000 年 10 月 Young IGS Member Award 国際ジオシンセティックス学会

2004年 5月 国際会議若手優秀論文賞 地盤工学会

2005年 12月 論文賞 国際ジオシンセティックス学会日本支部

2007年 2月 The 1st Research Grant Awards, International Press-in Association

2007年 5月 研究奨励賞 地盤工学会

2008年 4月 平成20年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 文部科学省

2010年 10月 The 3rd Research Grant Awards, International Press-in Association

2014年 12月 SI2014 優秀講演賞 計測自動制御学会システムインテグレーション部門

2015年 6月 技術開発賞 地盤工学会

2015年 6月 田中賞（論文部門） 土木学会

2015年 12月 研究奨励賞 計測自動制御学会システムインテグレーション部門

---

## 文理融合部門

### 久保田 尚

公益財団法人 国際交通安全学会 第41回褒賞論文部門 2019年  
Nguyen Duc-Nghiem., Nguyen Hoang-Tung., Aya Kojima., Hisashi Kubota.,  
Modeling cyclists' facility choice and its application in bike lane usage forecasting

---

### 内田 奈芳美

森本拓見（内田ゼミ）「非集住地域における多文化共生の未来—埼玉県秩父地域の外国人住民の実態調査から—」経済学部・優秀論文賞 2021.3

---

## 2-5 学生指導実績

### インフラ強靱化部門

#### 奥井 義昭

Li Xi, 博士前期課程, Load rating of truss bridges and proposal of a system redundancy factor, 2021.3

佐々木 系介, 博士前期課程, 孔あき鋼板ジベルを使用した道路橋伸縮装置の設計法と耐荷力の検討, 2021.3

Mohammad Saiful Islam, 博士前期課程, Probabilistic distribution of buckling strength of wide stiffened steel plates considering large flexural rigidity of stiffener, 2020.3

木村正志, 博士前期課程, 既設橋性能評価のための実交通を考慮した活荷重係数に関する検討, 2020.3

傅田 諒, 博士前期課程, Load rating 導入のための非線形有限要素解析を用いた単純合成桁のリダンダンシーとシステム係数の検討, 2020.3

#### 桑野 二郎

小暮峻矢, 環境社会基盤国際コース, ジオグリッドによる舗装構造の高度化, 修士 (工学), 2019年3月

鈴木彩菜, 環境社会基盤国際コース, 粒度分布が砂質地盤の内部侵食に及ぼす影響に関する実験的研究, 修士 (工学), 2019年3月

Yahya Ndoye, 環境社会基盤国際コース, Screw and Straight Driven Pile Installation Effect on Bearing Resistance in Dense Sand, 修士 (工学), 2019年9月

Ahmad Waheed Sahil, 環境社会基盤国際コース, Laboratory Evaluation of Geogrid Confinement to Improve Road Pavement Structure, 修士 (工学), 2019年9月

Ibrar Ahmed, 環境社会基盤国際コース, Effect of suction and degree of compaction on the strength and deformation characteristics of unsaturated soil, 修士 (工学), 2020年3月

#### 松本 泰尚

##### 【博士後期】

林健太郎, 戸建て住宅及び小規模な集合住宅の水平振動に関する居住性能に対する心理的反応に基づく評価方法, 博士 (工学), 2020.3.

##### 【博士前期】

Lai Lai Hlaing, A numerical investigation of effects of cable damages on the vibration characteristics of an existing suspension bridge, 2020.9

千葉泰河, 質量体を用いた地盤環境振動制御工法に関する研究 ― 模型実験と実物大実験および数値解析による有効性の検討 ―, 2020.3.

Surendra Ghimire, An investigation of vibration characteristics of RC deck slabs in existing bridges with different condition ratings by visual inspection, 2020.3

Sharma Sachin Rijal, Analytical investigation on differences in the dynamic response of twin I-girder bridges considering bridge-vehicle interaction, 2019.9.

## 牧 剛史

---

### 【博士後期課程】

Dagbavazar Gombosuren

理工学専攻環境科学・社会基盤コース

Prediction of joint deformation of reinforced concrete interior beam column joints

2021.3

Haque Mohammad Najmol

理工学専攻環境科学・社会基盤コース

Long-term deformation behavior of hybrid girder with headed stud shear connections under sustained loading

2020.9

Basit Sarfaraz

理工学専攻環境科学・社会基盤コース（論文提出）

Development of a precast concrete barrier for bridge deck

2020.9

白岩 誠史

理工学専攻環境科学・社会基盤コース（論文提出）

トンネル坑口部覆工コンクリートの耐久性向上を目指した施工技術の開発

2018.3

### 【博士前期課程】

泉地 綾太朗

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

劣化した PC 橋の安全性評価に関する研究

2021(R3).3

Upul Kumarage Chamara Sandaruwan

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

Time-dependent deformation behavior of headed stud joint connection in steel-concrete hybrid girder under sustained loading

2021.3

中尾 達志

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

高速道路における更新用プレキャスト壁高欄の開発

2020.3

中村 龍

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

柱梁接合部の変形性能と鉄筋の付着性状に関する研究

2020.3

保科 佑太

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

劣化した PC 橋梁の安全性評価に関する研究

2020.3

山浦 響介

環境システム工学系専攻環境社会基盤国際コース

劣化した道路橋 RC 床版の耐荷力評価

2020.3

---

**防災・環境部門**

**田中 規夫**

Rowan st Gregory Sachika De Costa : Application of coastal trees as a tsunami mitigation strategy considering its possibility to be tsunami induced large driftwood (津波生成流木になる可能性を考慮した上での海岸林の津波減災対策への適用に関する研究), 2020.9.

Talpe Liyanage Chanaka Vinodh : Experimental study of solitary wave runup reduction by a coastal lagoon, coral reef and forest (潟湖、サンゴ礁、海岸林による孤立波の遡上高減少量に関する実験的研究), 2021.3.

Hemat Sherzai Javedullah : Effects of the roughness of embankment's slope and the application of geo-grid or moat on scouring phenomena downstream of embankment (堤防法面の粗度と堤防背後のジオグリッドや堀が洗掘現象に与える影響), 2020.9.

Wickramasinghe Arachchige Prabhath Romitha Wickramasinghe : Effect of the Position and Angle of a Riparian Vegetation Patch on Flow Hydrodynamics along the Embankment (河道内樹林帯パッチの位置と角度が堤防沿いの流れ特性に与える影響), 2021.3.

小野寺 祐乃 : 荒川全流域における潜在的氾濫リスク箇所の雨域特性と気候変動影響による相違, 2021.3.

志賀 なつみ : 海岸堤防法尻背後の津波による越流侵食モデルの検証, 2021.3.

Rashedunnabi A. H. M. : Experimental study on energy reduction of a tsunami current through a hybrid defense system comprising a sea embankment followed by a coastal forest (海岸堤防と海岸林から構成されるハイブリッド防御システムによる津波のエネルギー減衰に関する研究), 2019.9.

五十嵐 善哉 : レベル2津波に対する多重防御構造物の減災機構の解明と定量的評価, 2020.3.

M.Reza Mohammadi : Study on flood hydrograph at extreme large flood where inundation occurs using GIS and a storage function method, 2019.9.

小倉 睦 : 構成材料と堤内地側の条件に応じた堤防越流侵食プロセスに関する研究, 2020.3.

梶谷 勇人 : 江戸時代における荒川流域の氾濫特性と流域治水に関する研究, 2020.3.

君和田 祐弥 : 人工構造物と海岸林によるハイブリッド構造物の津波減勢効果に津波周期が与える影響, 2020.3.

渋谷 翔平 : 相対水深が小さい流れ場における大規模粗度群の平面配置特性が底面せん断力へ与える影響, 2020.3.

末永 博 : 河道内樹木の鉛直構造と洪水時の浮遊物トラップによる抵抗特性の変化, 2020.3.

伏見 健吾 : 破堤シナリオの相違による潜在的な氾濫リスク箇所の解明と避難解析による洪水被害の最小化の検討, 2020.3.

ニジャト ラフマン : 堤防と水平二層林からなる津波減災構造物周辺の洗掘現象に関する実験的検討, 2020.3.

---

## 齊藤 正人

### 【博士】

Shrestha Naba Raj, 論文博士 (博士 (学術)), Dynamic behavior of pile foundations with frequency-dependency and intensity-dependency, 令和 3 年 3 月(見込み)

實地雄大, 論文博士 (博士 (工学)), 地震時における杭基礎ラーメン高架橋の非線形および構造全体系を考慮した入力損失効果と耐震設計への実装に関する研究, 令和 2 年 9 月

Nepal Sandhya, 論文博士 (博士 (学術)), Base isolation system with negative stiffness for displacement mitigation under long-period and near-fault ground motions, 令和 2 年 3 月

### 【修士】

水川裕貴, 博士前期課程, 地震直後の危険な建物を空撮動画から早期検出する手法の研究, 令和 3 年 3 月 (見込み)

Saha Alok Kumer, 博士前期課程, Rate-dependent and frequency-dependent characteristics of laterally loaded piles, 令和 2 年 3 月

---

## 長田 昌彦

### 【修士】

Masalig Omandam Raquel

Assessment of Rainfall Intensity corresponding to Turbidity Threshold indicating Slope Failure

2019 年 3 月修士 (工学)

岡田 健二郎

吉見百穴の素掘りトンネルの維持管理に資するデータ取得とその解析, 2020 年 3 月修士 (工学)

五嶋 壮太

岩盤内での間隙空気圧と温度計測による浸透特性と伝熱特性の評価に関する研究, 2021 年 3 月修士 (工学)

---

## 八木澤 順治

Liaqat Ali, 博士前期課程, Experimental study on different scour patterns after levee overtopping under different flow conditions, 2018.3.

小野翔太郎, 博士前期課程, 岩手県浪板海岸における砂浜の回復・維持に適した養浜条件の検討, 2018.3.

杉本聡, 博士前期課程, 堤体内部の浸潤状態が越流時のヘッドカット発生位置および進行に及ぼす影響, 2020.3.

飯塚大和, 博士前期課程, 堤防天端の周期的な凹凸が裏法尻下流の落堀形成に与える影響, 2020.3.

Md Masum Billah, 博士前期課程, Headcut Migration in Earthen Embankment Induced by Varying Sub-surface and Seepage State During Overtopping Flow, 2021.3.

---

---

久保田 尚

【博士論文】

Mursheda Rahman, Speed Mechanism in Urban Residential Areas with the Presence of Speed Hump(生活道路に設置されたハンプにおける自動車の速度メカニズムに関する研究), 2020 年 9 月

Pornraht Pongprasert, A study on travel mode choices of station-area residents to encourage sustainable transit-oriented development (TOD) in Bangkok (バンコクにおける適正な TOD 促進を目的とした鉄道駅周辺地区住民の交通手段選択に関する研究)、2018 年 9 月

Nguyen Duc Nghiem, CYCLISTS' FACILITY CHOICE AND BICYCLE CONTROLLABILITY: THE NEWINSIGHTS INTO IMPROVING CYCLING COMFORT AND SAFETY(自転車利用者の走行位置選好と操作性：自転車の快適性と安全性改善のための新たなアプローチ)、2017 年 9 月

Asif Nawaz Qasi, Bus-based evacuation planning for short-notice disaster(直前の警告が可能な災害に対するバスによる避難計画に関する研究)、2016 年 9 月

市川嘉一、サステイナブル都市評価指標の自治体への貢献性に関する研究、2015 年 3 月

Nguyen Hoang Tung, Psychological Motivation of Traveler's Behavior Regarding the Use of Public Transportation (公共交通利用に関する旅行者行動の心理的動機付けに関する研究)、2014 年 9 月

DO DUY DINH, SPEEDING MECHANISM FOR TRAFFIC SAFETY INTERVENTIONS ON RESIDENTIAL STREETS (住宅地道路の交通安全対策のための車両速度構造分析)、2013 年 9 月

IMMA WIDYAWATI AGUSTIN, The Impact of The Development of New Settlement in Fringe Area to the Physical Change of Surrounding Area(都市フリンジにおける新規開発が周辺土地利用に及ぼす影響に関する分析)、2013 年 9 月

谷島賢、可視化と P D C A 3 年モデルを用いた乗合バス事業改善の実証的研究、2013 年 3 月

【修士論文】

KINTU JOEL MUNABANGOGO, Performance Evaluation of Bus-Priority lane in Shizuoka City, Japan、2018 年 9 月

THIRI SHUN LAE THU, Analyzing the probability accident severity to predict affective factors of vehiclecrashes: A Case Study of Yangon-Mandalay Expressway in Myanmar、2018 年 9 月

葛西悠里、我が国の都心部における交通静穏化空間導入可能性に関する研究、2017 年 3 月

---

内田 奈芳美

【修士論文】

蓑宮祐二「創造都市・金沢の工芸作家のつながりに関する研究」2021 年 3 月

---

加藤 哲平

若林航也、博士前期課程、Shared Taxi におけるマッチングの不確実性を考慮した需給均衡分析、2020. 3.

---

### 3. 対外活動報告

#### 3-1 市民のためのフォーラム

##### “彩の国”市民科学オープンフォーラムの開催

本研究センターでは、埼玉県在住の一般市民を対象として、フォーラムを実施している。このフォーラムは、防災などに関する知識や情報を広く市民の方に公開するための社会活動の一環として、国土交通省関東地方整備局、埼玉県、さいたま市、公益社団法人日本技術士会埼玉県支部、一般社団法人埼玉県建設コンサルタント技術研修協会、埼玉県地質調査業協会、公益社団法人日本都市計画学会のご後援をいただき、また、自然災害研究協議会関東地区部会並びに公益社団法人地盤工学会関東支部のご共催をいただいて年1回開催している。令和2年度においては、川越市、一般社団法人日本応用地質学会のご後援もいただいた。

【令和元年度】

日 時：令和元年 11月9日（土）13:30～16:30

会 場：ラフレさいたま 3階 櫻ホール

タイトル：『情報』で人の命を守る ～防災・減災対策の未来のかたち～

話題提供：◆『情報』で人の命を守る ～AIを活用した災害時のSNS情報分析～

慶應義塾大学環境情報学部 准教授

山口 真吾

◆最新の気象レーダ（MP-PAWR）等が生み出す気象リスク情報

国立研究開発法人防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター長

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター 客員教授

岩波 越

◆埼玉県土砂災害警戒情報システムのご紹介

埼玉県県土整備部河川砂防課 主査

樋口 佳意

参加人数：官公庁防災関係者、民間企業、一般市民、埼玉大学教職員および学生 計95名



日時 令和元年 11月9日 13:30～16:30 (開場13:00) 会場 ラフレさいたま 3階 櫻ホール 参加無料 定員200名

プログラム	進行	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター 准教授 八木澤順治	
	13:30～13:50	開会 センター長挨拶 学長挨拶	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター長 教授 田中 規夫 埼玉大学長 山口 宏樹
	13:50～14:05	話題提供に当たって	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター長 教授 田中 規夫
	14:05～16:15	話題提供・質疑応答	
	15:25～15:35	休憩	
		<p>【『情報』で人の命を守る ～AIを活用した災害時のSNS情報分析～】 慶應義塾大学環境情報学部 准教授 山口 真吾</p> <p>【最新の気象レーダ(MP-PAWR)等が生み出す気象リスク情報】 国立研究開発法人防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター長 岩波 越 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター 客員教授</p> <p>【埼玉県土砂災害警戒情報システムのご紹介】 埼玉県県土整備部河川砂防課 主査 樋口 佳意</p>	
16:15～16:25	全体を通しての質疑応答		
16:25～16:30	閉会の挨拶	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター 教授 長田 昌彦	

お問合せ・お申込み 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター事務局

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 Tel/Fax:048-858-9572

<http://iirs.saitama-u.ac.jp> ●参加ご希望の方は、事前にウェブサイト/  
E-mail: info-iirs@gr.saitama-u.ac.jp E-mail/FAXからお申込みください。

※G-CPD ポイント付与をご希望の方は地盤工学会 会員番号をお知らせください。  
※本行事は土木学会認定 CPDプログラムです。

主催：埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター  
共催：自然災害研究協議会関東地区部会／公益社団法人 地盤工学会関東支部  
後援：国土交通省関東地方整備局／埼玉県／さいたま市／公益社団法人日本技術士会埼玉県支部  
一般社団法人埼玉県建設コンサルタント技術研修協会／埼玉県地質調査業協会／公益社団法人 日本都市計画学会



フォーラム会場の様子



フォーラム会場の様子

## 情報で人の命を守る

埼玉大レジリエントC  
防災・減災フォーラム

埼玉大研究機構レジリエント社会研究センターは、さいたま市のラフレさいたまで、「『情報』で人の命を守る―防災・減災対策の未来のかたち―」をテーマに、「彩の国」市民科学オープンフォーラムを開いた。写真。

センター長の田中規夫教授は台風19号による被害を紹介した上で「いままでのように、川で海まで流しきることが難しくなった。ハード、ソフトの対策を組み合わせ、流域で治水する発想が必要となる。いかに情報を収集し、正しい情報を発信し、判断することが求められる」、埼玉大の山口宏樹学長は「情報、AI（人工知能）、人の命を守ることが融合した課題を皆さんとともに考えたい」とあいさつした。



続いて、慶應義塾大環境情報学部部の山口真吾准教授が「『情報』で人の命を守る―AIを活用した災害時のSNS情報分析」、同センター客員教授で防災科学技術研究所国家レジリエンス研究推進センター長の岩波越氏が「最新の気象レーダー（MP-PAR）などが生み出す気象リスク情報」、埼玉県国土整備部河川砂防課の樋口佳意主査が「埼玉県土砂災害警戒情報システムの紹介」について解説した。

【令和2年度】

日 時：令和2年12月5日（土）13:30～16:30

会 場：ウエスタ川越 多目的ホール

タイトル：令和元年東日本台風から1年：行政と住民、それぞれの危機管理の方向性

話題提供：◆関東地方整備局の取り組みについて

国土交通省 関東地方整備局 河川部長

西澤 賢太郎

◆浸水リスク情報の積極的な活用について

埼玉県 県土整備部 参事兼河川砂防課長

林 雄一郎

◆令和元年千曲川水害で顕在化した課題

信州大学 工学部 水環境・土木工学科 教授

土木学会令和元年台風19号豪雨災害調査団中部・北陸地区団長

吉谷 純一

◆水災害対策とまちづくりの連携

国土交通省 都市局市街地整備課長

菊池 雅彦

参加人数：官公庁防災関係者、民間企業、一般市民、埼玉大学教職員および学生

・会場参加：85名

・オンライン申込：138名



2020年度防災・日本再生シンポジウム

“彩の国”市民科学オープンフォーラム



日時  
令和2年

12月5日土

13:30~16:30  
(開場13:00)

会場 ウェスタ川越 多目的ホール  
参加無料 会場100名 オンライン300名

プログラム	13:30~13:40	開会 センター長挨拶	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター長 教授	田中 規夫	
	13:40~15:25	話題提供・質疑応答			
		「関東地方整備局の取り組みについて」	国土交通省 関東地方整備局 河川部長	西澤賢太郎	
		「浸水リスク情報の積極的な活用について」	埼玉県 県土整備部 参事兼河川砂防課長	林 雄一郎	
		14:20~14:25	休 憩		
		「令和元年千曲川水害で顕在化した課題」	信州大学 工学部 水環境・土木工学科 教授 土木学会令和元年台風19号豪雨災害調査団中部・北陸地区団長	吉谷 純一	
		「水災害対策とまちづくりの連携」	国土交通省 都市局市街地整備課長	菊池 雅彦	
		15:25~15:35	休 憩		
	15:35~16:25	パネル ディスカッション	パネリスト 川越市 危機管理監 川島町水防団 団長	話題提供者 市ノ川千明 小川 敏晴	司会 埼玉大学研究機構 レジリエント社会研究センター長 教授 田中 規夫
	16:25~16:30	閉会の挨拶	埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター 教授	長田 昌彦	

お問合せ・お申込み 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター事務局

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 Tel/Fax:048-858-9572

<http://iirs.saitama-u.ac.jp> E-mail: info-iirs@gr.saitama-u.ac.jp

●参加ご希望の方は、事前に  
ウェブサイト/E-mail/FAX  
からお申込みください。



※G-CPD ポイント付とご希望の方は地盤工学会会員番号をお知らせください。 ※本行事は土木学会認定CPDプログラムです。  
※土木学会以外のCPDに単位を登録する際、受講したことがプログラムとして認められるかどうかは、各団体のルールに従っていただきますようお願い申し上げます。

主催：埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター

共催：自然災害研究協議会関東地区部会／公益社団法人 地盤工学会関東支部／一般社団法人 国立大学協会

後援：国土交通省 関東地方整備局／埼玉県／川越市／公益社団法人 日本技術士会埼玉県支部／一般社団法人 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会

埼玉県地質調査業協会／公益社団法人 日本都市計画学／一般社団法人 日本応用地質学会

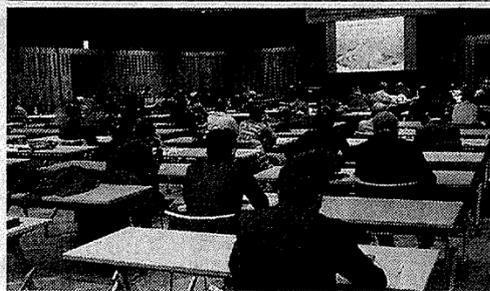
フォーラムチラシ



フォーラム会場の様子  
63



フォーラム会場の様子



レジュ  
トC  
大  
玉  
工  
埼  
リ

## 危機管理の方向性学ぶ

### 市民科学フォーラム

埼玉大研究機構レジュエン  
ト社会研究センター(田中規  
夫センター長・教授)は5日、  
埼玉県川越市のウェスタ川越  
で、「令和元年東日本台風か  
ら1年…行政と住民、それぞ

れの危機管理の方向性」をテ  
ーマに、2020年度防災・  
日本再生シンポジウム「彩  
の国」市民科学オープンフォ  
ーラム」を開いた。写真。

開会に先立ち、田中センタ  
ー長・教授は、19年の千曲川  
の水害でも、リスク情報を知  
っている人の方が早く避難行  
動を開始できたとした上で、  
「リスク情報を分かりやすく  
伝えることで、避難行動を早  
めることにもつながる。その  
あたりも含めて皆さんと討論  
したい」とあいさつした。  
フォーラムでは、関東地方  
整備局の西澤賢太郎河川部長  
が「関東地方整備局の取り組  
み」と題して、治水施設の効  
果、入間川流域緊急治水対策

プロジェクト、流域治水など、  
埼玉県土木整備部の林雄一郎  
参事兼河川砂防課長が「浸水  
リスク情報の積極的な活用」  
を演題に、洪水ハザードマッ  
プの改定・作成、地点別浸水  
シミュレーション検索システ  
ムなどを説明した。

信州大工学部水環境・土木  
工学科の吉谷純一教授(土木  
学会令和元年台風19号豪雨災  
害調査団中部・北陸地区団長)  
は、「令和元年千曲川水害で  
顕在化した課題」と題して講  
演した。住民からは堤防・護  
岸の強化を求める声が強いと  
しながらも、「それよりも遊  
水地を多くつくり、洪水時の  
水位をできるだけ下げること  
を考えるのが合理的だ。住民  
と専門家の考え方でギャップ  
があるのも課題だ」と話した。  
国土交通省の菊池雅彦都市  
局市街地整備課長は「水災害  
対策まちづくりの連携」と題  
した講演の中で、「まちづく  
りに活用するための、水災害  
の多段階のハザード情報が重  
要」と述べた。  
その後、田中センター長・  
教授が司会、川越市の市ノ川  
千明危機管理監、川島町水防  
団の小川敏晴団長がパネリス  
トを務め、パネルディスカッ  
ションした。

## 3-2 その他の対外活動

### 3-2-1 埼玉橋梁メンテナンス研究会

#### 概要

##### 1. 目的

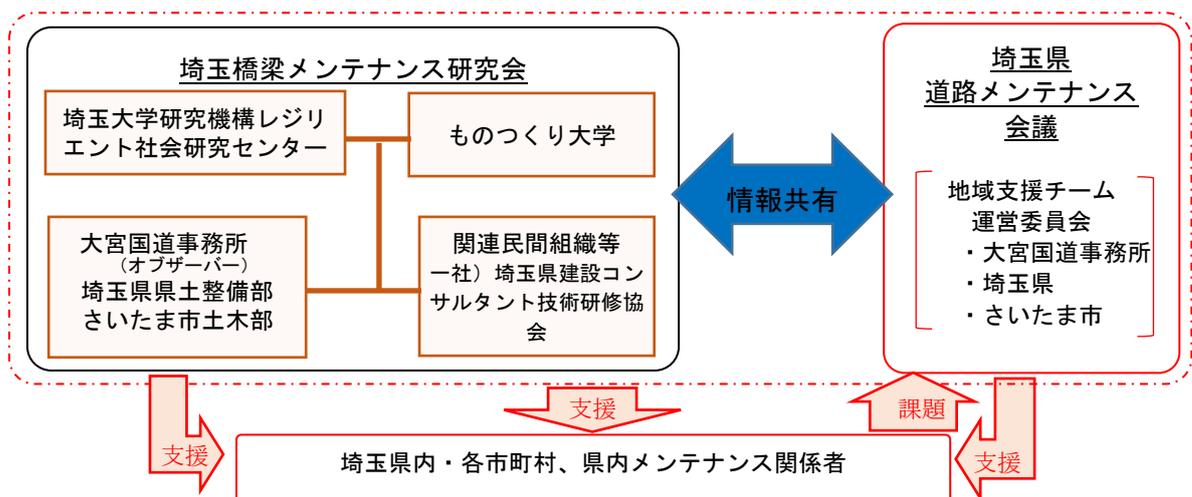
橋梁メンテナンス研究会は埼玉県内の基幹インフラ施設である道路橋の維持管理・補修の現状及び今後について広く意見を収集するとともに、その保全施策や保全技術に対して検討・研究を行うことにより、県内橋梁の維持管理の効率化に貢献していくことを目的としている。

##### 2. 活動方針

- 1) 埼玉大学レジリエント社会研究センターの活動の一環として、学・官・産の研究活動とする。
- 2) 事務局は埼玉県建設コンサルタント技術研修協会が行うものとする。

##### 3. 組織・構成

本研究会は、埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センターに設置し、大学教員、道路管理者、橋梁等設計・施工に携わる技術者などの参画を得て、幅広く意見を収集し、橋梁メンテナンスに関わる技術者の養成、効果的な技術使用のための各種検討・研究を行う。



研究会と道路メンテナンス会議は、情報共有、課題抽出、技術提案等で連携する。

- 埼玉大学研究機構 レジリエント社会研究センター 埼玉橋梁メンテナンス研究会
- ものづくり大学
- 国土交通省大宮国道事務所、埼玉県県土整備部、さいたま市土木部
- 一社) 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会(さいたま橋梁メンテナンス検討会)

**<令和2年度 埼玉橋梁メンテナンス研究会 構成員>**

所 属	氏 名	
埼玉大学研究機構 レジリエント社会研究センター	(代表) 睦好 宏史 客員教授 (W1)	
	奥井 義昭 教授 (W2)	
	松本 泰尚 教授 (W3)	
	牧 剛史 教授 (W1,2)	
埼玉大学大学院理工学研究科	浅本 晋吾 准教授(W3)	
	党 紀 准教授(W3)	
ものづくり大学	大垣 賀津雄教授 (W1,2)	
	澤本 武博 教授 (W1,2)	
大宮国道事務所 (オブザーバー)	田中 倫英 所長	
	田村 貴 総括保全対策官	
	小助川 裕樹 保全対策官	
埼玉県県土整備部	石川 潤 県土整備政策課政策担当主査 (W1)	
	宇高 薫 道路街路課橋梁担当主査 (W2)	
	茂木 貴司 道路環境課防災担当主査 (W3)	
さいたま市土木部道路環境課	横地一久 道路環境課補佐	
	杉本 寛樹 道路橋りょう係主査	
	高原 亮 道路橋りょう係技師※北部建設局	
一社) 埼玉県建設コンサルタント 技術研修協会 (さいたま橋梁メンテナンス検討会)	安田 陽一 会長 (W1)	伊藤 大輔 委員 (W1)
	前橋 剛 委員 (W3)	佐藤 裕之 委員 (W1)
	八幡 敏正 委員 (W1,2)	石原 正人委員 (W2)
	大堀 郁夫 委員 (W2)	鈴木 英明 委員 (W3)
	五十君 忠明委員 (W2)	小山 一裕 理事 (W1)
	成田 忠則 委員 (W3)	
顧問	岩崎 康夫 埼玉大学客員教授(元埼玉県副知事)	

■ (W1、W2、W3)所属ワーキング

ワーキンググループについて

(1) ワーキングⅠ 技術者養成

- 1)目的：県内の橋梁技術者を育成
- 2)対象：自治体橋梁点検・補修担当者及び県内の橋梁補修技術者

(2) ワーキングⅡ 補修・更新の考え方

- 1)目的：補修・更新の基本的な考え方資料（留意事項）の作成
- 2)対象：県内補修対象橋梁

(3) ワーキングⅢ 点検手法と成果

- 1)目的：新点検手法や成果様式を検討し、点検業務の信頼性や効率化の向上を図る
- 2)対象：県内点検対象橋梁

#### 4. 活動と経緯

(1) 埼玉県橋梁点検研修会を企画、講師派遣

主催：埼玉県

日時：平成30年(2018)9月5日(水)

場所：埼玉教育会館

(2) さいたま市加入

第5回研究会 平成30年(2018)11月13日

さいたま市建設部道路建設課横地一久課長補佐、畑崇憲主任が本研究会に加入

(3) 橋梁メンテナンス技術研修会【第1回】開催

日時：平成30年(2018)11月29日(木) 13:00~17:00

場所：全電通あけぼのビル 501号室

(4) 平成30年度 埼玉県道路メンテナンス会議 技術講習会(橋梁・補修補強工事)

主催：埼玉県道路メンテナンス会議 7名参加

平成31年(2019)1月29日 13:00~16:00

場所：さいたま市桜区役所 会議室(座学)

国道463号 羽根倉橋・上り線(現場視察研修)

(埼玉県さいたま市桜区下大久保地先~埼玉県志木市宗岡地先間)

(5) 橋梁メンテナンス技術研修会【第2回】開催

日時：令和元年(2019)6月11日(火)

場所：埼玉県庁第三庁舎4F講堂

(6) ふくしま ME 制度について講習

日本大学工学部岩城一郎教授の講演

令和元年(2019)6月5日、於埼玉大学、睦好代表他7名出席

(7) ふくしま ME 制度について調査

令和元年(2019)6月13日、福島県建設業協会鈴木武男専務理事、斎藤祐一参事、福島県土木部中村一彦主幹、当研究会から安田、小山参加

(8) ものづくり大学加入

令和元年度第2回研究会 令和元年(2019)8月1日

ものづくり大学 大垣賀津雄教授、澤本武博教授 及び、

さいたま市道路環境課 高原 亮技師が本研究会に加入

- (9) NEXCO 五明橋実習所、高崎テクニカル・トレーニングセンター見学  
令和元年(2019)11月22日、参加者：大宮国道事務所田中倫英所長、中山雄一保全対策官、埼玉県度整備事務所村山浩之主査、(一社)埼玉県建設コンサルタント技術研修協会安田陽一会長、佐藤裕之理事、小山一裕理事、八幡敏正委員
- (10) 橋梁メンテナンス技術研修会【第3回】開催  
日時：令和元年(2019)11月21日(火)  
場所：さいたま共済会館 602 会議室
- (11) 令和元年度 埼玉県道路メンテナンス会議・地域支援チームに参加  
橋梁の遠隔診断支援+新技術活用WGへ参加  
主催：埼玉県道路メンテナンス会議  
日時：令和2年(2020)2月6日 13:00~15:20  
場所：会場：大宮国道事務所
- (12) 埼玉橋梁メンテナンス研究会(令和2年度第1回全体会議)  
日時：令和2年(2020)9月15日(火) 15:00~17:00  
場所：全電通埼玉会館 あげぼのビル 501号会議室
- (13) 埼玉橋梁メンテナンス研究会(令和2年度第2回全体会議)  
日時：令和3年(2021)1月12日(火) 15:00~16:30  
場所：Zoomによるネット会議
- (14) 埼玉橋梁メンテナンス研究会活動報告書 2018~2020 公開  
日時：令和3年(2021)3月

# 資 料

1) 上田記念財団助成金

平成31年 4月18日

国立大学法人埼玉大学研究機構

レジリエント社会研究センター埼玉橋梁メンテナンス研究会

客員教授 陸好宏史 様

一般財団法人 上田記念財団  
理事長 岸本達也



第10期地球環境維持活動土木支援助成金支給決定通知書

貴団体の活動を上田記念財団第10期地球環境維持活動(土木)として採用し助成金を支給します。財団の目指す地球環境維持を土木工学の普及活動を通じて実施することに努めてください。

記

助成金名称	第10期地球環境維持活動土木支援助成金
地球環境助成番号	10Ge01-006
活動件名	橋梁メンテナンス技術研修会の開催、橋梁メンテナンス現場研修会の開催
支援する活動の期間	自平成31(2019)年4月 至令和2(2020)年3月
助成金の金額	3,000,000円

以下の書類を期限までに提出してください

「寄付金振込先通知書」または「助成金着手金請求書」

以上

寄付金とする場合、大学所定の寄付金申込書の書式をメールで送信してください。

各 位

**埼玉橋梁メンテナンス研究会**

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター  
国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所  
埼玉県県土整備部  
一般社団法人 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会

**橋梁メンテナンス技術研修会【第2回】の開催のご案内**  
**(土木学会CPDプログラム認定3.2単位(予定))**

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

埼玉橋梁メンテナンス研究会では、橋梁の点検、補修等の維持管理に携わる県内の自治体職員及び民間の技術者や橋梁の維持管理に興味がある学生を対象とし、段階的な育成を目的とした全3回の研修会を予定しております。第1回研修会については、2018年11月に終了しております。

つきまして、第2回研修会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

- 1 名 称 橋梁メンテナンス技術研修会【第2回】
- 2 共 催 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター  
埼玉県県土整備部  
一般社団法人 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会
- 協 力 埼玉県道路メンテナンス会議  
※本研修会は、共催者及び協力者で構成する「埼玉橋梁メンテナンス研究会」の事業として実施しております。
- 3 日 時 2019年6月11日(火) 13:10～
- 4 場 所 埼玉県庁第三庁舎4F講堂
- 5 受講料 無料
- 6 定 員 90名(先着順で定員になり次第締め切ります)
- 7 CPDポイント 土木学会CPDプログラム認定(3.2単位(予定))
- 8 対象者 自治体職員及び民間技術者については、橋梁に関する業務の経験者がある方  
学生については、橋梁について興味をお持ちの方

## 9 申し込み

埼玉橋梁メンテナンス研究会事務局（埼玉県建設コンサルタント技術研修協会）へ  
お申し込みください。（申込締切日 定員になり次第締切り）

◆埼玉県建設コンサルタント技術研修協会ホームページ講習会案内より申し込み

<https://www.saikonkyo.org/>

## 橋梁メンテナンス技術研修会【第2回】

### 【研修会プログラム】

2019年6月11日

講演時間には、質疑応答5～10分間を含む

時 間	講 演 題 目	講 師
13:15～13:20 (5分)	開会挨拶	橋梁メンテナンス研究会代表 睦好宏史
13:20～13:25 (5分)	主催者代表挨拶	埼玉県県土整備部
13:25～13:45 (20分)	「橋りょう補修の手引き」の解説	埼玉県県土整備部 道路環境課
13:45～14:25 (40分)	「定期点検要領の改訂」について	関東地方整備局 道路構造保全官
14:25～15:35 (60分)	PC橋梁の維持保守	一般社団法人プレストレスト ・コンクリート建設業協会 保全補修部会 高橋 寿介様
15:35～15:45 (10分)	休憩	
15:45～16:45 (60分)	鋼橋の維持保守	一般社団法人日本橋梁建設協会 保全委員会 保全第一部会 塚狭 研治様
16:45～16:50 (5分)	閉会挨拶	

### 【シリーズ研修会 開催予定】

開催 No.	内容 (予定)	予定日時
第1回 (終了)	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守 (1回目)	2018年11月29日
第2回 (今回)	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守 (2回目)	2019年6月11日
第3回	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守 (3回目)	2019年11月予定

【会場案内図】

会 場：埼玉県庁第三庁舎 4 F 講堂

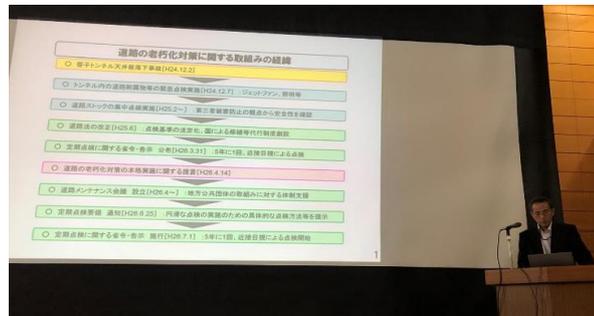
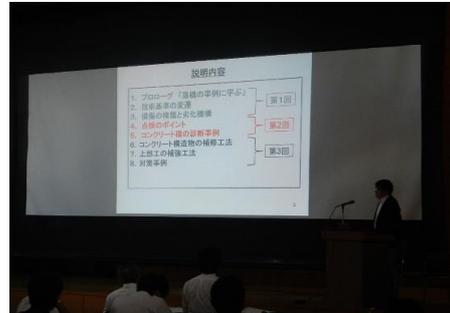
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

JR浦和駅（西口）から県庁通りを西へ約800メートル 徒歩約10分

※ご来場のさいは、公共交通機関をご利用下さい。



## 第2回橋梁メンテナンス技術研修会 2019.6.11.



# 効率的な維持補修を

## 橋梁メンテナンス研究会が研修



睦好代表

北田副部長

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター、県土整備部、県建設コンサルタント技術研修協会など、産学官で組織する「埼玉橋梁メンテナンス研究会」(睦好宏史代表)は21日、第3回シリーズの最終となる「橋梁メンテナンス技術研修会」をさいたま共済会館で開催。橋梁の点検や補修などに携わる官民約60人が維持管理の手法について学んだ。



橋梁の維持管理技術を学んだ

から「今回が実り多い研修会となることを期待しております」とあいさつ。研究会の主催者を代表して県土整備部の北田健夫副部長は、昨今の自然災害の被災状況について触れた後、「災害査定の際の準備につきましては皆さま方の協力に感謝しております。今回の災害でも道路の必要性は再認識されました。災害に強いインフラをつくるためスキルアップは重要。今後とも技術の研修をよろしくお願いします」と述べた。研究会では、まず県道路街路課橋りよう担当の宇高篤氏が「ライフサイクルコスト削減に資する橋りようの架換え事業」

と題して、橋梁を長寿命化させるための施策を解説。橋りよう保全計画、耐候性鋼材を無塗装仕様で用いた橋りようの活用、ワーキンググループの取組状況を説明した。続いて関東地方整備局の関東道路メンテナンスセンター統括構造物維持管理官である市川明広氏が、関東地方における道路メンテナンスの最近の話題を紹介。その後、プレストレスト・コンクリート建設業協会の保全補修部会から小野塚豊昭氏がPC橋梁の維持保守について講演。ものつくり大学技能工芸学部建設学科の大垣賀津雄教授が、鋼橋の補修・補強技術の最先端について内容を伝えた。

県内の道路橋は点検業務が一巡し、点検結果に基づいた橋梁の補修などが実施されている。より効果的なメンテナンスに向けた点検手法や評価判断方法、維持補修技術の開発、橋梁技術者の育成などが強く求められており、「埼玉橋梁メンテナンス研究会」が昨年設立された。この研究会は、県内の基幹インフラ施設である道路橋の維持管理(点検、診断、補修・補強)について広く意見を収集するとともに、その保全施策や保全技術に対して検討・研究を行うこと、および県内橋梁技術者を育成して、県内橋梁の保全の効率化に貢献している。

2019年10月吉日

各 位

**埼玉橋梁メンテナンス研究会**

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター  
国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所  
埼玉県県土整備部  
一般社団法人 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会

**橋梁メンテナンス技術研修会【第3回】の開催のご案内**  
**(土木学会CPDプログラム認定3.0単位)**

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

埼玉橋梁メンテナンス研究会では、橋梁の点検、補修等の維持管理に携わる県内の自治体職員及び民間の技術者や橋梁の維持管理に興味がある学生を対象とし、段階的な育成を目的とした全3回の研修会を予定しております。第2回研修会まで、2019年6月に終了しており、シリーズ研修としては、今回最後の研修会となります。

つきまして、第3回研修会を下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。

記

- 1 名 称 橋梁メンテナンス技術研修会【第3回】
- 2 共 催 埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター  
埼玉県県土整備部  
一般社団法人 埼玉県建設コンサルタント技術研修協会
- 協 力 埼玉県道路メンテナンス会議  
※本研修会は、共催者及び協力者で構成する「埼玉橋梁メンテナンス研究会」の事業として実施しております。
- 3 日 時 2019年11月21日（木）13：15～16：35
- 4 場 所 さいたま共済会館 602会議室  
さいたま市浦和区岸町7-5-14
- 5 受 講 料 無料
- 6 定 員 80名（先着順で定員になり次第締め切ります）
- 7 CPDポイント 土木学会CPDプログラム認定（3.0単位）
- 8 対 象 者 自治体職員及び民間技術者については、橋梁に関する業務経験のある方  
学生については、橋梁について興味をお持ちの方

## 9 申し込み

埼玉橋梁メンテナンス研究会事務局（埼玉県建設コンサルタント技術研修協会）へ  
お申し込みください。（申込締切日 定員になり次第締切り）

◆埼玉県建設コンサルタント技術研修協会ホームページ講習会案内より申し込み

<https://www.saikonkyo.org/>

## 橋梁メンテナンス技術研修会【第3回】

### 【研修会プログラム】

2019年11月21日

講演時間には、質疑応答5～10分間を含む

時 間	講 演 題 目	講 師
13：15～13：20	開会挨拶	橋梁メンテナンス研究会代表 睦好宏史
13：20～13：25	主催者代表挨拶	埼玉県県土整備部 副部長 北田 健夫
13：25～13：45（20分）	ライフサイクルコスト削減に資する 橋りょうの架換え事業	埼玉県県土整備部道路街路課 橋りょう担当 宇高 薫
13：45～14：15（30分）	関東地方における 道路メンテナンスの最近の話題	関東地方整備局 関東道路メンテナンスセンター 総括構造物維持管理官 市川 明広 様
14：15～15：20（65分）	PC橋梁の維持保守	一般社団法人プレストレスト ・コンクリート建設業協会 保全補修部会 小野塚 豊昭 様
15：20～15：30（10分）	休憩	
15：30～16：35（65分）	鋼橋の補修・補強技術の最先端	ものづくり大学 技能工芸学部建設学科 教授 大垣 賀津雄 様
16：35	閉会挨拶	

### 【シリーズ研修会 開催No.】

開催No.	内容（予定）	予定日時
第1回（終了）	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守（1回目）	2018年11月29日
第2回（終了）	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守（2回目）	2019年6月11日
第3回（今回）	一般知識及びPC橋梁・鋼橋の維持保守（3回目）	2019年11月21日

## 【会場案内図】

会場：さいたま共済会館 602 会議室

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 7-5-14

浦和駅西口より徒歩約 10 分

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。





# 産学官が技術研さん

## 橋梁メンテナンス技術研修会



橋梁点検、補修など技術を学んだ

埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センター、県土整備部、県建設コンサルタント技術研修協会など、産学官で組織する「埼玉橋梁メンテナンス研究会」（睦好宏史代表）は11日、結成後2回目となる「橋梁メンテナンス技術研修会」を県庁第三庁舎講堂で開いた。橋梁の点検や補修などに携わる官民約90人が維持管理の手法を学んだ。県の道路橋の点検は昨年度で5年目となり点検業務が一巡する。点検結果に基づいた橋梁の補修などが実施されている中、より効果的なメンテナンスに向けた点検手法や評価判断方法、維持補修技術の開発、橋梁技術者の育成などが強く求められている。

この研究会は、県内の基幹インフラ施設である道路橋の維持管理（点検、診断、補修・補強）について広く意見を収集するとともに、その保全施策や保全技術に対して検討・研究を行うこと、および県内橋梁技術者を育成して、県内橋梁の保全の効率化に貢献していくことを目的に昨年設立。研修会は昨年11月の第1回に続き2回目の開催を迎えた。

冒頭、睦好代表が団体設立の経緯に触れながら「実り多い研修となることを期待しております」と開会あいさつを述べた。

後、研修会の主催者を代表して県土整備部の鳴海太郎県土整備政策課政策幹は「県管理橋は全国と比較しても老朽化の割合が非常に高く進行も急速に進み、2800橋のうち8割が今後20年で建設後50年以上を迎えます。健全度は全国と同じ状況ですが早期措置が求められるⅢ判定が全体の約18%、450橋近い数。一方、道路予算は1ドク時の4割で十分な対応が難しいことから長寿命化計画が進められています。県民の安心安全と健全な発展に、インフラメンテナンスは重要な施策。皆さまと相互に技術研さんを重ねてまいります」と述べた。

研修会では、まず県道路環境課の担当が「橋りょう補修の手引き案」について解説。老朽化した橋梁が急速に増加する一方、維持管理業務を担当する技術者が不足し損傷、対策に対する適切な判断、効率的な維持管理が困難なことから、担当

職員を対象にまとめたもの。橋梁の日常管理や損傷状況の把握、詳細調査、補修・補強設計、施工といった一連の流れを紹介した。

続いて関東地方整備局の道路構造保全官が「定期点検要領の改定内容」を説明。定期点検の開始から5年を踏まえ、技術的に工夫すべき留意事項に全体構成を見直したことや、点検作業の合理化など工夫が図れる事項を充実させたことに触れた。

続いてプレストレスト・コンクリート建設業協会が「PC橋梁の維持保守」について、日本橋梁建設協会が「鋼橋の維持保守」について、それぞれ解説。点検に着目すべき箇所や手法を分かりやすく説明した。

11日には第3回の研修会を予定している。

### 3) その他の活動

#### 五明橋実習場・テクニカル・トレーニングセンター見学会実施報告

1. 目的 本研究会の人材育成講習の参考とするため先進実習施設の見学を行う。
2. 実施者 埼玉橋梁メンテナンス研究会
3. 場所  
(株)ネクスコ東日本エンジニアリング 五明橋実習場（関越自動車道上里スマート IC 近く）及びテクニカル・トレーニングセンター（群馬県高崎市矢中町 21-2）
4. 実施日時及び工程  
令和元年 11 月 22 日（金）  
五明橋実習場 14:00、(株)ネクスコ東日本エンジニアリング様にご案内いただき、同地見学後にトレーニングセンターに移動・見学を行った。
5. 参加者  
大宮国道事務所：田中倫英（所長）、中山雄一（保全対策官）  
埼玉県：村山浩之（県土整備部道路政策課主査）  
一社)埼玉県建設コンサルタント技術研修会：安田陽一（会長）、佐藤裕之（理事）、小山一裕（理事）、八幡敏正（委員）  
【案内】NEXCO 東日本 ENG：福与弘志センター長、萩原正道専門役、鈴木宏上席課長及び高崎施設の各担当職員の方々。
6. 案内図



TTC

既存橋梁の調査に関わる実物桁等のほかに、高速道路の施設である、実寸の道路断面、表示板、ETC料金所、トンネル施設等を見学することができた。

塩化物の分析装置などは他にない高度なものであった。



会議室



既存鋼桁



拘束道路実寸模型と標識



ETC 実寸模型



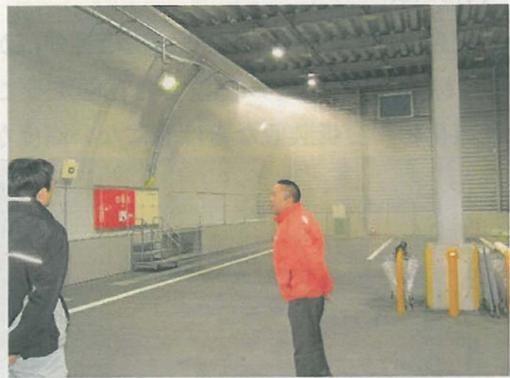
鋼桁既存 RC 床版



BPA 支承の解体



既存ホロー桁



実寸トンネル模型 スプリンクラー稼働



土圧の模型 (ナットで作成)



塩化物分析器



コロコロ EYE 使用状況



コロコロ EYE 31,900 円

### 3-2-2 その他

令和元年 6 月

田中規夫 教授が スイスの公共テレビ放送局 (SRF)の『首都圏外郭放水路の特集』に出演しました  
スイスの公共テレビ放送局 (SRF)が『首都圏外郭放水路の特集』を放送し、その中に田中規夫 教授が出演しました。そして、東京における洪水や治水対策についての歴史などについて説明しました。

\*【媒体・番組名】\*

スイス公共テレビラジオ放送局 (SRF) ドイツ語圏向け  
番組「Tagesschau」(定時ニュース報道番組)の中で全体で約2分の枠  
※スイスでは、日本のNHKと同等クラスの放送局です。

リンク先 URL : <https://www.srf.ch/play/tv/10vor10/video/die-idee-wie-tokio-mit-hochwasser-umgeht?id=f1ef785f-5bfe-427f-b7b3-04ff21a844ea>

令和元年 10 月

【テレビ放映】10月14日(月)TBS テレビ「ひるおび！」にセンター長 田中規夫教授が出演しました  
田中規夫センター長が下記の番組に出演いたしました。

番組名	TBS テレビ「ひるおび！」 <a href="https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html">https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html</a>
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫教授
放送日時	10月14日(月) 午前10時25分～午後1時55分

【テレビ放映】10月18日(金)NHK「首都圏ネットワーク」にセンター長 田中規夫教授が出演しました  
田中規夫センター長が下記の番組に出演いたしました。

番組名	NHK「首都圏ネットワーク」
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫 教授
放送日時	10月18日(金) 18時10分～18時52分
内容	「首都圏外郭放水路が台風19号に果たした役割」のコーナー において、収録出演しました。

センター長 田中教授が取材された「宮城県丸森町の浸水メカニズム」に関する共同通信社の記事が新聞に掲載されました

センター長 田中規夫 教授が取材された「宮城県丸森町の浸水メカニズム」に関する共同通信社の記事が下記の新聞に掲載されました。(2019年10月17日)

『曲がった流路 水かさ増 阿武隈川 被害集中 合流できず支流氾濫』

掲載新聞社 : 北日本新聞, 愛媛新聞, 四国新聞, 茨城新聞, 河北新報, 上毛新聞

# 曲がった流路 水かさ増

## 阿武隈川 被害集中

### 合流できず支流氾濫



日本列島を襲った台風19号は、各地の河川で多くの被害をもたらした。中でも特に被害が集中したとみられているのが、福島県から宮城県を流れる阿武隈川流域だ。田中規夫埼玉大教授(水工学)が15日、被災した流域上空を共同通信社機で調査した。想定以上の雨量を堤防は支えきれず、大きく曲がった流路で水かさが増した上に、急傾斜の山からの水が勢いよく平野にあふれ出していた。田中教授は「台風の大規模化に対応した対策を、長い目で考える必要がある」と警告する。

阿武隈川の流路は穏やかだが茶色く濁り、舌のような形で流れ出した泥が至る所に広がっていた。家々が泥や池に浮かんでいるように見えた。

東の阿武隈山地と西の奥羽山脈の間を走る阿武隈川。田中教授は「降雨が元々集中しやすい。今回は、上流域で降った大雨の雨が下流域に届くのと同時に雨雲も移動して下流域にも大雨を降らせた」と指摘する。

「霞堤」があった。水を逃がす切れ目があり、洪水の量を減らす効果がある。被害で知られる山梨県の戦国武将、武田信玄が考案したとされる。

堤防はところどころブロッコリーで補強されていたが、川沿いに並んだビルハウスはつぶれて泥にまみれていた。「堤防ではさばききれず、勢いのあるまま川から水が流れ出した」(田中教授)

宮城県丸森町の上流。阿武隈川は、山地をジグザクに縫うように流れて平野部に広がる。周囲の切り立った山々から現れた支流が、平野部で次々と合流している。

阿武隈川は水かさが増すが、切り立った山に行く手を遮られてほぼ直角に曲がる。「隈」には、川が湾曲して入り込んだ所との意味があり、田中教授によると、この曲がりか所の名前の由来となったとの説もある。

阿武隈川本流の曲がりの手前ではいくつかの支流が合流し、水が滞って水位が高くなりやすい。田中教授は、台風19号の大雨で本流は水かさが増し、合流できない水が支流からあふれ出たとみる。「バックウォーター」とも呼ばれる現象。このためか支流のあちこちで堤防が決壊しているのを、上空から目視できた。

支流の流域では、住宅街の中を網目状に泥が広がっていた。急傾斜の山あいから平野に出た直後の支流は、水に勢いがある元々暴れやすい。

丸森町にはこうした支流がいくつかあって、台風19号の大雨で周囲一帯を水没させたようだ。田中教授は「本流と支流、それぞれの要因が複合して氾濫を起したのではないかと分析する。」

「霞堤」があった。水を逃がす切れ目があり、洪水の量を減らす効果がある。被害で知られる山梨県の戦国武将、武田信玄が考案したとされる。

堤防はところどころブロッコリーで補強されていたが、川沿いに並んだビルハウスはつぶれて泥にまみれていた。「堤防ではさばききれず、勢いのあるまま川から水が流れ出した」(田中教授)

宮城県丸森町の上流。阿武隈川は、山地をジグザクに縫うように流れて平野部に広がる。周囲の切り立った山々から現れた支流が、平野部で次々と合流している。

阿武隈川は水かさが増すが、切り立った山に行く手を遮られてほぼ直角に曲がる。「隈」には、川が湾曲して入り込んだ所との意味があり、田中教授によると、この曲がりか所の名前の由来となったとの説もある。

阿武隈川本流の曲がりの手前ではいくつかの支流が合流し、水が滞って水位が高くなりやすい。田中教授は、台風19号の大雨で本流は水かさが増し、合流できない水が支流からあふれ出たとみる。「バックウォーター」とも呼ばれる現象。このためか支流のあちこちで堤防が決壊しているのを、上空から目視できた。

支流の流域では、住宅街の中を網目状に泥が広がっていた。急傾斜の山あいから平野に出た直後の支流は、水に勢いがある元々暴れやすい。

丸森町にはこうした支流がいくつかあって、台風19号の大雨で周囲一帯を水没させたようだ。田中教授は「本流と支流、それぞれの要因が複合して氾濫を起したのではないかと分析する。」

**【テレビ放映】10月28日(月) TBSテレビ「ひるおび！」にセンター長 田中規夫教授がパネル出演（コメント）しました**

田中規夫センター長が下記の番組にパネル出演（コメント）いたしました。

番組名	TBS テレビ「ひるおび！」 <a href="https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html">https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html</a>
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫教授
放送日時	10月28日(月) 午前10時25分～午後1時55分

**【テレビ放映】10月31日(木) NHKニュース「おはよう日本」にセンター長 田中規夫教授が出演しました**

田中規夫センター長が下記の番組に出演いたしました。

番組名	NHKニュース おはよう日本 <a href="https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html">https://www.tbs.co.jp/hiru-obi/index-j.html</a>
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫教授
放送日時	10月31日(木) 午前6時45分～午前7時45分
内容	千曲市における霞堤部分からの氾濫について、霞堤を閉めた影響や今後の方向性についてコメントしました。

**センター長 田中教授が取材された「台風19号」に関する記事が新聞に掲載されました**

センター長 田中教授が取材された「台風19号」の新聞記事が、毎日新聞に掲載されました。

◆毎日新聞 2019年10月25日

「台風19号 堤防決壊 樹木影響か 埼玉大教授 都幾川調査で見解 / 埼玉」

リンク先 URL : <https://mainichi.jp/articles/20191025/ddl/k11/040/118000c>

「第 1 回路面下空洞対策連絡会」開催

埼玉大学レジリエント社会研究センター後援で、以下のように道路陥没に関するシンポジウムと実物大実験の見学が開催されました。

第 35 回 ICUS オープンレクチャー

「第 1 回 路面下空洞対策連絡会」

－合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有－

【主催】東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター

【後援】国土技術政策総合研究所、(一社)レジリエンスジャパン推進協議会、  
埼玉大学レジリエント社会研究センター

【日時】2019 年 11 月 13 日(水) 13:30～17:00 シンポジウム(受付開始 13:00～)  
2019 年 11 月 14 日(木) 10:00～12:00 実物大試験道路見学会

【場所】・シンポジウム 東京大学生産技術研究所 A 棟コンベンションセンター  
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>

・実物大試験道路見学会 埼玉大学構内試験フィールド  
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap/>

【案内ウェブサイト】<http://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/?p=790>

**第 35 回 ICUS オープンレクチャー**  
**「第 1 回 路面下空洞対策連絡会」**  
－合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有－



【主催】東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター  
【後援】国土技術政策総合研究所、(一社)レジリエンスジャパン推進協議会、  
埼玉大学レジリエント社会研究センター

現在日本全国で年間 1 万件超の道路陥没が起きています。今後一層懸念される道路陥没への対応策が、“都市の危機管理における路面下空洞対策戦略会議 (2017 年 8 月～2018 年 5 月)”にて 7 つの政令市の参加により議論され、“維持管理は危機管理”であること、路面下空洞対策の先行都市の経験の共有を促進することが対策の加速化につながることが確認されました。全国の都市の成熟化が進み中小都市においても陥没対策が必要となる流れの中で、各都市の知見・データや経験を共有・集約し、それらを活用するプラットフォーム構築の実践を目指し、全国の陥没対策に関わる施設管理者間で知見と経験の共有と、今後の連携の在り方について議論を深めます。

日時：2019 年 11 月 13 日(水) 13:30～17:00 シンポジウム(受付開始 13:00～)  
2019 年 11 月 14 日(木) 10:00～12:00 実物大試験道路見学会

場所：・シンポジウム 東京大学生産技術研究所 A 棟コンベンションセンター  
〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1  
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html>  
・実物大試験道路見学会 埼玉大学構内試験フィールド  
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255  
<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap/>

【案内ウェブサイト】<http://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/?p=790>

※ 要申込み (定員 200 名：先着順、お申込みはお早めをお願いいたします)  
参加を希望される方は、上記 website より申込フォームにて 11/8 までにお申込み下さい。  
または、参加ご希望全員の氏名/ご所属/連絡先(メールアドレス) /意見交換会への出欠(会費 1,000 円)、実物大試験道路見学会への出欠を記載の上、下記アドレスに 11/8 までにメールをご送信ください。  
問合せ・参加申込送付先：吉本 (icus@iis.u-tokyo.ac.jp、03-5452-6472)

**路面下空洞対策連絡会シンポジウム**  
2019 年 11 月 13 日(水) 東京大学生産技術研究所

司会：埼玉大学 桑野二郎

13:30 開会  
路面下空洞の実態と陥没対策 東京大学 桑野玲子

14:20 路面下空洞対策における国の動向 国土技術政策総合研究所 渡邊一弘  
14:40 休憩

15:00 パネルディスカッション－成熟都市における陥没対策の経験の共有と今後の連携－  
コーディネーター：東京大学 桑野玲子  
パネリスト：国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 渡邊一弘  
福岡市 道路下水道局管理道路維持課 調整係長 秋山仁孝  
札幌市 建設局土木部道路維持課長 能代卓己  
神戸減災研究会会長 澁谷啓(神戸大学) 代理：神戸市建設局 小松恵一  
藤沢市 下水道部下水道管路課 課長 張ヶ谷昌彦

16:50 実物大試験道路の紹介 埼玉大学 桑野二郎  
17:00 閉会  
17:30～ 意見交換会(会費：1000 円)

**実物大試験道路見学会**  
2019 年 11 月 14 日(木) 埼玉大学構内実物大試験道路

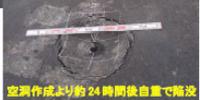
埼玉大学構内実物大試験道路にて 10:00～12:00 (荒天中止)  
空洞探査、空洞充填、押し抜きせん断試験等のデモンストラーション(予定) 集合場所  
等、詳細は追ってご連絡します



実物大試験道路  
(路面下に 20 ㎝の空洞あり)



舗装のたわみ進行中  
(直下にΦ80cmの空洞あり)



空洞作成より約 24 時間後自重で陥没

センター長 田中教授が取材された「台風19号」に関する記事が新聞に掲載されました

センター長 田中教授が取材された「台風19号」の新聞記事が、毎日新聞、朝日新聞、埼玉新聞に掲載されました。

◆朝日新聞新聞 2019年11月12日

朝日新聞デジタル

「埼玉）治水対策見直し必至、専門家指摘 台風被害1ヶ月」

リンク先 URL : <https://www.asahi.com/articles/ASMC864F7MC8UTNB00K.html>

◆毎日新聞 2019年11月21日

「台風19号 洪水予報 越辺川、レベル4出ず決壊

専門家「観測地点見直しを」／埼玉」

リンク先 URL : <https://mainichi.jp/articles/20191121/ddl/k11/040/062000c>

◆埼玉新聞 2019年11月15日

「台風19号1ヶ月 車水没死 どう防ぐ 徒歩避難 難しい場合も」

【新報定価 | カ月2983円(本体価格2782円+消費税221円)】1部売り120円 (購3種郵便物認可)

# 台風19号1ヶ月 車水没死 どう防ぐ 徒歩避難 難しい場合も

台風19号では、10月13日に東松山市で冠水した車の中から意識不明の男性(70)が見つかり、その後死亡が確認された。県は「車での避難は勧めない。歩いて避難してほしい」としているが、台風接近前の10日に県ホームページ(H.P.)で発信した「県民の皆様へのお願ひ」では車避難の自薦は呼び掛けていなかった。同課は、場所によっては車での避難が必要な自治体もあるとして「絶対に車避難しないで」とするのは難しくしている。

(伊藤明日香)

## 安全ルート確認を

同課によると、それぞれの「避難所まで遠い場合や、要市町村が定める避難計画には介護者で避難所まで歩けない車での移動を前提としている場合は車で移動させるを得ないものは少ない。しかし山間部、いこがあるという。

駐車スペースが足りない避難所もあり、「車で避難し、不便があった」という県民の声もあった」と明かす。今後は「ハザードマップに冠水した道路などの最新の情報を落とし込んで更新し、住民

## 友人宅から帰宅途中に

仕事に励み、趣味の川釣りを楽しんでた。東松山市のタクシードライバー坂田正美さん(70)は、台風19号の雨が小降りになった際、避難先の友人宅(70)宅から帰宅。川が氾濫して乗っていた車が水没し、犠牲になった。

坂田さんは坂戸市のタクシー会社に勤務。もの静かできに愛想良くするタイプではないが、「いつも朝4時に来て深夜まで働く(元同僚)まじめな運転手だった。休日の楽しみは釣りの。ワナの解禁日はうれしかった。子で川の上流に足を運び、釣りの上げた魚を同僚に振る舞った。

## 車の天井まで水

台風19号が接近した10月12日夕、高台にある友人宅の家に避難した坂田さん。雨脚が弱まった午後8時ごろ「大丈夫そうだから帰ると前止を振り切り、車に乗って立ち去った。

その後、「水が天井まで来た。もうたまた」と男性宅に電話。応じたのは妻が「助けが来るから頑張って」と励ました。翌日、農道で水没していた車の中から遺体が見つかった。

「家によく遊びに来たけれど、一緒に温泉にも行った。もっと強く止めれば」。男性は無念そうに表情でうなだれた。

が避難ルートを考える際の参考としてもらいたい」としている。

土木学会水工学委員会が台風19号豪雨災害調査団の関東地区団長を務める埼玉大大学院理工学部の田中規夫教授は、車は水深30cm以下でも傾斜によってエンジンが水に漬かり停止する場合があります。エンジンを停止し窓も開かなくなるとパニックに陥る。決る必要がある」と話した。

## 大洪滞の橋、強風も

台風19号が襲った10月13日の真夜中。午前2時すぎに加む広域避難だったが、午前2時は次女夫婦から起こされた。利根川が氾濫する危険性が高まり、市災害対策本部から避難指示が発令された。事前の避難指示はなかった。

2階の窓越しから見える埼玉大橋は大洪水。3人で車に乗る、高柳小学校に着いたが、避難した市民であふれ返り、ふじやりに移動したものの「おらも酒杯。ならんが」Aフラットボールセンターに移ってようやく落ち着いた。

北川辺地区の避難指示は午前1時に出了。近頃移動も含むむ広域避難だったが、午前2時になっても埼玉大橋は大洪水した。強風が吹き、怖い思いをした人は多かったという。避難の過程で氾濫や事故などがなかったのは幸いだったが、真夜中の突然の避難指示は適切だったのかという声が出た。山本さんは「防災放送で避難指示が出たが、強風で聞こえなかった家が多い。各戸に防災ラジオを置くべきではないかと思う。避難指示が予想されたなら、事前に避難指示を出しても良かった」と話していた。(江利川雄雄)

田中教授は「家屋倒壊危険ゾーンの情報などで、事前に自分の家が2階への垂直避難で済む地域にあるか確認し、無理なら浸水しやすい低平地や水路沿いを避け、安全に避難できるルートにハザードマップを基に考えるべき」と述べ、「台風時に仕事があればどうしても出勤し、車で帰ろうとしてもなくなる人もいます。鉄道の計画運休のように、オフィスやタイムラインを考えると必要がある」と話した。

## 令和元年 12 月

### 【テレビ放映】 12 月 25 日(水) テレビ埼玉「年末特番 News Special 2019」にセンター長 田中規夫教授が出演しました

田中規夫センター長が下記の番組に出演いたしました。

番組名	テレビ埼玉「年末特番 News Special 2019」
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫教授
放送日時	12 月 25 日(水) 18 : 00~20:00
内容	2019 年の埼玉県内のニュースを総ざらい！ー 1 年間のニュースを振り返るー ※台風の特集の中で田中教授のインタビューが放映されました。

## 令和 2 年 2 月

### 【テレビ放映】 2 月 17 日(月) テレ玉「ニュース 545」にセンター長 田中規夫教授が出演しました

田中規夫センター長が下記の番組に出演いたしました。

番組名	テレ玉「ニュース 545」
出演教員	大学院理工学研究科 / レジリエント社会研究センター長 田中規夫 教授
放送日時	2 月 17 日 (月) 17 時 45 分~18 時 15 分
内容	埼玉県の新年度防災予算(台風 19 号を受けての河川対策)についての取材内容が放映されました。

2020年(令和2年)2月2日(日曜日)

下野新聞

# 支流閉門で行き場失う

## 検証 台風19号 浸水 ③

台風19号が本県を直撃した昨年10月12日夜、足利市東部。普段は旗川に流れ込む尾名川へ旗川の水が押し寄せる。逆流を確認した国土交通省渡良瀬河川事務所は午後8時20分、二つの川の合流点にある尾名川水門を閉めた。

### 水門

約6時間後、尾名川上流の同市川崎町の自治会長岩崎正司さん(73)は、「変じた町の様子に驚いた。『たい』を見て水だらけだ

水する施設を建設するよう国や県に要望する考えも明かした。 台風19号で同時多発的に発生した河川の氾濫。水門を巡る課題も、あらためて浮き彫りになった。

水門を閉めて本流から支流への逆流を防ぎ、支流の氾濫を防ぐはずだった。しかし、記録的な豪雨は支流の尾名川にも流れ続け、行き場を失った川の水が町をのみ込んだ。

「那珂川の水位が急激に上がっている」 那須烏山市災害対策本部は昨年10月12日夜、那珂川の堤防にある那珂川樋門に市職員を派遣を指示した。

## 「想定外」減らす対策必須



旗川と尾名川の合流点に設置されている尾名川水門 = 1月29日午後、佐野市高橋町

った。浮遊物が詰まったことが原因とみられるという。同市の担当者は「職員が待機や門の操作など、河川行政自体を見直す必要がある」と受け止める。 永野川と杉井木川の合流点にある杉井木川排水機場(小山市押切)は、2015年の関東・東北豪雨を機に排水ポンプを増設したが、台風19号の際、そのポンプの一部が燃料切れに。 排水機場周辺は約30棟の浸水被害が確認された。 埼玉大学の田中規夫教授(河川工学)は「操作員の安全対策のほか、備蓄燃料が不足するような事態を想定して、給油方法や浸水しないアクセス道路の確保を検討する必要がある」と指摘する。「数十年に1度の豪雨が頻発する中で『想定外を減らす』取り組みが求められている。

## 「第2回 路面下空洞対策連絡会」開催

昨年度に引き続き、当センターが後援しております「第2回路面下空洞対策連絡会」が開催されました。今年度は、午前中は埼玉大学構内での実大試験道路見学、午後はオンラインによるシンポジウムを行いました。

### 第36回 ICUS オープンレクチャー

#### 「第2回 路面下空洞対策連絡会」

－合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有－

【主催】東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター

【後援】国土技術政策総合研究所（予定）、（一社）レジリエンスジャパン推進協議会、  
埼玉大学レジリエント社会研究センター

【日時】2020年12月3日(木) 11:00～12:00 実物大試験道路見学会  
14:00～17:00 オンラインシンポジウム

【場所】実物大試験道路見学会 埼玉大学構内試験フィールド

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255

【案内ウェブサイト】<https://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/2020/10/30/urcmlm2nd/>

#### 第36回 ICUS オープンレクチャー 「第2回 路面下空洞対策連絡会」 －合理的な道路陥没対策に向けた知見と経験の共有－



【主催】東京大学生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター  
【後援】国土技術政策総合研究所（予定）、（一社）レジリエンスジャパン推進協議会、  
埼玉大学レジリエント社会研究センター

現在日本全国で年間1万件超の道路陥没が起きています。今後一層懸念される道路陥没への対応策が、“都市の危機管理における路面下空洞対策戦略会議（2017年8月～2018年5月）”にて7つの政令市の参加により議論され、“維持管理は危機管理”であること、路面下空洞対策の先行都市の経験の共有を促進することが対策の加速化につながることが確認されました。全国の都市の成熟化が進み中小都市においても陥没対策が必要となる流れの中で、各都市の知見・データや経験を共有・集約し、それらを活用するプラットフォーム構築の実践を目指し、2019年11月13日に第1回路面下空洞対策連絡会が開催されました。今回第2回の連絡会を開催し、全国の陥没対策に関わる施設管理者間で知見と経験の共有と、今後の連携の在り方について議論をさらに深めます。

日時：2020年12月3日(木) 11:00～12:00 実物大試験道路見学会  
14:00～17:00 オンラインシンポジウム

場所：実物大試験道路見学会 埼玉大学構内試験フィールド  
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255  
<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap/>

見学会に参加いただいた方は、埼玉大学構内の会議室で共同アカウントを用いてオンラインシンポジウムに参加可能です。

【案内ウェブサイト】<https://geo.iis.u-tokyo.ac.jp/2020/10/30/urcmlm2nd/>  
※ 要申込み（定員 オンサイト80名、オンライン300名：先着順、お申込みはお早め）  
参加を希望される方は、上記 website より申込フォームにて11/26までにお申込み下さい。  
または、参加ご希望全員の氏名/ご所属/連絡先（メールアドレス）/実物大試験道路見学会 or  
シンポジウムへの出欠 を記載の上、下記アドレスに11/26までにメールをご送信ください。  
問合せ・参加申込送付先：吉本（icusiis.u-tokyo.ac.jp、03-5452-6472）

#### 第2回路面下空洞対策連絡会 2020年12月3日(木)

##### 実物大試験道路見学会

11:00～12:00 埼玉大学構内実物大試験道路

空洞探査、空洞充填、FWD試験、押し抜きせん断試験等のデモンストレーション(予定)  
集合場所等、詳細は追ってご連絡します。当日の実施状況はYou tube liveで配信予定。



##### シンポジウム

14:00～17:00 オンライン(埼玉大学構内会議室)

司会：埼玉大学 桑野二郎

14:00 開会

趣旨説明・第1回路面下空洞連絡会のレビュー

路面下空洞の実態と陥没対策・国の動向 東京大学 桑野玲子

14:40 神戸市における路面下空洞調査結果分析の取組み 神戸大学 澁谷 啓

15:10 休憩

15:20 パネルディスカッション-成熟都市における陥没対策の経験の共有と今後の連携-

コーディネーター：東京大学 桑野玲子

パネリスト：神戸減災研究会会長 澁谷啓(神戸大学)

福岡県 県土整備部 道路維持課 補修係長 今村吉弘

川崎市 総務企画局 危機管理室 担当課長 大村誠

千葉市 建設局土木部 土木保全課 主査 井上尚之

福岡市 道路下水道局 道路維持課 調整係長 秋山仁孝

16:40 実物大試験道路の紹介 埼玉大学 桑野二郎

17:00 閉会

### 3-3 国際的活動

- ・ 中国科学院 成都山地災害与環境研究所 との斜面防災の共同研究  
期 間：2008年～継続中
- ・ インド工科大学・ルールキー校の Bal Krishna Maheshwari 教授の来学と特別講義  
日 時：2014年9月26日 9:30~11:10  
場 所：埼玉大学  
講演題目：Recent Advances in Seismic Soil-Structure Interaction  
講 演 者：インド工科大学・ルールキー校の Bal Krishna Maheshwari 教授(Shamsher Prakash Research Award 2009 Winner)
- ・ International Geosynthetics Society Ambassador 講師  
日 付：2014年12月  
場 所：ホーチミン工科大学・国立建設大学（ベトナム）  
内 容：Confined-reinforced Subgrade Method to Reduce Differential Settlement of Road Pavement（道路舗装の不動沈下対策のための拘束補強路床工法）
- ・ タイ・タマサート大学の Urya Weesakul 教授の来学と特別講義  
日 時：2014年12月2日 13:30~14:30  
場 所：埼玉大学  
講演題目：IMPACT OF CLIMATE CHANGE ON SEASONAL RAINFALL AND WATER RESOURCES MANAGEMENT IN THAILAND  
講 演 者：埼玉大学協定校のタイ・タマサート大学の Urya Weesakul 教授(Director, TU Research and Consultancy Institute)
- ・ スリランカ日本研究センターの国際会議  
日 付：2014年12月15日  
場 所：スリランカ  
内 容：安倍首相がスリランカを訪問された際の共同声明「国交樹立60周年を越えた日本・スリランカのパートナーシップの強化」（2013年3月）にもとづき、スリランカに設立されたスリランカ日本研究センターの第2回国際会議が、12/15に行われた。  
田中教授： 会議の Co-Chair で開会スピーチ  
川本教授： 基調講演（2人のうちの1人（日本人代表））  
埼玉大学は「日本で最重要協力大学」の1つとして、その役割を果たしてきた。（なお、設立直後の第1回会議（2013年）も同様に、埼玉大学が大きくかかわった。）  
The Sri Lanka Japan Collaborative Research (SLJCR) – 2014 <http://www.pdn.ac.lk/centers/sljsc/gallery8.php>
- ・ International Geosynthetics Society Ambassador 講師  
日 付：2015年8月  
場 所：フィリピン大学（フィリピン）  
内 容：Seismic stability of reinforced soil walls（補強土壁の耐震性）
- ・ The 4th International Symposium on Engineering, Energy and Environment(ISEEE)を共催  
日 付：2015年11月8-10日  
場 所：タイ タマサート大学（協定校）
- ・ 新素材(FRP)に関する共同研究と共同での論文執筆(Marshall University(USA))  
時 期：2016年  
タイトル：Mutsuyoshi, H., Nguyen, H., Zatar, W. and Ishihama, T. : Flexural Behavior of Pultruded Hybrid Fiber-Reinforced Polymer I-Beams with Bonded-and-Bolted Splice Joints, *Transportation Research Record*, Vol. 2592, pp.45-55, 2016

- ・ IIRS/CEE Seminar  
 日 時：2016年6月6日 11:00~12:00  
 場 所：埼玉大学  
 講演題目：Recent Research Activities at AIT in Earthquake Engineering  
 講演者：Professor Pennung Warnitchai  
 Department of Structural Engineering Asian Institute of Technology Thailand
- ・ 中国広西チワン族自治区南寧市の 広西大学 と斜面崩壊に関する共同研究  
 期 間：2017年
- ・ Pre-Consultative workshop on CDW management and recycling in Vietnam  
ベトナム建設廃棄物関係者らを集めた建廃管理改善、リサイクル促進のためのワークショップ  
 日 付：2017年2月  
 場 所：ハノイ市
- ・ 台湾・行政院農業委員会水土保持局花蓮分局にて講演  
 日 時：2017年5月1日 午前  
 場 所：台湾 行政院農業委員会水土保持局花蓮分局  
 講演内容：生態系を基盤とした水災害リスク低減方策に関する研究と実践
- ・ 台湾国福小学校・台湾花蓮にて講演（感謝状をもらう，台湾の新聞に掲載される(2017.5.3)）  
 日 時：2017年5月1日 午後  
 場 所：台湾国福小学校・台湾花蓮  
 講演内容：災害から命を守るために－日本における津波と土砂災害の事例－
- ・ 橋梁に関するセミナー  
 日 付：2017年9月  
 場 所：Danang, Vietnam,
- ・ アジア各国の暑中コンクリートの対策と風土に応じた問題分析に関するセミナー  
 日 付：2017年9月19-20日  
 場 所：タイ タマサート大学
- ・ The 5th International Conference on Engineering, Energy and Environment(ICEEE)を共催  
 日 付：2017年11月1-3日  
 場 所：タイ タマサート大学（協定校）
- ・ 日本学術振興会 フランスとの共同研究(CNRS)  
 期 間：2017年－2018年度  
 内 容：地圏熱エネルギー利用システムによる地下環境への影響評価
- ・ ベトナム建設廃棄物の適正管理と建廃リサイクル資材を活用した環境浄化およびインフラ整備技術の開発 (JST-JICA SATREPS)  
 期 間：2017年－2022年  
 協力機関：NUCE
- ・ JSPS 拠点形成事業（B. アジア・アフリカ学術基盤形成型）  
 期 間：2017年－2022年  
 協力機関：タイ タマサート大学 SIIT、ベトナム NUCE、スリランカ モラトゥワ大学  
 内 容：アジア域の風土に適合した暑中コンクリートの設計・施工標準の策定に向けた研究拠点

- ・ 放射性廃棄物の地層処分に関する国際共同研究：モンテリプロジェクトへ参加  
 日 付：2018年6月11-19日  
 場 所：スイス・モンテリ地下研究所  
 内 容：FM-D (Evaporation logging) experimentの一環として、岩盤内へ計測器を設置し、長期にわたる温度・湿度・空気圧・ひずみ観測を開始した。
- ・ 特別講演 7/30(月) Dr. Chris Renschler ニューヨーク州立大学バッファロー校  
 日 時：2018年7月30日 16:30~18:00  
 場 所：埼玉大学  
 講演題目：Soil Functionality and the PEOPLES Resilience Framework: Keys to Assess and Communicate the 17 UN Sustainability Development Goals  
 講演者：ニューヨーク州立大学バッファロー校 Dr. Chris Renschler
- ・ Keynote Lecture of the 11th International Conference on Geosynthetics  
 日 付：2018年9月  
 場 所：ソウル COEX (韓国) ,  
 内 容：Geosynthetics for natural disaster prevention and mitigation -Japanese challenge- (自然災害軽減のためのジオシンセティックス技術)
- ・ NUCE とのジョイントセミナー  
 日 付：2018年9月24日  
 場 所：ハノイ、ベトナム
- ・ 暑中環境でのコンクリート構造物の劣化と混和材の活用に関するセミナー  
 日 付：2018年9月25-26日  
 場 所：ベトナム 国立建設大学
- ・ 橋梁に関するセミナー  
 日 付：2018年10月30日  
 場 所：ヤンゴン、ミャンマー、
- ・ インド工科大学ハイデラバード校首都圏4大学 Civil系セミナーにて講演  
 日 付：2018年12月  
 場 所：インド工科大学ハイデラバード校
- ・ JSPS 二国間交流事業オープンパートナーシップ型 (スリランカ)  
 期 間：2018年4月～2020年3月  
 協力機関：日本 宇都宮大学、日本大学、スリランカ ルフナ大学、ペラデニヤ大学、モラトゥワ大学、  
 内 容：生態系を基盤とした災害リスク低減手法の確立とスリランカ全土の減災ポテンシャル評価
- ・ The 6th International Conference on Engineering, Energy and Environment(ICEEE)を共催  
 日 付：2019年11月27-29日  
 場 所：タイ タマサート大学 (協定校)

○海外研究者の招聘

- ・ Eric Augustus J. Tingatinga, Assistant Professor, フィリピン大学 (ディリマン校) ” フィリピン・マニラにおける橋梁の防災レジリエンスに関する研究”, 2014年8月10日～11月10日
- ・ B.K. Maheshwari, Professor, Department of Earthquake Engineering, Indian Institute of Technology Roorkee, “cooperative research works on the performance evaluation of pile foundations subjected to strong ground motions”, 2014年9月25日～26日

- Álamo Meneses Guillermo Manuel, Spanish, Pre-doctoral Scholarship from Education and Culture Ministry, PhD student at Universidad de Las Palmas de Gran Canaria, “On the mechanism of SSI problems in structures”, 2016年9月1日～11月30日

### 3-4 主な連携研究機関

- ・北海道立総合研究機構
- ・岩手県大槌町
- ・埼玉県 県土整備部
- ・さいたま市 都市局・建設局
- ・首都高速道路株式会社
- ・東日本高速道路株式会社 関東支社
- ・公益財団法人鉄道総合技術研究所
- ・国立研究開発法人防災科学技術研究所
- ・国立研究開発法人情報通信研究機構